P-04A/P-05A

ISSUE DATE: '09.4

NAME:

PHONE NUMBER:

MAIL ADDRESS:

取扱説明書

NTT docomo

docomo SMART series

ドコモ W-CDMA・GSM/GPRS方式

このたびは、「docomo SMART series P-04A/P-05A」をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

P-04A/P-05Aをご使用の前に本書をご覧になり、正しくお取り扱いください。

本書のご使用にあたって

- 本書では、「P-04A/P-05A」を「FOMA端末」と表記させていただいております。
- 本書の手順や画面は、主にP-04A 本体色「BLACK」のお買い上げ時の設定で記載しています。

＜P-05Aをご利用の方へ＞

本書はP-04Aの操作や表示を中心に記載しております。
P-05Aをご利用の方は本書を読む上で以下の点にご留意ください。

- P-05Aでは、カメラ機能またはカメラ機能に関する操作はご利用できません。（静止画／動画撮影、バーコードリーダーなど）
- P-04Aと操作や表示が異なる箇所に P-05A マークで補足説明をしています。
- P-05Aをご使用の方は ボタンを ボタンと読み替えてください。

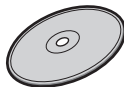
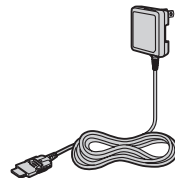
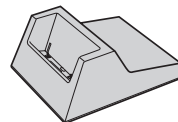
- 本書で記載している画面およびイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。
- 本FOMA端末は、きせかえツール（P.37参照）に対応しております。きせかえツールを利用してメニュー画面のデザインを変更した場合、メニューの種類によっては、使用頻度に合わせてメニュー構成が変わるものがあります。また、メニュー項目に割り当てられている番号（メニュー番号）が適用されないものがあります。

取扱説明書のダウンロードについて

本書は主な操作手順をご紹介する取扱説明書です。本書の最新情報や詳細な説明を記載した「取扱説明書（詳細版）」は、ドコモのホームページよりダウンロードできます。
（http://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/index.html）
また、FOMA端末には「使いかたナビ」を搭載しております。操作確認のご参考としてご利用ください。（P.26参照）

目　次

本体付属品および主なオプション品

<本体付属品>		<主なオプション品>
●P-04A/P-05A本体（保証書、リアカバー P32 P-05A リアカバー P33）	●P-04A/P-05A用CD-ROM PDF版「パソコン接続マニュアル」PDF版「区点コード一覧」を収録しています。	●FOMA ACアダプタ 01/02（保証書、取扱説明書付き）
●取扱説明書（本書） ※「取扱説明書（詳細版）」はドコモのホームページよりご覧ください。	●電池パック P17	●卓上ホルダ P31（取扱説明書付き）

P-04A/P-05Aの主な機能

iモードメール／デコメール®／デコメ®絵文字

▶P.54

テキスト本文に加えて、写真や動画ファイルなどを添付できます。

国際ローミング

▶P.51

日本国内でお使いのFOMA端末・電話番号・メールアドレスが海外でもそのまま使えます。

ワンセグ

▶P.67

モバイル向け地上デジタル放送の「ワンセグ」を視聴することができます。

iコンシェル

▶P.61

「ひつじのしつじくん®」
©NTT DOCOMO

iコンシェルとは、待受画面上のキャラクター（マチキャラ）が役立つ情報（インフォメーション）を教えてくれたり、サイトからスケジュール（iスケジュール）をダウンロードすることにより便利にご利用いただけるサービスです。

ビューブラインド

▶P.38

斜めの角度からディスプレイを見えにくくできます。周囲の視線を気にせずに利用できます。

ゆったりトーク

▶P.40

通話中の相手の音声速度をゆっくりにします。

ボイスレコーダー

▶P.84

音声をメモ代わりに録音できます。打ち合わせ中などに録音すると、何度も再生できて便利です。

ワンプッシュオープン

▶P.19

ボタン操作でFOMA端末を開くことができます。

ロック機能の充実

▶P.90

さまざまなロック機能を搭載しています。

データを移し替える

microSDカードを使ってデータを移し替えることができます。

microSDカードへバックアップしたデータを移し替える

<電話帳・メール(受信BOX・送信BOX・保存BOX)の場合>

待受画面▶MENU▶LifeKit▶microSD▶microSDデータ参照▶電話帳・受信BOX・送信BOX・保存BOX(いずれかを選択)▶移し替えたいデータを選択▶iα▶本体へ全件上書コピー▶端末暗証番号を入力▶YES▶YES▶NO(電話帳のみ)

<画像・動画の場合>

待受画面▶MENU▶データBOX▶マイピクチャ・iモーション(いずれかを選択)▶MENU▶ピクチャ・ムービー(いずれかを選択)▶移し替えたいデータが入っているフォルダを選択▶iα▶複数選択▶MENU▶iα▶本体へコピー

電話帳・メールを一括で移し替えるには

1. 待受画面▶MENU▶LifeKit▶microSD▶バックアップ／復元▶本体へ復元
2. 端末暗証番号を入力▶YES

microSDカードへデータをバックアップする

<電話帳・メール(受信BOX・送信BOX・保存BOX)の場合>

待受画面▶MENU▶LifeKit▶microSD▶microSDデータ参照▶電話帳・受信BOX・送信BOX・保存BOX(いずれかを選ぶ)▶iα▶microSDへコピー▶端末暗証番号を入力▶YES▶YES(電話帳のみ)

<画像・動画の場合>

待受画面▶MENU▶データBOX▶マイピクチャ・iモーション(いずれかを選択)▶保存したいデータが入っているフォルダを選択▶iα▶複数選択▶MENU▶iα▶microSDへコピー

電話帳・メールを一括でバックアップするには

1. 待受画面▶MENU▶LifeKit▶microSD▶バックアップ／復元▶microSDへバックアップ
2. 端末暗証番号を入力▶YES

- バックアップデータは、その都度上書きされます。
- 一括バックアップしたデータは、一括復元機能を持つ機種にのみ移し替えることができます。
- 画像・動画は一括バックアップできません。

赤外線通信を使う

赤外線通信によって、赤外線通信機能が搭載された携帯電話、パソコンなどと、電話帳やメール、ブックマークなどを送受信できます。
赤外線通信機能が搭載された機種であれば、赤外線通信によりデータの移し替えができるので、機種変更のときなどにもご利用いただけます。
- 操作方法についてはP.86参照

iC通信を使う

iC通信機能対応の他のFOMA端末と、マークどうしを向き合わせることで、電話帳や写真、トルカなどのデータを送受信できます。
iC通信機能が搭載された機種であれば、iC通信によりデータの移し替えができるので、機種変更のときなどにもご利用いただけます。
- 操作方法についてはP.86参照

電話帳お預かりサービスを使う

お預かりセンターのサイトでFOMA端末の電話帳を定期的にお預かりセンターへ更新、保存するように設定できます。電話帳のほかに、画像、メールも預けることができ、紛失や機種変更時などに簡単に保存データを復元できます。
- お申し込みが必要な有料サービスです。
- 別途パケット通信料がかかります。
- 電話帳お預かりサービスの詳細については「ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）」をご覧ください。

ｉコンシェルでお預かりサービスを利用するには

自動お預かり／更新設定
待受画面▶MENU▶ｉコンシェル▶✉(MENU)▶設定▶自動お預かり／更新設定▶画面に従って操作する

お預かりデータ確認
待受画面▶MENU▶ｉコンシェル▶✉(MENU)▶設定▶お預かりデータ確認▶画面に従って操作する

お預かりデータ更新
待受画面▶MENU▶ｉコンシェル▶✉(MENU)▶設定▶お預かりデータ更新▶更新したいデータにチェック▶✉(完了)▶端末暗証番号を入力▶YES

お預かり通信履歴
待受画面▶MENU▶ｉコンシェル▶✉(MENU)▶設定▶お預かり通信履歴▶履歴を選択

安全上のご注意 必ずお守りください

■ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
また、お読みになった後は大切に保管してください。

■ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

■次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

表示	内容
危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

■次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

絵表示	内容
禁 止	禁止(してはいけないこと)を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。

絵表示	内容
指 示	指示に基づく行為の強制(必ず実行していただくこと)を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■「安全上のご注意」は下記の6項目に分けて説明しています。

FOMA端末、電池パック、アダプタ、FOMAカードの取り扱いについて〈共通〉

危険

禁止

高温になる場所(火のそば、暖房器具のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など)で使用、保管、放置しないでください。

機器の変形、故障や、電池パックの漏液、発熱、破裂、発火、性能や寿命の低下の原因となります。
また、ケースの一部が熱くなり、やけどの原因となることがあります。

分解禁止

分解、改造をしないでください。また、ハンダ付けしないでください。

火災、けが、感電などの事故または故障の原因となります。また、電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

水濡れ禁止

濡らさないでください。

水やペットの尿などの液体が入ると発熱、感電、火災、故障、けがなどの原因となります。使用場所、取り扱いにご注意ください。

指示

FOMA端末に使用する電池パックおよびアダプタは、NTTドコモが指定したものを使用してください。

指定品以外のものを使用した場合は、FOMA端末および電池パックやその他の機器を漏液、発熱、破裂、発火、故障させる原因となります。

警告

禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に、電池パック、FOMA端末やアダプタ、FOMAカードを入れないでください。

電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させたり、FOMA端末、アダプタの発熱、発煙、発火や回路部品を破壊させる原因となります。

禁止

強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。

電池パックの漏液、発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。

禁止

充電端子や外部接続端子に導電性異物(金属片、鉛筆の芯など)が触れないようにしてください。また、内部に入れないようにしてください。

ショートによる火災や故障の原因となります。

指示

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に携帯電話の電源をお切りください。また充電もしないでください。
ガスに引火する恐れがあります。

ガソリンスタンド構内などでおサイフケータイをご利用になる際は必ず事前に電源を切った状態で使用してください。(ICカードロックを設定されている場合にはロックを解除した上で電源をお切りください)

指示

使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。

1.電源プラグをコンセントやシガーライタソケットから抜く。
2.FOMA端末の電源を切る。
3.電池パックをFOMA端末から取り外す。

そのまま使用すると発熱、破裂、発火または電池パックの漏液の原因となります。

注意

禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。
落下して、けがや故障の原因となります。

禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。
故障の原因となります。

指示

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの内容を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご注意ください。
けがなどの原因となります。

指示

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。

指示

FOMA端末をアダプタに接続した状態で長時間連続使用される場合には特にご注意ください。
充電しながらｉアプリやテレビ電話、ワンセグの視聴などを長時間行うと、FOMA端末や電池パック･アダプタの温度が高くなることがあります。
温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じたり、低温やけどの原因となる恐れがあります。

FOMA端末の取り扱いについて

警告

禁止

赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。
目に影響を与える可能性があります。
また、他の赤外線装置に向けて送信すると誤動作するなどの影響を与える場合があります。

禁止

エアバッグの近くのダッシュボードなど、エアバッグの展開による影響が予想される場所にFOMA端末を置かないでください。
エアバッグが展開した場合、FOMA端末が本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

禁止

医用電気機器などを装着している場合は、胸ポケットや内ポケットへの装着はおやめください。
FOMA端末を医用電気機器などの近くで使用すると、医用電気機器などの故障の原因となる恐れがあります。

禁止

FOMA端末内のFOMAカードやmicroSDカード挿入口に水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。
火災、感電、故障の原因となります。

指示

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、FOMA端末の電源を切ってください。
電子機器や医用電気機器に影響を与える場合があります。また、自動的に電源が入る機能を設定している場合は、設定を解除してから電源を切ってください。
医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。
また、航空機内での使用などの禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。

ハンズフリーに設定して通話する際は、必ずFOMA端末を耳から離してください。
また、イヤホンマイクをFOMA端末に装着し、ゲームや音楽再生をする場合は、適度なボリュームに調節してください。
音量が大きすぎると難聴の原因となります。
また、周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。
心臓に影響を与える可能性があります。

屋外で使用中に、雷が鳴り出したら、すぐに電源を切って安全な場所に移動してください。
落雷、感電の原因となります。

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、FOMA端末の電源を切ってください。
電子機器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。
※ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

万が一、ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出したFOMA端末の内部にご注意ください。
ディスプレイ部やカメラのレンズの表面には、プラスチックパネルを使用しガラスが飛散りにくい構造となっておりますが、誤って割れた破損部や露出部に触れますと、けがの原因となります。

注意

ストラップなどを持ってFOMA端末を振り回さないでください。
本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

誤ってディスプレイを破損し、液晶が漏れた場合には、液体を口にしたり、吸い込んだり、皮膚につけたりしないでください。
液晶が目や口に入った場合には、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。
また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。
失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。

着信音が鳴っているときや、FOMA端末でメロディを再生しているときなどは、スピーカーに耳を近づけないでください。
難聴になる可能性があります。

安全上のご注意(つづき)

人の近くや顔を近づけて、ワンプッシュオープンでFOMA端末を開かないでください。

本人や他の人に当たり、けがの原因となります。

自動車内で使用した場合、車種によっては、まれに車載電子機器に影響を与える場合があります。

安全走行を損なう恐れがありますので、その場合は使用しないでください。

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。

下記の箇所に金属を使用しています。

使用箇所	素材	表面処理
上筐体 リアカバー	ステンレス	焼き付け塗装
サイド上ボタン サイド下ボタン	ABS	アルミニウム蒸着、ハードコート
ワンプッシュオープンボタンの金属部分	アルミニウム	アルマイト処理
充電端子	銅合金	ニッケルメッキ下地に金メッキ仕上げ

FOMA端末を開閉する際は、指やストラップなどを挟まないようご注意ください。

けがなどの事故や破損の原因となります。

ワンセグを視聴するときは、十分明るい場所で、画面からある程度の距離を空けてご使用ください。

視力低下につながる可能性があります。

リアカバーは金属製のため取り扱いにご注意ください。

手や指を傷つける可能性があります。

電池パックの取り扱いについて

■電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。

表示	電池の種類
Li-ion	リチウムイオン電池

危険

端子に針金などの金属類を接触させないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。

電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

電池パックをFOMA端末に取り付けるときに、うまく取り付けできない場合は、無理に取り付けないでください。また、電池パックの向きを確かめてから取り付けてください。

電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

火の中に投下しないでください。

電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

禁止

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

指示

電池パック内部の液体が目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。
失明の原因となります。

警告

禁止

落下による変形や傷など外部からの衝撃により電池パックに異常が見られた場合は、直ちに使用をやめてください。
電池パックの漏液、発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。

指示

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をやめてください。
電池パックを漏液、発熱、破壊、発火させる原因となります。

指示

電池パックが漏液したり、異臭がするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。
漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

指示

ペットが電池パックに噛みつかないようご注意ください。
電池パックの漏液、発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。

注意

禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。
発火、環境破壊の原因となります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してからドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

禁止

濡れた電池パックを充電しないでください。
電池パックを発熱、発火、破裂させる原因となります。

指示

電池パック内部の液体が皮膚や衣服に付着した場合は、直ちに使用をやめてきれいな水で十分に洗い流してください。
皮膚に傷害を起こす原因となります。

アダプタの取り扱いについて

警告

禁止

アダプタのコードや電源コードが傷んだら使用しないでください。
感電、発熱、火災の原因となります。

禁止

ACアダプタや卓上ホルダは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。
感電の原因となります。

禁止

DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。
火災の原因となります。

禁止

雷が鳴り出したら、FOMA端末、アダプタには触れないでください。
落雷、感電の原因となります。

禁止

コンセントやシガーライタソケットにつながれた状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。
火災、故障、感電、傷害の原因となります。

禁止

充電中は、アダプタおよび卓上ホルダを安定した場所に置いてください。また、アダプタおよび卓上ホルダを布や布団で覆ったり、包んだりしないでください。
FOMA端末が外れたり、熱がこもり、火災、故障の原因となります。

禁止

アダプタのコードや電源コードの上に重いものをのせたりしないでください。
感電、火災の原因となります。

濡れ手禁止

濡れた手でアダプタのコード、コンセントに触れないでください。
感電の原因となります。

指示

指定の電源、電圧で使用してください。
誤った電圧で使用すると火災や故障の原因となります。海外で使用する場合は、海外で利用可能なACアダプタを使用してください。
ACアダプタ:AC100V
DCアダプタ:DC12V･24V
(マイナスアース車専用)
海外で利用可能なACアダプタ:
AC100V ～240V
(家庭用交流コンセントのみに接続すること)

指示

DCアダプタのヒューズが万が一切れた場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。
指定外のヒューズを使用すると、火災、故障の原因となります。指定ヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。

指示

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。
火災の原因となります。

指示

ACアダプタをコンセントに差し込むときは、金属製ストラップなどの金属類を触れさせないように注意し、確実に差し込んでください。
感電、ショート、火災の原因となります。

指示

アダプタをコンセントやシガーライタソケットから抜く場合は、アダプタのコードや電源コードを無理に引っ張らず、電源プラグを持って抜いてください。
コードを引っ張るとコードが傷つき、感電、火災の原因となります。

電源プラグを抜く

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電、火災、故障の原因となります。

電源プラグを抜く

万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライタソケットから電源プラグを抜いてください。
感電、発煙、火災の原因となります。

電源プラグを抜く

お手入れの際は、電源プラグをコンセントやシガーライタソケットから抜いて行ってください。
感電の原因となります。

FOMAカードの取り扱いについて

注意

指示

FOMAカード(IC部分)を取り外す際は切断面にご注意ください。
手や指を傷つける可能性があります。

医用電気機器近くでの取り扱いについて

■本記載の内容は「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」(電波環境協議会)に準ずる。

警告

指 示

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。

・手術室、集中治療室(ICU)、冠状動脈疾患監視病室(CCU)にはFOMA端末を持ち込まないでください。
・病棟内では、FOMA端末の電源を切ってください。
・ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、FOMA端末の電源を切ってください。
・医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
・自動的に電源が入る機能が設定されている場合は、設定を解除してから、電源を切ってください。

指 示

満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、FOMA端末の電源を切るようにしてください。

電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

指 示

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、装着部からFOMA端末は22cm以上離して携行および使用してください。

電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

指 示

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。

電波により医用電気機器の作動に影響を与える場合があります。

取り扱い上の注意

共通のお願い

■水をかけないでください。

FOMA端末、電池パック、アダプタ、FOMAカードは防水仕様にはなっておりません。風呂場など、湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承願います。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。

■お手入れは乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で拭いてください。

・FOMA端末のディスプレイは、カラー液晶画面を見やすくするため、特殊コーティングを施してある場合があります。お手入れの際に、乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。取り扱いには十分ご注意いただき、お手入れは乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で拭いてください。また、ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになったり、コーティングがはがれることがあります。

・アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。

■端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。

端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れたり充電不十分の原因となったりしますので、端子を乾いた綿棒などで拭いてください。

また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。

■エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。

急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。

■FOMA端末や電池パックなどに無理な力がかからないように使用してください。

多くのものがつまった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板、電池パックなどの破損、故障の原因となります。また、外部接続機器を外部接続端子に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。

■FOMA端末、アダプタ、卓上ホルダに添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。

■ディスプレイは金属などで擦ったり引っかいたりしないでください。

傷つくことがあり故障、破損の原因となります。

FOMA端末についてのお願い

■極端な高温、低温は避けてください。

温度は5℃～35℃、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。

■一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、影響を与える場合がありますので、なるべく離れた場所でご使用ください。

■お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。

万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■FOMA端末を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。

故障、破損の原因となります。

■外部接続端子(イヤホンマイク端子)に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。

故障、破損の原因となります。

■ストラップなどを挟んだまま、FOMA端末を閉じないでください。

故障、破損の原因となります。

■使用中、充電中、FOMA端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。

■カメラを直射日光の当たる場所に放置しないでください。

素子の退色・焼付きを起こす場合があります。

■通常は外部接続端子カバー、microSDカード差し込み口カバーをはめた状態でご使用ください。

ほこり、水などが入り故障の原因となります。

■リアカバーを外したまま使用しないでください。

電池パックが外れたり、故障、破損の原因となったりします。

■ディスプレイやキーまたはボタンのある面に、極端に厚みのあるシールなどを貼らないでください。
故障の原因となります。

■microSDカードの使用中は、microSDカードを取り外したり、FOMA端末の電源を切ったりしないでください。
データの消失、故障の原因となります。

■磁気カードなどをFOMA端末に近づけたり、挟んだりしないでください。
キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

■FOMA端末に磁気を帯びたものを近づけないでください。
強い磁気を近づけると誤作動を引き起こす可能性があります。

電池パックについてのお願い

■電池パックは消耗品です。
使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。

■充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。

■初めてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に必ず充電してください。

■電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。

■電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。

■電池パックを長期保管される場合は、次の点にご注意ください。
・満充電状態（充電完了後すぐの状態）での保管
・電池残量なしの状態（本体の電源が入らない程消費している状態）での保管
電池パックの性能や寿命を低下させる原因となります。
長期保管に適した電池残量は、目安として電池アイコン表示が2本の状態をお勧めします。

アダプタについてのお願い

■充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。

■次のような場所では、充電しないでください。
・湿気、ほこり、振動の多い場所
・一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く

■充電中、アダプタが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。

■DCアダプタを使用して充電する場合は、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。
自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。

■抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。

■強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。
故障の原因となります。

FOMAカードについてのお願い

■FOMAカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないようにしてください。

■使用中、FOMAカードが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。

■他のICカードリーダー／ライターなどにFOMAカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。

■IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。

■お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。

■お客様ご自身で、FOMAカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■環境保全のため、不要になったFOMAカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。

■極端な高温・低温は避けてください。

■ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。
データの消失、故障の原因となります。

■FOMAカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
故障の原因となります。

取り扱い上の注意(つづき)

■FOMAカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。
故障の原因となります。

■FOMAカードにラベルやシールなどを貼った状態で、FOMA端末に取り付けないでください。
故障の原因となります。

FeliCa リーダー/ライターについてのお願い

■FOMA端末の FeliCa リーダー/ライター機能は、無線局の免許を要しない微弱電波を使用しています。

■使用周波数は13.56MHz帯です。周囲で他のリーダー/ライターをご使用の場合、十分に離してお使いください。また、他の同一周波数帯を使用の無線局が近くにないことを確認してお使いください。

注意

■改造されたFOMA端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法に抵触します。
FOMA端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等を受けており、その証として「技適マーク〒」がFOMA端末の銘版シールに表示されております。FOMA端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明等が無効となります。技術基準適合証明等が無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。

■自動車などを運転中の使用にはご注意ください。
運転中は、携帯電話を保持して使用すると罰則の対象となります。やむを得ず電話を受ける場合は、ハンズフリーで「かけ直す」ことを伝え、安全な場所に停車してから発信してください。

■FeliCa リーダー/ライター機能は日本国内で使用してください。
FOMA端末の FeliCa リーダー/ライター機能は日本国内での無線規格に準拠しています。
海外でご使用になると罰せられることがあります。

FOMA端末について

- FOMA端末は無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所およびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが3本たっている場合で、移動せずに使用している場合でも通話が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- 公共の場所、人の多い場所や静かな場所などでは、まわりの方のご迷惑にならないようご使用ください。
- FOMA端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、W-CDMA・GSM/GPRS方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞きとれません。
- FOMA端末は音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪いところへ移動するなど送信されてきたデジタル信号を正確に復元することができない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- お客様はSSLをご自身の判断と責任においてご利用することを承諾するものとします。お客様によるSSLのご利用にあたり、ドコモおよび別掲の認証会社はお客様に対しSSLの安全性などに関し何ら保証を行うものではなく、万が一何らかの損害が発生したとしても一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
  認証会社：日本ベリサイン株式会社、サイバートラスト株式会社、グローバルサイン株式会社、RSAセキュリティ株式会社、セコムトラストシステムズ株式会社、株式会社コモドジャパン
- このFOMA端末は、FOMAプラスエリアおよびFOMAハイスピードエリアに対応しております。
- このFOMA端末は、ドコモの提供するFOMAネットワークおよびドコモのローミングサービスエリア以外ではご使用になれません。
  The FOMA terminal can be used only via the FOMA network provided by DOCOMO and DOCOMO’s roaming area.
- お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容（電話帳、スケジュール、メモ帳、伝言メモ、音声メモ、動画メモなど）は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。FOMA端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 大切なデータはmicroSDカードに保存することをおすすめします。また、パソコンをお持ちの場合は、ドコモケータイdatalinkを利用して電話帳やメール、スケジュールなどの情報をパソコンに転送・保管できます。

各部の役割

光センサー
明るさを感知します。(手で覆ったり、シールなどを貼らないでください。明るさを感知できないことがあります。)

ディスプレイ

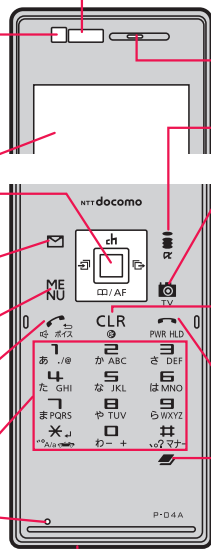
コマンドナビゲーションボタン
機能操作やメニュー操作を行います。

メールボタン
メールメニューを表示します。

メニューボタン
メインメニューを表示します。

開始ボタン
通話を開始します。

ダイヤルボタン
電話番号や文字を入力します。

送話口
自分の声をここから相手に送ります。

赤外線ポート
赤外線通信や赤外線リモコンに使用します。

受話口
相手の声をここから聞きます。

iモードボタン/iアプリボタン
iモードメニューを表示します。

カメラボタン/ワンセグボタン
P-05A ボタンが異なります。
ボイスレコーダーボタン/ワンセグボタン

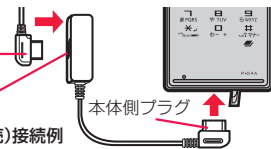
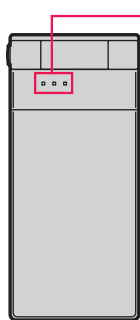
クリアボタン
入力した文字を削除します。

電源/終了ボタン
電源の入/切や通話を終了します。

マルチボタン
マルチタスクメニューを表示します。

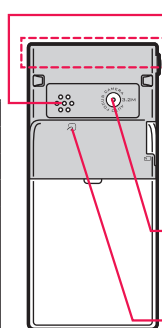
外部接続端子
充電時およびイヤホン接続時などに使用する統合端子です。

イヤホンのご利用について
別売の外部接続端子対応のイヤホンを接続してください。
なお、外部接続端子に非対応のイヤホンをご利用になる場合には、別売の変換アダプタを接続してご利用ください。
- 変換アダプタを抜き差しするときは、本体側プラグを持ってまっすぐに抜き差ししてください。また、抜くときは、外部接続端子カバーと本体側プラグを一緒に持たないようにご注意ください。
- 外部接続端子カバーの開けかたについてはP.29をご覧ください。

平型スイッチ付イヤホンマイク(別売)接続例

着信／充電ランプ

着信時や通話中、メール受信時などに以下のパターンで点灯／点滅します。

	左	中央	右
着信	点灯	―	点灯／点滅※
メール受信	―	点灯	点灯／点滅※
不在着信あり	点滅	―	―
未読メールあり	―	点滅	―
不在着信あり／未読メールあり	点滅	点滅	―
充電中	―	―	赤く点灯

※着信イルミネーション選択の設定内容で点灯／点滅します。

スピーカー

FOMAアンテナ／ワンセグアンテナ

アンテナは本体に内蔵されています。より良い条件で通話／受信をするために、アンテナ部を手で覆わないようにしてお使いください。

カメラ

カメラは搭載していません。

マーク

おサイフケータイ利用時にこのマークを読み取り機にかざします。

ストラップ取り付け穴

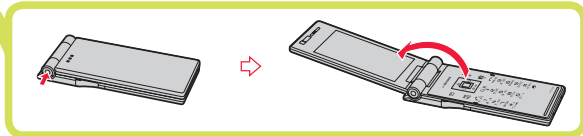
▲サイド▲ボタン

受話音量や着信音量を上げます。

▼サイド▼ボタン

受話音量や着信音量を下げます。

ワンプッシュオープンボタン

ワンプッシュオープンボタンを押してFOMA端末を開くことができます。（開いた反動でFOMA端末を落とさないようにご注意ください。）

microSDカード差し込み口

mircroSDカードをここに差し込みます。

ディスプレイの見かた

電池残量（目安）

・「」の状態になったときは充電してください。

電波の受信レベル（目安）

…FOMAサービスエリア外または電波の届かないところ

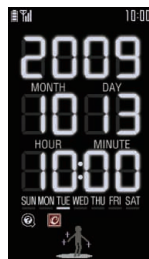
…ｉコンシェルの新着インフォメーションあり

…microSDカード装着中

…オールロック中

…未読メッセージR/Fあり

…未読ｉモードメール・SMSあり

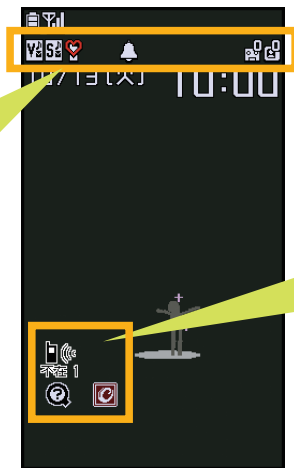
待受画面について

お買い上げ時の待受画面

「ディスプレイの見かた」の画面は、お買い上げ時の待受画面から以下の設定を変更しています。

- MENU→設定／サービス→ディスプレイ→画面表示設定→待受画面→OFF
- MENU→設定／サービス→ディスプレイ→画面表示設定→時計→待受時計→✉（位置）→パターン1

ここでは主なアイコンを説明しています。ディスプレイに表示されるその他のアイコンの意味は、以下の操作で確認できます。
待受画面→MENU→設定／サービス→ディスプレイ→表示アイコン説明

状態表示アイコン

- …バイブレータ設定中
- …着信音消去
- …マナーモード中
- …アラーム設定中
- …伝言メモの録音件数
- …テレビ電話伝言メモの録画件数

お知らせアイコン

- 不在 1 …不在着信あり
- 伝言 …伝言メモあり
- 伝言 …テレビ電話伝言メモあり
- メール 1 …新着ｉモードメール・SMSあり
- メッセージR 1 メッセージF 1 …新着メッセージR/Fあり

貼り付けアイコン

- …使いかたナビ
- …ｉコンシェル

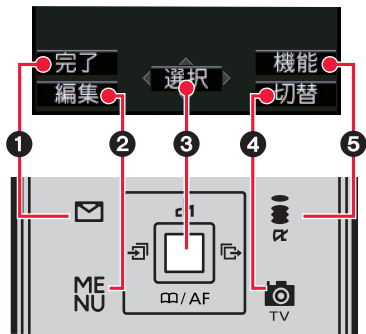
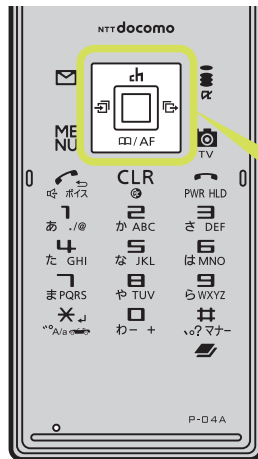
アイコンからそれぞれの機能に進むには

「状態表示アイコン」「お知らせアイコン」「貼り付けアイコン」を利用して、それぞれの機能へ進むことができます。

1. 待受画面▶ ▶ でアイコンを選ぶ▶ （選択）

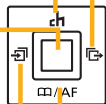
画面下部に表示された内容を操作する

画面下部に表示された内容を実行したいときは、表示に対応するボタンを押します。

■主な表示例とボタン割り当て

1	ボタンで行う操作を表示	完了
2	MENUボタンで行う操作を表示	編集 登録
3	ボタンで行う操作を表示	選択 確定
	ボタンで行うスクロールや項目の選択が可能な方向を表示	
4	TVボタンで行う操作を表示 P-05A TVボタンで行う操作を表示します。	切替 詳細
5	ボタンで行う操作を表示	機能 設定

コマンドナビゲーションボタン

- カーソルまたは反転表示を上方向へ移動します。(押し続けると連続スクロールになります)
- 表示内容を上方向へスクロールします。

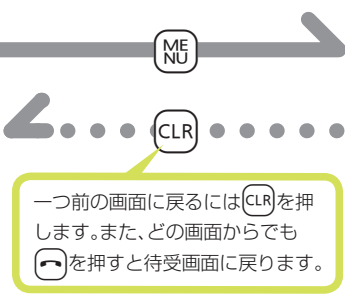
- カーソルを右方向へ移動します。
- 表示内容を画面単位で次の画面へスクロールします。(押し続けると連続スクロールになります)

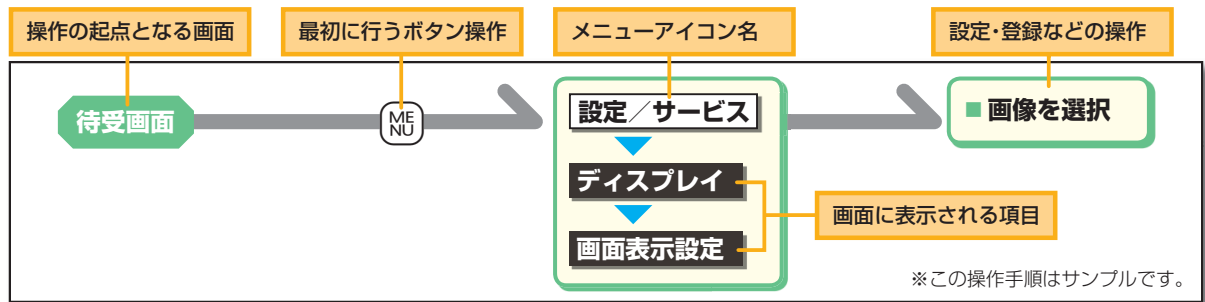
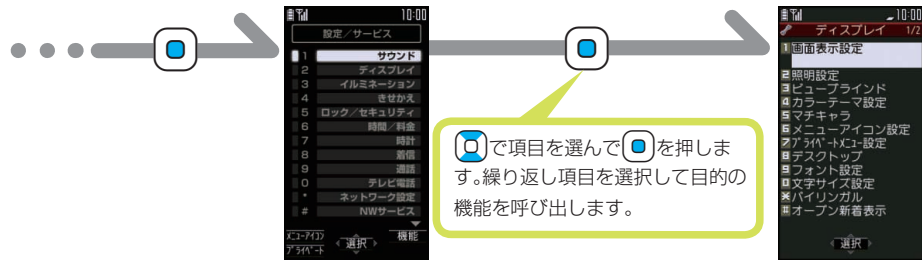
- 操作を決定します。

- カーソルを左方向へ移動します。
- 表示内容を画面単位で前の画面へスクロールします。(押し続けると連続スクロールになります)

- カーソルまたは反転表示を下方向へ移動します。(押し続けると連続スクロールになります)
- 表示内容を下方向へスクロールします。

メニューを操作する

本書では、最も簡単に選択できる方法でメニュー操作を説明しております。

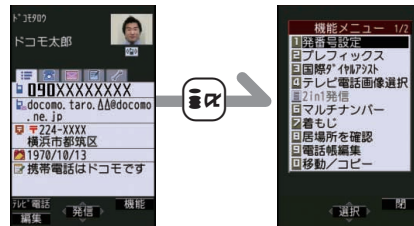
- メニュー機能によっては、MENU以外のボタンで操作できる場合があります。

■本書での手順の記載について

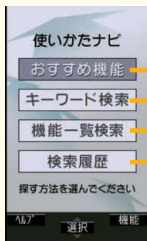
本書では、上記の操作を以下のように記載しております。

Point

- 各機能のメニュー項目については、「機能一覧表」をご覧ください。
  （P.110参照）

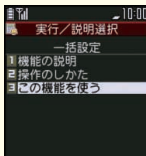
機能メニューについて

各メニューを操作中、画面の右下に「機能」が表示されているときは、を押すことで登録や編集、削除などの詳細な機能をご利用になれます。

<例> 電話帳の機能メニューを表示する

使いたい機能を調べる

待受画面 ▶ ●

■ 使いたい機能を検索する

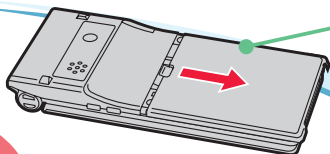
この機能を使う

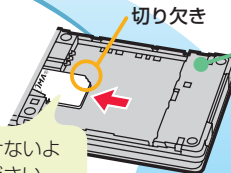
機能を実行します。各機能の操作を行います。

機能の説明や操作方法を確認することもできます。

FOMAカード・電池パックを取り付ける

FOMAカードとは
お客様の電話番号などの情報が記憶されているICカードです。FOMAカードを取り付けないと、音声／テレビ電話、iモード、メールの送受信などの通信をご利用できません。

■ リアカバーの取り外し

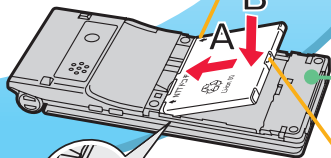
「▭」部分の周辺を押さえながら、ロックが外れるまで(2mm以上)矢印方向にスライドさせる

■ FOMAカードの取り付け

金色のIC面を下にして、カードの表面を押しながら、ゆっくりと奥まで差し込む

切り欠き

IC部分を傷つけないようにご注意ください。

取り外すときはスライドさせながらゆっくりと引き抜きます。

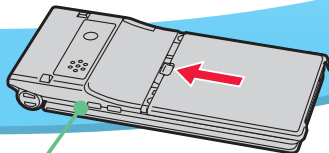
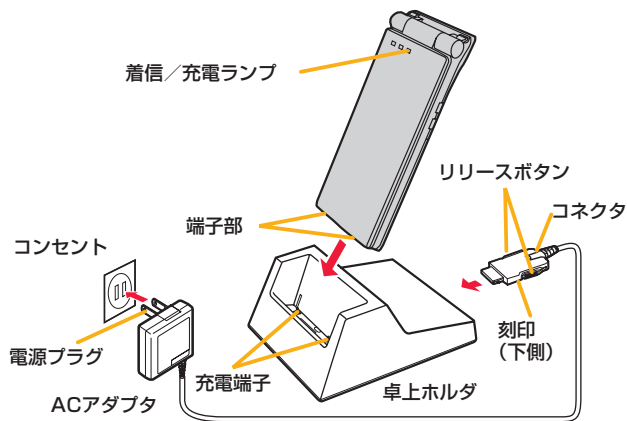
■ 電池パックの取り付け

矢印面を上にしてイラストのようにFOMA端末のくぼみと電池パックを確実に合わせてAの方向に押し付けてから、Bの方向に押し込む

矢印
A
B
突起
くぼみ

取り外すときは突起を利用して上方向に持ち上げます。

■ リアカバーの取り付け

リアカバーとFOMA端末をイラストのようにあわせて、リアカバーを矢印方向にスライドさせて取り付ける

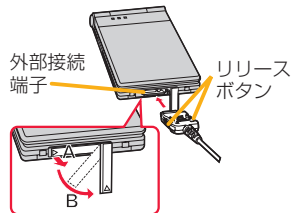
- リアカバーとFOMA端末に隙間がないことを確認してから、スライドさせて確実に閉じてください。
  閉じていない場合、リアカバーは金属製のため手や指を傷つける可能性があります。

充電する

■ **ACアダプタ（別売）のコネクタの刻印面を下にして、卓上ホルダ（別売）のコネクタ端子へ水平に差し込む**

■ **ACアダプタの電源プラグを起こし、家庭用などのAC100Vのコンセントに差し込む**

■ **FOMA端末を卓上ホルダに確実に差し込む**

- FOMA端末は必ず閉じた状態で差し込んでください。
- 市販のストラップなどをはさまないようにご注意ください。

■ **充電が完了したら、指で卓上ホルダを押さえながらFOMA端末の頭部をつかんで持ち上げ、取り外す**

ACアダプタのみで充電する

刻印面を上にして「カチッ」と音がするまで外部接続端子に差し込んでください。抜く場合は、リリースボタンを押しながら抜きます。

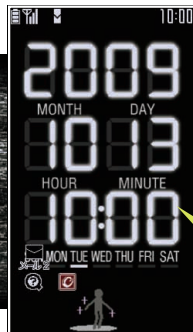
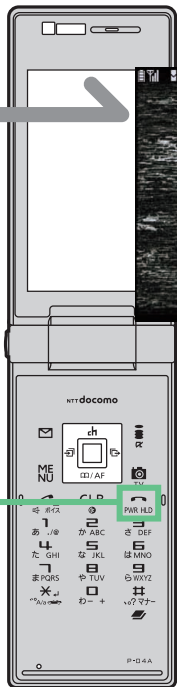
- 充電するときは、外部接続端子のカバーを図の位置にしてください。
  外部接続端子のカバーは、左側（▷マーク側）をAの方向に引っ張り出したあと、Bの方向に回転させます。

Point

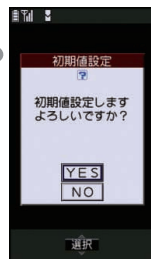
- コネクタを抜くときは、コネクタの両側にあるリリースボタンを押しながら水平に引き抜いてください。無理に取り外そうとすると、故障の原因になります。
- 充電を開始するとFOMA端末の着信／充電ランプが赤色点灯し、充電が完了すると消灯します。

電源を入れる

■ 1秒以上押す

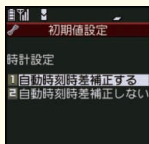
電源を切るには
2秒以上押します。

待受画面

初期値設定の画面が表示された場合は…

ウェイクアップ画面が表示された後、待受画面が表示されます。

この画面は、アナログ無線機のチューニングをイメージしたデザインです。

初期値設定を行う

YES

時計設定
1 自動時刻時差補正する
2 自動時刻時差補正しない

日付・時刻を設定する

自動時刻時差補正する

■ **現在の日付時刻を確認後、**
●（確定）

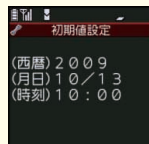
（西暦）2009
（月日）10／13
（時刻）10：00

端末暗証番号を設定する（P.88参照）

■ **「0000」を入力**

■ **新しい端末暗証番号を入力**

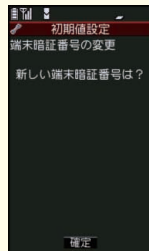
YES

端末暗証番号の変更
新しい端末暗証番号は？
確定

ボタン確認音・文字サイズを設定する

■ **ボタン確認音の「ON」「OFF」を選択**

ボタン確認音
1 ON
2 OFF

■ **文字サイズを選択**

文字サイズ設定
1 特大表示
2 拡大表示
3 標準表示
4 縮小表示

Point

- 各項目は後からでも設定できます。
- 長時間電池パックを外したままにしておくと、日付・時刻がリセットされる場合があります。
- 「圏外」が表示されているときなど自動で時刻を補正できない状態で、日付・時刻が設定されていない場合は、手動時計設定の画面が表示されます。

世界各国の時刻を表示する

指定した地域の時刻が待受画面に表示されます。

サマータイム

海外での利用時に表示される滞在国の時刻やワールドウォッチで表示されている各地の時刻を1時間進めて表示します。

待受画面▶ MENU ▶設定／サービス▶時計▶サマータイム▶ON

自分の電話番号を確認する

右の画面で✉(編集)を押すと、自分の名前やメールアドレスなどを登録できます。
各項目を入力後、✉(完了)を押して登録完了です。

相手に自分の電話番号を通知する

文字を入力する

電話帳の登録やメールの作成時などに文字を入力します。

■入力モードを切り替える

✉（ 文字 ）を押すごとに入力モードが切り替わります。

漢：漢字ひらがな入力モード
↓
ｶﾅ：カタカナ入力モード
↓
英：英字入力モード
↓
数：数字入力モード

■文字を入力する

各ダイヤルボタンを繰り返し押すと、そのボタンに割り当てられている他の文字を入力できます。

＜例＞②を押す場合

漢字ひらがな入力モード
「か→き→く→け→こ」

カタカナ入力モード
「カ→キ→ク→ケ→コ→2」

英字入力モード
「a→b→c→A→B→C→2」

数字入力モード
「2」

■文字を変換・確定する

□で変換する範囲を指定する
▼
□で候補リストにカーソルを移動する
▼
□で変換候補を選択する
▼
□で文字を確定する

その他のボタン操作について

（ 機能 ）
：「絵文字」「記号」などを入力する

✱：改行を入力する
（文字を入力したあとに押すと、大文字／小文字の切り替えや濁点・半濁点の入力ができます。）

（1秒以上）
：確定・消去などをした文字を元に戻す

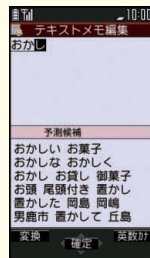
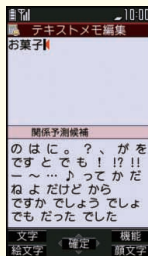
CLR：文字を消去する

<文字の入力例>　「お菓子」と入力する場合

文字入力画面

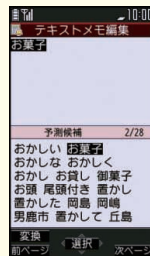
■ **ひらがなを入力**

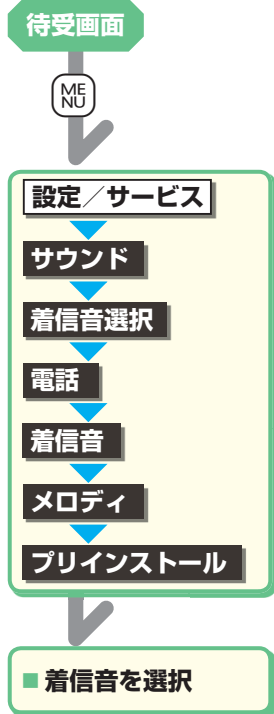
①を5回、②を1回、③を2回押す

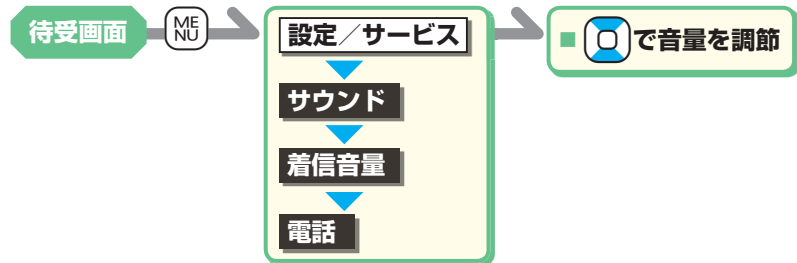
「あ」「い」のように同じボタンで文字を続けて入力する場合は、でカーソルを移動させます。

■ **漢字に変換**

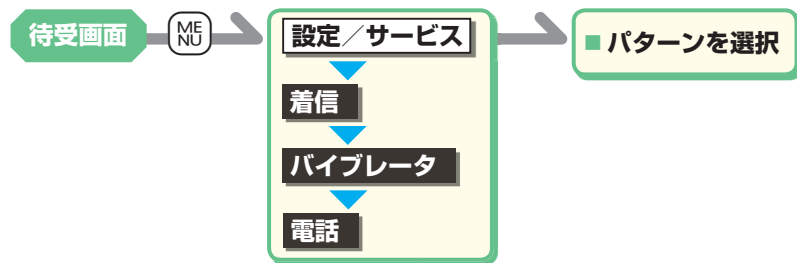
で候補リストにカーソルを移動

■ **文字を確定**

で「お菓子」を選んで（選択）

着信音を変更する

＜例＞電話の着信音を変更する

着信音量

着信音の音量を調節します。

バイブレータ

着信を振動でお知らせします。

着信／充電ランプの色などを設定する

きせかえツールを利用する

着信音や待受画面、メニューアイコンなどをまとめて設定できます。

変更したメニューアイコンを元に戻すには

1. 待受画面▶MENU▶(機能)▶リセット機能
2. 端末暗証番号を入力▶メニュー画面リセット▶YES

待受画面を変更する

待受画面

設定／サービス
↓
ディスプレイ
↓
画面表示設定
↓
待受画面
↓
マイピクチャ
↓
プリインストール

動画（ｉモーション）を設定する場合は「ｉモーション」を選択します。

サイトからダウンロードした画像を設定する場合は「ｉモード」を選択します。

■画像を選択

照明設定

ディスプレイとボタンの照明をOFFに設定します。

■待受画面で1秒以上押す

待受画面に「 」が表示されます。

ONに戻すには

同様の操作を行います。

ビューブラインド

周りの人からディスプレイを見えにくくします。

■待受画面で1秒以上押す

待受画面に「 」が表示されます。

解除するには

同様の操作を行います。

メニューアイコン設定

メインメニューの表示を設定します。

待受画面

■ （メニューアイコン）

■ パターンを選択

「シンプルメニュー」に設定すると、基本機能に絞って使いやすくしたメニューに切り替わります。

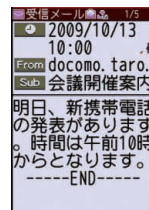
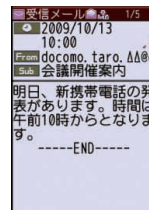
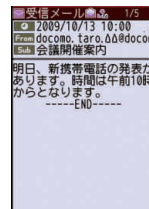
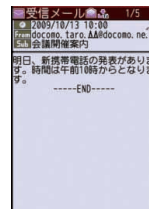
文字サイズ設定

文字のサイズを変更します。

待受画面

設定／サービス
ディスプレイ
文字サイズ設定
一括設定

■ 項目を選択

文字サイズを設定すると以下のように表示されます。

特大表示

拡大表示

標準表示

縮小表示

電話をかける

待受画面 → ■市外局番から電話番号を入力 → → ■ で通話を終了

テレビ電話をかける場合は、の代わりに(テレビ電話)を押します。

テレビ電話中の画面について

(切替)：受信／送信映像の表示位置切替
P-05A を押します。

(画像)：送信映像の代替画像／カメラ映像切替
P-05A ご利用できません。

：送信するカメラ映像のズーム倍率調節
P-05A ご利用できません。

ゆったりトーク 音声電話中に(ゆったり)を押すと、相手の音声速度をゆっくりにできます。もう一度(元の速さ)を押すと、通常の速度に戻ります。

電話を受ける

■電話がかかってくる → →

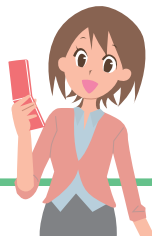
着信音が鳴り、着信／充電ランプが点滅します。

テレビ電話がかかってきた場合

同様の操作で受けられます。

履歴を利用して電話をかける

待受画面▶[○](着信履歴)または[○](リダイヤル)▶履歴を選択▶[発信]▶[終話]で通話を終了

履歴には発着信した相手の電話番号が記憶されます。その履歴を利用して電話をかけられます。

Point

- ドコモのテレビ電話は「国際標準の3GPPで標準化された、3G-324M」に準拠しています。異なる方式を利用しているテレビ電話とは接続できません。
  ・**3GPP(3rd Generation Partnership Project)：**
  第3世代移動通信システム(IMT-2000)に関する共通技術仕様開発のために設置された地域標準化団体です。
  ・**3G-324M：**
  第3世代携帯テレビ電話の国際規格です。
  ・本FOMA端末は通信速度64kbpsのテレビ電話にのみ対応しています。
  32kbpsでの通話はできません。
- 本FOMA端末は内側にカメラを搭載しておりませんので、相手に送る画像はキャラ電、静止画または外側のカメラで撮影中の映像となります。

P-05A 外側／内側のどちらのカメラも搭載していないため、カメラ映像の送信はできません。

電話に出られないときは

あらかじめ伝言メモを設定しておくと、電話に出られないときに相手の用件を録音・録画できます。

• 電話がかかってくると、呼出時間が経過後、応答メッセージが再生されます。その後、相手の用件が録音・録画されます。

伝言メモを設定する

待受画面

LifeKit
▼
伝言メモ／音声メモ
▼
伝言メモ設定

ON
▼
■ **応答メッセージを選択**
▼
■ **呼出時間(秒)を入力**

Point

電波の届かない場所や電源が入っていない場合など電話を受けられないときはご利用できません。

伝言メモを再生するには

待受画面

LifeKit
▼
伝言メモ／音声メモ
▼
メモの再生／消去

■ **伝言メモを選択**

FOMA端末に相手の用件を録音する機能なので、録音、再生の操作自体に料金はかかりません。

テレビ電話メモの場合は

「テレビ電話メモの再生／消去」を選択します。

伝言メモ再生中に[iα](消去)を押し、「YES」を選択すると伝言メモを消去できます。

着信中／通話中に保留したい場合は

<着信中の場合>　**着信中▶[通話終了キー]▶電話に出られるようになったら[通話キー]**

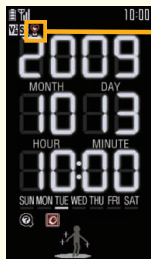
• 保留中でも相手に通話料金がかかります。

<通話中の場合>　**通話中▶[決定キー](保留)▶電話に出られるようになったら[通話キー]**

• 保留中でも通話料金がかかります。

マナーモードを設定する

着信音やボタン確認音、アラーム音などの音がFOMA端末から鳴らないようにボタン1つで設定できます。

■ 待受画面で1秒以上押す

待受画面に「」が表示されます。

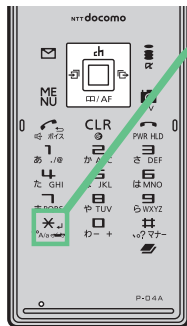
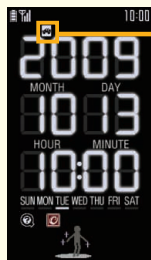
解除するには

同様の操作を行います。

マナーモードに設定すると、音の代わりに振動(バイブレータ)でお知らせします。

公共モードを利用する

公共モード（ドライブモード）を設定すると、運転中もしくは通話を控える必要のある場所にいて電話に出られない旨のガイダンスが相手に流れ、通話が終了します。
公共モード（電源OFF）を設定すると、電源をOFFにしている場合の着信時に、電源を切る必要がある場所（病院、飛行機、電車の優先席付近など）にいるため、電話に出られない旨のガイダンスが相手に流れ、通話が終了します。

公共モード（ドライブモード）

解除するには

同様の操作を行います。

公共モード（ドライブモード）中に着信があると、着信音は鳴らず、着信履歴に記憶されます。また、アラーム設定時刻になってもアラーム音は鳴りません。

公共モード（電源OFF）

解除するには

待受画面▶＊２５２５０▶

ネットワークサービスを利用する

利用できるネットワークサービス

FOMA端末では、次のようなドコモのネットワークサービスをご利用いただけます。

- サービスエリア外や電波の届かない場所ではネットワークサービスはご利用できません。
- 詳しくは「ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）」をご覧ください。
- お申し込み、お問い合わせについては、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

サービス名称	お申し込み	月額使用料
留守番電話サービス	要	有料
キャッチホン	要	有料
転送でんわサービス	要	無料
迷惑電話ストップサービス	不要	無料
発信者番号通知サービス	不要	無料
番号通知お願いサービス	不要	無料
デュアルネットワークサービス	要	有料

サービス名称	お申し込み	月額使用料
英語ガイダンス	不要	無料
マルチナンバー	要	有料
2in1	要	有料
公共モード（ドライブモード）	不要	無料
公共モード（電源 OFF）	不要	無料
OFFICEED	要	有料
メロディコール	要	有料

- 「OFFICEED」は申し込みが必要な有料サービスです。
  ご不明な点はドコモの法人向けホームページ（http://www.docomo.biz/d/212/）をご覧ください。
- 「サービス停止」とは、留守番電話サービス、転送でんわサービスなどの契約そのものを解約するものではありません。
- ドコモから新しいネットワークサービスが追加提供されたときには、新しいサービスをメニューに登録できます。
- 本書では、各ネットワークサービスの概要を、FOMA端末のメニューを使って操作する方法で説明しています。

ネットワークサービスを利用する(つづき)

■留守番電話サービス

- **留守番電話サービス開始**
  待受画面▶MENU▶設定/サービス▶NWサービス▶留守番電話▶留守番サービス開始▶YES▶YES▶呼出時間(秒)を入力
- **留守番電話サービス停止**
  待受画面▶MENU▶設定/サービス▶NWサービス▶留守番電話▶留守番サービス停止▶YES
- **留守番電話メッセージ再生**
  待受画面▶MENU▶設定/サービス▶NWサービス▶留守番電話▶留守番メッセージ再生▶再生(音声電話)・再生(テレビ電話)▶YES▶音声ガイダンスに従って操作

■キャッチホン

- **キャッチホンサービス開始**
  待受画面▶MENU▶設定/サービス▶NWサービス▶キャッチホン▶キャッチホンサービス開始▶YES
- **キャッチホンサービス停止**
  待受画面▶MENU▶設定/サービス▶NWサービス▶キャッチホン▶キャッチホンサービス停止▶YES
- **通話中にかかってきた電話に出る**
  (通話キー)を押すたびに通話する相手が切り替わります。

■転送でんわサービス

- **転送サービス開始**
  待受画面▶MENU▶設定/サービス▶NWサービス▶転送でんわ▶転送サービス開始▶転送先設定▶転送先の電話番号を入力▶呼出時間設定▶呼出時間(秒)を入力▶開始▶YES
- **転送サービス停止**
  待受画面▶MENU▶設定/サービス▶NWサービス▶転送でんわ▶転送サービス停止▶YES

FOMA端末から利用できるサービス

利用できるサービス	電話番号
番号案内サービス（有料：案内料＋通話料） ※電話番号の案内を希望されないお客様については案内しておりません。	（局番なし）104
電報の発信（有料：電報料）	（局番なし）115
時報サービス（有料）	（局番なし）117
天気予報（有料）	知りたい地域の市外局番＋177
警察への緊急通報	（局番なし）110
消防・救急への緊急通報	（局番なし）119
海上で事件・事故が起きたときの緊急通報	（局番なし）118
災害用伝言ダイヤル（有料）	（局番なし）171
コレクトコール（有料：案内料＋通話料）	（局番なし）106

Point

- コレクトコール（106）をご利用の際には、通話を受けた方に、通話料と1回の通話ごとの取扱手数料90円（税込94.5円）がかかります。（2009年4月現在）
- 番号案内（104）をご利用の際には、案内料100円（税込105円）に加えて通話料がかかります。目や上肢などの不自由な方には、無料でご案内しております。詳しくは一般電話から116番（NTT営業窓口）までお問い合わせください。（2009年4月現在）
- 本FOMA端末は、「緊急通報位置通知」に対応しております。
  110番、118番、119番などの緊急通報をおかけになった場合、発信場所の情報（位置情報）が自動的に警察機関などの緊急通報受理機関に通知されます。お客様の発信場所や電波の受信状況により、緊急通報受理機関が正確な位置を確認できないことがあります。
  なお、「184」を付加してダイヤルするなど、通話ごとに非通知とした場合は、位置情報と電話番号は通知されませんが、緊急通報受理機関が人命の保護などの事由から、必要であると判断した場合は、お客様の設定によらず、機関側が位置情報と電話番号を取得することがございます。
  また、「緊急通報位置通知」の導入地域／導入時期については、各緊急通報受理機関の準備状況により異なります。
- FOMA端末から110番･119番･118番通報の際は、携帯電話からかけていることと、電話番号と、明確な現在位置を伝えてください。また、通報は途中で通話が切れないように移動せず通報し、通報後はすぐに電源を切らず、10分程度は着信のできる状態にしておいてください。
- おかけになった地域により、管轄の消防署･警察署などに接続されない場合があります。接続されない場合は、お近くの公衆電話または一般電話からおかけください。
- 一般電話の「転送電話」をご利用のお客様で転送先を携帯電話に指定した場合、一般電話／携帯電話の設定によって携帯電話が通話中、サービスエリア外および電源を切っているときでも発信者には呼び出し音が聞こえることがあります。
- 116番（NTT営業窓口）、ダイヤルQ2、伝言ダイヤル、クレジット通話などのサービスはご利用できませんのでご注意ください。（一般電話または公衆電話から、FOMA端末へおかけになる際の自動クレジット通話はご利用できます）

電話帳を登録する

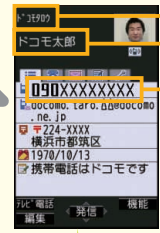
待受画面 → O（1秒以上） → 本体 → ■各項目を入力 → ■ ✉（完了）

名前の入力画面が表示されます。入力して次に進みます。

電話帳登録
基本項目 設定
名 ドコモ太郎
ﾌﾘｶﾞﾅ ﾄﾞｺﾓﾀﾛｳ
〈グループ〉
〈電話番号〉
〈メールアドレス〉
〈住所〉
〈誕生日〉
〈メモ〉
〈静止画〉
No. 010

名前を入力します。
フリガナを入力します。
電話番号を入力します。
メールアドレスを入力します。

この他にも住所や誕生日などが登録できます。
また、Oを押して「設定」画面を表示すると、電話帳の相手からの着信音やメール着信音などを個別に設定できます。

電話帳を使って電話をかける

電話帳を削除するには

待受画面▶ ▶電話帳を選択▶ (機能)▶電話帳削除▶1件削除▶YES

国際電話をかける

日本から国際電話をかけるときはWORLD CALLを利用します。

■WORLD CALLとは
WORLD CALLはドコモの携帯電話からご利用いただける国際電話サービスです。
FOMAサービスをご契約のお客様は、ご契約時にあわせて「WORLD CALL」もご契約いただいています（ただし、不要のお申し出をされた方を除きます）。

- 通話先は世界約240の国と地域です。
- 「WORLD CALL」の料金は毎月のFOMAサービスの通話料金と合わせてご請求いたします。
- 申込手数料・月額使用料は無料です。
- 一部の料金プランではご利用いただけません。
- WORLD CALLについては、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
- ドコモ以外の国際電話サービス会社をご利用になるときは、各国際電話サービス会社に直接お問い合わせください。
- 通信事業者によっては発信者番号が通知されなかったり、正しく表示されない場合があります。この場合、着信履歴を利用して電話をかけることはできません。

海外で利用する

海外で電話をかけるには国際ローミング(WORLD WING)を利用します。

■国際ローミング(WORLD WING)とは

国際ローミング(WORLD WING)とは、FOMAネットワークのサービスエリア外の海外でも、提携する通信事業者のネットワークを利用して通話や通信ができるサービスです。

- 海外の主なネットワークには、3Gネットワーク、GSMネットワーク、GPRSネットワークの通信方式があります。
- お買い上げ時は、海外でのネットワークの切り替えが自動で行われるよう設定されています。
- 海外でのご利用料金は毎月のご利用料金と合わせてご請求させていただきます。ただし、渡航先通信事業者などの事情により、翌月以降の請求書にてお支払いいただく場合があります。また、同一課金対象期間のご利用であっても同一月に請求されない場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 国際ローミング中に電話がかかってきた場合は、日本からの国際転送になります。発信者には日本までの通話料がかかり、着信者には着信料がかかります。
- 海外でFOMA端末をご利用いただく前に、以下をあわせてご覧ください。
  ・「ご利用ガイドブック(国際サービス編)」
  ・「ご利用ガイドブック(ネットワークサービス編)」
  ・データBOXの「マイドキュメント」内の「ｉモード」フォルダにプリインストールされている「海外ご利用ガイド」

■海外で利用できるサービス

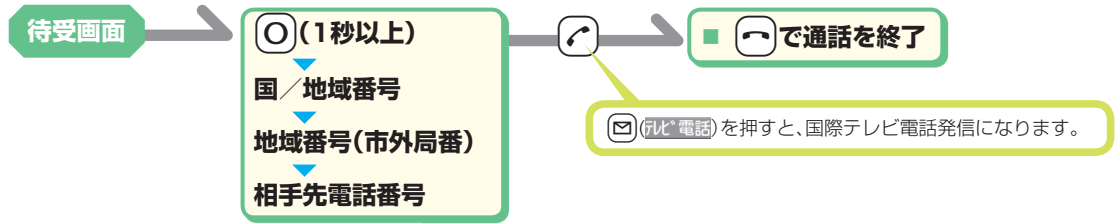
通信サービス	3G	GSM	GPRS
音声電話※1	○	○	○
テレビ電話※1	○	×	×
SMS	○	○	○
ｉモード※2	○	×	○
ｉモードメール	○	×	○
ｉチャネル※2※3	○	×	○
ｉコンシェル※4	○	×	○
パソコンと接続して行うパケット通信	○	×	○

○:利用できます。　×:利用できません。

※1 2in1のモードがBモードまたはデュアルモードの場合は、Bナンバーから発信することはできません。
※2 ｉモードの海外利用設定が必要となります。
※3 ｉチャネル設定が必要となります。ｉチャネルの受信ごとに(ベーシックチャネル含む)パケット通信料がかかります。
※4 ｉコンシェルの海外利用設定が必要となります。インフォメーションを受信するたびにパケット通信料がかかります。

Point

- 使用する通信事業者やネットワークにより利用できないサービスがあります。
  接続可能な国･地域および通信事業者などの情報については、ドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。
- 海外でのパケット通信料は日本国内でのパケット通信料と異なります。

滞在国外（日本を含む）に電話をかける

Point

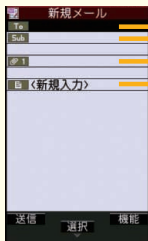
- 日本に国際電話をかける場合や海外にいるWORLD WING利用者にかける場合は、国／地域番号に「81」を入力してください。
- 地域番号（市外局番）が「0」で始まる場合には、「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアなど一部の国･地域におかけになるときは「0」が必要な場合があります。

滞在国内に電話をかける

ｉモードメールを利用する

ｉモードを契約するだけで、ｉモード端末間はもちろん、インターネットを経由してe-mailでのやりとりができます。
テキスト本文に加えて画像などを添付できます。また、デコメ®絵文字も使えて簡単に表現力豊かなメールを送ることができます。
ｉモードメールの詳細については、「ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）」をご覧ください。

ｉモードメールを送信する

■ 各項目を入力

本文を入力中にMENU（絵文字）で絵文字が入力できます。

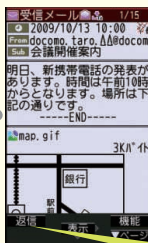
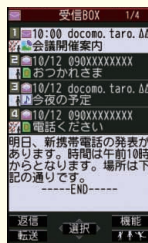
受信したｉモードメールを表示する

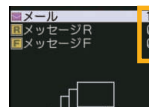
待受画面

ｉモードメールを受信すると、
待受画面に「 」が表示されます。

受信BOX

■ **フォルダを選択**

■ **ｉモードメールを選択**

ｉモード問い合わせ

を1秒以上押して、ｉモードセンターに新着ｉモードメールやメッセージR/Fを問い合わせます。
ｉモードメールやメッセージR/Fを受信すると、下記の画面が表示されます。

件数
選択すると、各項目を表示できる画面になります。

緊急速報「エリアメール」

気象庁から配信される緊急地震速報などをエリアメールとして受信できます。
エリアメールを受信すると「 」が点灯します。
受信内容が自動で表示されるものがあります。表示を消すにはを押します。

SMS

電話番号が宛先となるので、相手のFOMA端末のメールアドレスがわからないときでもメッセージを送信できます。

メッセージR/F

ニュース速報などが自動的に届くサービスです。メッセージの種類にはメッセージR(リクエスト)とメッセージF(フリー)があります。

ｉモードメールを返信するには

ｉモードメール表示中に(返信)を押します。
本文を入力し、送信します。

ｉモードを利用する

ｉモードでは、ｉモード対応FOMA端末（以下ｉモード端末）のディスプレイを利用して、サイト（番組）接続、インターネット接続、ｉモードメールなどのオンラインサービスをご利用いただけます。

- ｉモードはお申し込みが必要な有料サービスです。
- ｉモードの詳細については、「ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）」をご覧ください。

■ｉモードのご利用にあたって

- サイト（番組）やインターネット上のホームページ（インターネットホームページ）の内容は、一般に著作権法で保護されています。これらサイト（番組）やインターネットホームページからｉモード端末に取り込んだ文章や画像などのデータを、個人として楽しむ以外に、著作権者の許可なく一部あるいは全部をそのまま、または改変して販売したり、メールへの添付やｉモード端末外へ出力することはできません。
- 別のFOMAカードを差し替えたり、FOMAカードを未挿入のまま電源ONにした場合、機種によってサイトから取り込んだ静止画・動画・メロディやメールで送受信した添付ファイル（静止画・動画・メロディなど）、「画面メモ」および「メッセージR/F」などを表示・再生できません。
- FOMAカードにより表示・再生が制限されているファイルを待受画面・指定着信音などに設定されている場合、別のFOMAカードを差し替えたり、FOMAカードを未挿入のまま電源ONにすると、設定内容は初期状態にリセットされます。

■「P-SQUARE」について

お買い上げ時に登録されているｉアプリ、キャラ電、マチキャラ、きせかえツール、テンプレート、辞書、デコメ®絵文字は「P-SQUARE」のサイトからダウンロードできます。

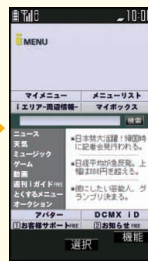
ｉMenu→メニューリスト→ケータイ電話メーカー→P-SQUARE

サイト接続用QRコード

サイトアクセス

サイトに接続する

i Menu

通信中は「⇕」が点滅します。

項目(リンク先)の選択を繰り返して目的のサイトを表示します。

ページを戻る・進む

前のページを表示するには◯、次のページを表示するには◯を押します。

ｉアプリを利用する

「ｉアプリ」とは、ｉモード対応携帯電話用のソフトです。ｉモードサイトからさまざまなソフトをダウンロード※すれば、自動的に株価や天気情報などを更新させたり、ネットワークに接続していない状態でもゲームを楽しんだり、FOMA端末をより便利にご利用いただけます。

※別途パケット通信料がかかります。

- 海外でご利用の場合は、国内でのパケット通信料と異なります。
- ｉアプリの詳細については、「ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）」をご覧ください。

ｉアプリをダウンロードする

■ ｉアプリダウンロードが可能なサイトでソフトを選択 → OK → YES

ｉアプリを起動する

待受画面 → （1秒以上） → ■ ソフトを選択

■お買い上げ時には以下のｉアプリなどが登録されています。

- ・ケータイTOOL<GLOBAL>
- ・ズーキーパー DX Ver.P
- ・Gガイド番組表リモコン
- ・iD 設定アプリ
- ・DCMXクレジットアプリ
- ・楽オク出品アプリ2
- ・地図アプリ
- ・ｉアプリバンキング

※操作方法は各ソフトのヘルプをご覧ください。

※お買い上げ時に登録されているｉアプリは削除できます。削除したｉアプリは「P-SQUARE」のサイトから再びダウンロードできます。

■再ダウンロードサービス期限

・「ケータイTOOL<GLOBAL>」「ズーキーパー DX Ver.P」：2013年1月末日

※再ダウンロードサービスは期限内であっても予告なく休止または終了する場合があります。

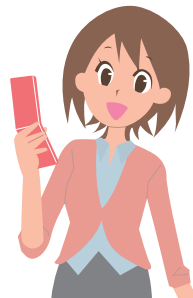
ｉモーションを利用する

ｉモーションは、映像や音声、音楽のデータで、ｉモーション対応サイトからFOMA端末に取り込み再生できます。また、ｉモーションを着信音に設定することもできます。

ｉモーションを取得する

■ ｉモーション取得可能なサイトで
ｉモーションを選択

ｉモーションを再生する

サイトアクセス

ｉチャネルを利用する

ニュースや天気などの情報がｉチャネル対応端末に配信されるサービスです。自動的に受信した最新の情報が待受画面にテロップとして流れます。また、ｉチャネル対応ボタンを押すことで最新情報がチャネル一覧画面に表示されます。
ｉチャネルには下記の2種類があります。
「ベーシックチャネル」……ドコモが提供するチャネル
（配信される情報の自動更新時にパケット通信料はかかりません。）
「おこのみチャネル」………IP（情報サービス提供者）が提供するチャネル
（配信される情報の自動更新時に別途パケット通信料がかかります。）
「ベーシックチャネル」「おこのみチャネル」共に詳細情報を閲覧する場合は別途パケット通信料がかかりますのでご注意ください。
国際ローミングサービスご利用の際は、自動更新・詳細情報の閲覧共にパケット通信料がかかります。

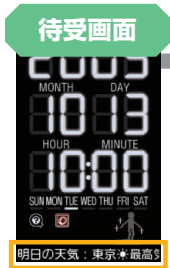
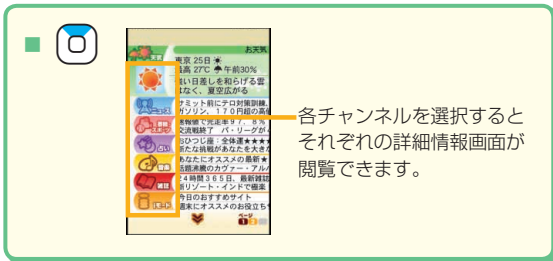
- ｉチャネルはお申し込みが必要な有料サービスです（お申し込みにはｉモード契約が必要です）。
- ｉチャネルの詳細については、「ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）」をご覧ください。

ｉチャネルに接続する

待受画面

テロップ

■ [ボタン]

各チャンネルを選択するとそれぞれの詳細情報画面が閲覧できます。

ｉコンシェルを利用する

ｉコンシェルとは、「執事（コンシェルジュ）」のように、待受画面上のキャラクター（マチキャラ）が、あなたの生活をサポートするサービスです。
ｉコンシェルでは、鉄道運行情報や生活関連情報などのインフォメーションの受信、スケジュール／ｉスケジュールのダウンロード、電話帳・トルカ・スケジュール／ｉスケジュールのお預かり・更新などをご利用いただけます。

■ｉコンシェルのご利用にあたって

- ｉコンシェルはお申し込みが必要な有料サービスです。（お申し込みにはｉモードの契約が必要です）
- 電話帳お預かりサービスのご契約をされていないお客様が、ｉコンシェルを新たにご契約になる場合、同時に電話帳お預かりサービスにもご契約いただいたことになります。
- インフォメーションにはドコモが提供する情報とIP（情報サービス提供者）が提供する情報の2種類があります。ドコモが提供するインフォメーションは、情報の受信時にパケット通信料はかかりません。IP（情報サービス提供者）が提供するインフォメーションは、情報の受信時に別途パケット通信料がかかります。
- 詳細情報のご利用には別途パケット通信料がかかります。
- 国際ローミングサービスご利用の際は、受信・詳細情報の閲覧共にパケット通信料がかかります。また、海外でご利用の場合は、国内でのパケット通信料と異なります。
- コンテンツ（インフォメーション、ｉスケジュールなど）によっては、ｉコンシェルの月額使用料のほかに、別途情報料がかかる場合があります。
- ｉスケジュール・トルカ・電話帳の自動更新時には別途パケット通信料がかかります。
- ｉコンシェルの詳細については「ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）」をご覧ください。

i コンシェルを利用する(つづき)

インフォメーションを受信する

■ インフォメーションを受信すると「 」が点滅し、待受画面に内容が表示される

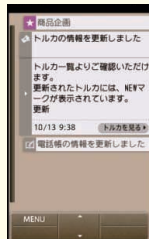
■ メッセージを選択

i コンシェルを表示する

待受画面

i コンシェル

■ インフォメーションを選択

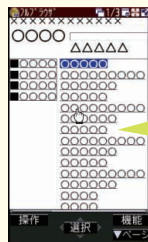
サイトアクセス

フルブラウザを利用する

パソコン向けに作成されたインターネットホームページを、フルブラウザの機能を利用して閲覧できます。

- 画像を多く含むホームページの閲覧、データのダウンロードなどのデータ量の多い通信を行うと、通信料金が高額になりますので、ご注意ください。パケット通信料の詳細については、「ご利用ガイドブック(ｉモード<FOMA>編)」をご覧ください。
- フレームで構成されたインターネットホームページも閲覧できます。また、選択したフレームごとに表示することもできます。
- フルブラウザでSSL/TLS※対応のページを表示できます。
  ※SSL、TLSは認証／暗号技術を使用して、プライバシーを守ってより安全にデータ通信を行う方式のことです。SSL/TLSページではデータを暗号化して送受信することにより、通信途中での盗聴、書き換えを防止できます。また、サーバ認証によりなりすましを防止し、クレジットカード番号や住所などお客様の個人情報をより安全にやりとりできるようにしています。

待受画面 → フルブラウザ ▼ Internet ▼ <新規入力> →

■URLを入力
▼
OK

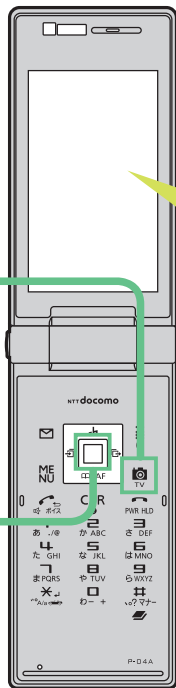
インターネットホームページに接続します。

フルブラウザ画面の操作

1:前のページへ戻る
3:次のページへ進む
7:縮小する
8:標準に戻す
9:拡大する

Point

- インターネットホームページによっては表示できない場合や正しく表示できない場合があります。

カメラで撮影する

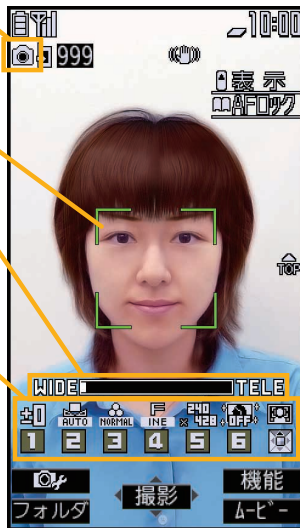
P-05A カメラ機能はご利用できません。

撮影画面の見かた

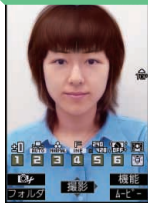
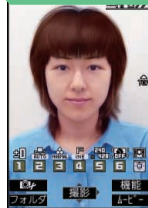
カメラモード
:静止画撮影(フォト)モード
:動画撮影(ムービー)モード

フォーカス
フォーカスを で合わせます。

ズーム
でズームできます。

各種設定
対応するボタンを押して各種設定の変更ができます。

1:明るさ( )
2:ホワイトバランス( )
3:撮影モード( )
4:画質( )
5:画像サイズ( )
6:高感度撮影( )
:フォーカス設定( )

カメラモードを切り替える

撮影画面の機能メニューからカメラモードを「フォトモード」「ムービーモード」「連写モード」「バーコードリーダー」に切り替えられます。
<例>ムービーモードで動画を撮影する

- レンズを直射日光に向けて放置しないでください。素子の褪色・焼付きを起こすことがあります。
- 電池残量が少ないときは、撮影した静止画や動画を保存できない場合があります。
- microSDカードをご利用になるには、別途microSDカードが必要となります。

バーコードを読み取るには

カメラを使ってQRコードを読み取り、データとして登録できます。
データを使って電話をかけたり、i モードメールの作成、インターネット接続などができます。

■バーコードリーダーで読み取りを行うときは
- できるだけコードがガイド枠内に大きく写るようにします。
- オートフォーカスは約10cm以上の距離でフォーカスが合います。
  フォーカスが外れた状態で読み取りを行った場合は、認識率が低下します。
- コードに対してカメラが平行になるようにして読み取ってください。

ガイド枠

■QRコードとは
縦・横方向でデータを表現している二次元コードの1つです。読み取ると、漢字・カナ・英数字・絵文字が表示されます。画像やメロディ情報を持つQRコードもあります。
- FOMA端末で読み取ると「株式会社NTTドコモ」と表示されます。

<例>右記のQRコードを利用してP-SQUAREに接続する場合

サイト接続用QRコード

1. 待受画面▶MENU▶LifeKit▶バーコードリーダー
2. コード読み取り▶QRコードをガイド枠に合わせて[ボタン]を押す▶[ボタン](開始)
3. URLを選択▶ i モード▶YES

ワンセグを見る

ワンセグは、テレビ放送事業者(放送局)などにより提供されるサービスです。
映像、音声の受信には通信料がかかりません。なお、NHKの受信料については、NHKにお問い合わせください。

※「データ放送サイト」「ｉモードサイト」などを閲覧する場合は、パケット通信料がかかります。サイトによっては、ご利用になるために情報料が必要なもの(ｉモード有料サイト)があります。
※「ワンセグ」サービス詳細については、下記ホームページなどでご確認ください。
　社団法人　デジタル放送推進協会
　パソコン:http://www.dpa.or.jp/
　ｉモード:http://www.dpa.or.jp/1seg/k/
※海外ではワンセグは利用できません。

■電波について

ワンセグは、放送サービスの1つであり、FOMAサービスとは異なる電波(放送波)を受信しています。
次のような場所では、正しく動作しない場合があります。

- **放送波が送信される電波塔から離れている場所**
- **山間部やビルの陰など**
- **トンネル、地下、建物内の奥まった場所など**

※FOMA端末を体から離したり近づけたり、場所を移動したりすることで受信状態が良くなることがあります。

■電池残量について

電池残量が少ないときにワンセグを利用しようとすると、電池残量警告音が鳴り、起動するかどうかの確認画面が表示されます。また、視聴中や録画中に電池残量が少なくなると、電池残量警告音が鳴ります。
・確認画面で約1分間何も操作をしないと、自動的にワンセグが終了します。

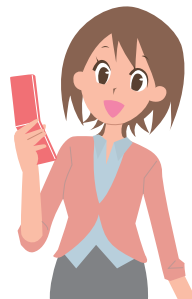
■初めてワンセグを利用する場合の画面表示について

お買い上げ後、初めてワンセグを利用する場合、免責事項の確認画面が表示されます。
□(OK)を押したあとに表示される確認画面で「NO」を選択すると、以後同様の確認画面は表示されません。

- **別のFOMAカードに差し替えたときやFOMAカードを取り外したときも免責事項の確認画面が表示されます。**

■待受画面で1秒以上押してワンセグを起動

P-05A [TV]を1秒以上押します。

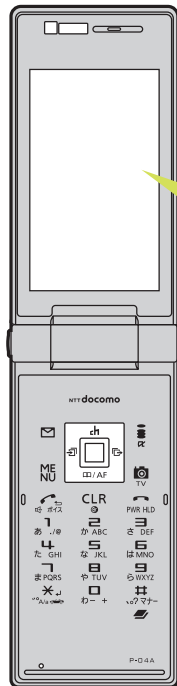
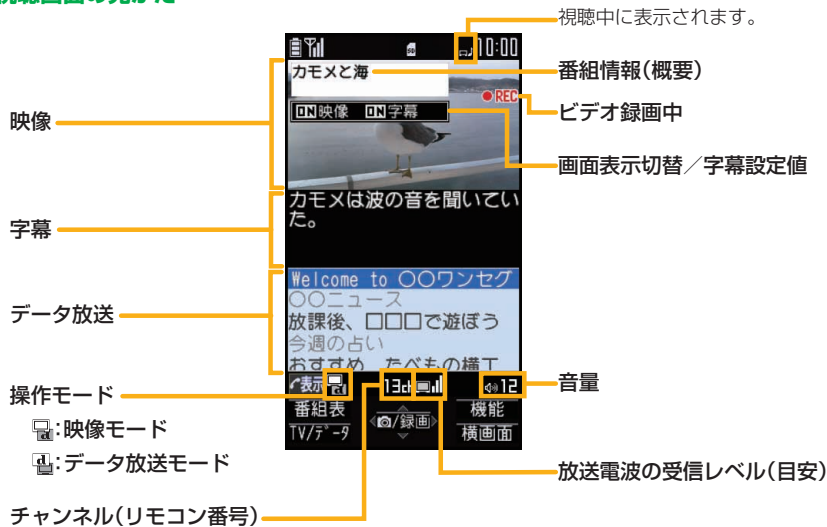
- チャンネルリストを登録していない場合は「OK」を選択し、「チャンネル設定」を行います。

チャンネルを設定する

はじめてワンセグをご利用になるときや地域が変わったときなどは「チャンネル設定」を行う必要があります。

待受画面 → MENU → ワンセグ → チャンネル設定 → 地域選択 → ■地域を選択 → ■都道府県を選択 → YES

都道府県ごとに設定されている放送局がチャンネルリストに登録されます。
登録したチャンネルリストを選択し、放送局を選択すると、ワンセグを視聴できます。

視聴画面の見かた

視聴中に表示されます。
番組情報（概要）
ビデオ録画中
画面表示切替／字幕設定値
映像
字幕
データ放送
音量
操作モード
:映像モード
:データ放送モード
放送電波の受信レベル（目安）
チャンネル（リモコン番号）

視聴画面での操作について

:音量調節
:選局

（ /録画）（1秒以上）：ビデオ録画

- 録画したビデオはmicroSDカード（「データBOX」→「ワンセグ」→「ビデオ」）に保存されます。

Music&Videoチャネルを利用する

Music&Videoチャネルとは、事前にお好みの音楽番組などを設定するだけで、夜間に最大1時間程度の番組が自動配信されるサービスです。
また、最大30分程度の高画質な動画番組を楽しむこともできます。番組は定期的に更新され、配信された番組は通勤や通学中など好きな時間に楽しむことができます。

- Music&Videoチャネルの詳細については、「ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）」をご覧ください。

■Music&Videoチャネルのご利用にあたって

- Music&Videoチャネルはお申し込みが必要な有料サービスです。（お申し込みにはｉモード契約およびパケ・ホーダイ／パケ・ホーダイフル／パケ・ホーダイ ダブル契約が必要です。）
- Music&Videoチャネルのサービス利用料のほかに、番組によって別途情報料がかかる場合があります。
- Music&Videoチャネルにご契約いただいたあと、Music&Videoチャネル非対応のFOMA端末にFOMAカードを差し替えた場合、Music&Videoチャネルはご利用いただけません。ただし、Music&Videoチャネルを解約されない限りサービス利用料がかかりますのでご注意ください。
- ｉモードの解約を行った場合、配信番組フォルダの番組データが削除される場合があります。
- 国際ローミング中は番組設定や取得は行えません※。海外へお出かけの際は、事前に番組の配信を停止してください。また、帰国された際は、番組の配信を再開してください。
  ※国際ローミング中に番組設定や取得を行おうとした場合、ｉモード接続を行うためパケット通信料がかかりますのでご注意ください。

Step 1　番組を取得する

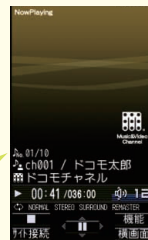
■画面に従って番組の設定操作を行う

Step 2　番組を再生する

MUSIC
Music&Videoチャネル

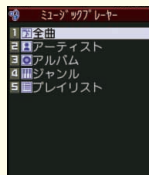
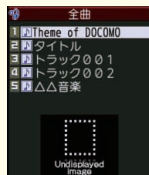
■番組を選択

Music&Videoチャネル再生時の操作方法

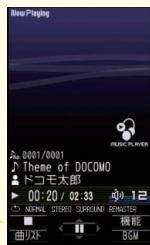
- :停止
- :一時停止
- :音量調節
- (押し続ける):早送り
- (押し続ける):早戻し

カメラ／ワンセグ／音楽

音楽を聴く

待受画面

MUSIC
▼
ミュージックプレーヤー

全曲

■ 曲を選択

音楽再生時の操作方法

- ✉：停止
- ◎：一時停止
- 上下：音量調節
- 右：次の曲
- 左：前の曲または頭出し
- 右（押し続ける）：早送り
- 左（押し続ける）：早戻し

Point

• ダウンロードした着うたフル®やパソコンなどから取り込んだ音楽データを聴くことができます。
「着うたフル」は株式会社ソニー·ミュージックエンタテインメントの登録商標です。

■音楽データの取り扱いについて

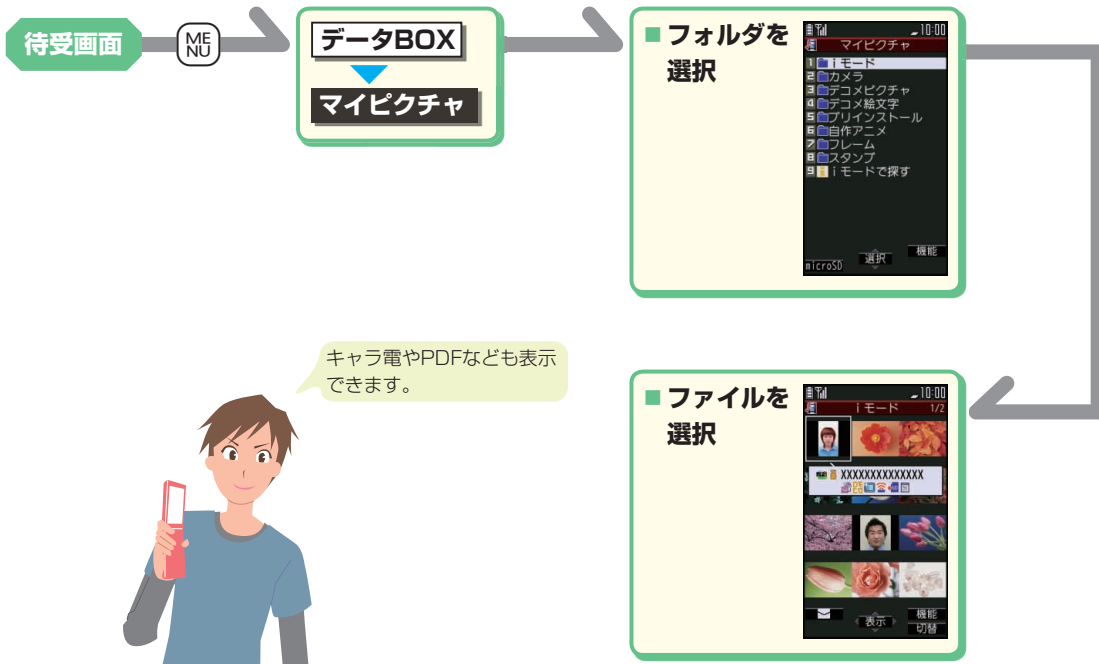
microSDカードに保存した音楽データは、個人使用の範囲内でのみ使用できます。ご使用にあたっては、著作権などの第三者の知的財産権その他の権利を侵害しないよう十分にご配慮ください。

データを管理する

データBOXには右記のようなデータが保存できます。

マイピクチャ カメラで撮影した静止画など	**マチキャラ** ダウンロードしたマチキャラ
ミュージック サイトから取得した着うたフル®など	**キャラ電** ダウンロードしたキャラ電
Music&Videoチャネル ダウンロードした番組	**PC動画** パソコンなどで保存したPC動画
iモーション カメラで録画した動画など	**ワンセグ** ワンセグで録画した静止画／ビデオなど
メロディ ダウンロードしたメロディなど	**ドキュメントビューア** メール（添付ファイル）から保存したワード、エクセルなど
マイドキュメント ダウンロードしたPDFデータなど	**SDその他ファイル** メール（添付ファイル）から保存した非対応のファイル
きせかえツール ダウンロードしたきせかえツールなど	

データを表示する

<例>静止画を表示する

microSDカードを利用する

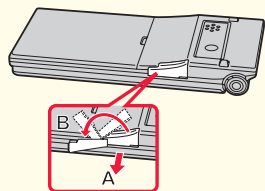
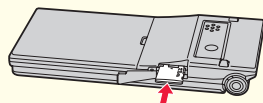
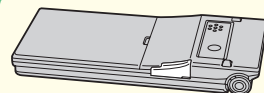
microSDカードをご利用になるには、別途microSDカードが必要となります。

- 本FOMA端末では市販の２Gバイトまでのmicro SDカード、16Gバイトまでのmicro SDHCカードに対応しています。（2009年4月現在）
- microSDカードの製造メーカーや容量など、最新の動作確認情報については下記のサイトをご覧ください。
  また、掲載されているmicroSDカード以外については、動作しない場合がありますのでご注意ください。
  ｉモードから　P-SQUARE（2009年4月現在）

  ｉMenu→メニューリスト→ケータイ電話メーカー→P-SQUARE
  パソコンから　http://panasonic.jp/mobile/
  なお、掲載されている情報は動作確認の結果であり、すべての動作を保証するものではありませんので、あらかじめご了承ください。

サイト接続用QRコード

- カード処理を行っているときは「 」が表示されます。カード処理を行っているときは絶対にmicroSDカードを抜いたり、FOMA端末の電源を切らないでください。カード処理を行っていないことを確認してからFOMA端末の電源を切って、microSDカードを抜いてください。
- 本体・microSDカード内のデータが多い場合、アクセスに時間がかかることがあります。
- microSDカードには寿命があります。長期間ご使用になると、新しくデータを書き込めなかったり、使用できなくなることがあります。
- パソコンなど他機器でフォーマットしたmicroSDカードは使用できないことがあります。必ず本FOMA端末でフォーマットしたmicroSDカードをご使用ください。
- フォーマットを行うと、microSDカードの内容がすべて消去されますのでご注意ください。
- 本FOMA端末以外の機器でmicroSDカードの読み書きを行うと、ご利用の機器や操作方法によってはmicroSDカードが使用できなくなる場合があります。
- パソコンなど他機器で使用しているmicroSDカードを本FOMA端末で使用すると、本FOMA端末で使用するための新しいファイルやフォルダが作成されます。

microSDカードを取り付ける

■ microSDカード差し込み口のカバーをAの方向に引っ張り出し、Bの方向に回転させて開ける

■ 金属端子面を下にし、切り込みの部分が右側になっていることを確認して差し込む

■ microSDカード差し込み口のカバーを閉める

microSDカードを取り外すときは

microSDカードをいったん奥まで押し込み、抜き取ります。

Point

• microSDカードを取り付けたり取り外したりするときは、飛び出すことがありますのでご注意ください。

■アイコン表示について

: データを保存したり読み出したりできます。

: データを読み込み／書き込み中です。
この表示が出ているときは、microSDカードを抜いたり、FOMA端末の電源を切らないでください。

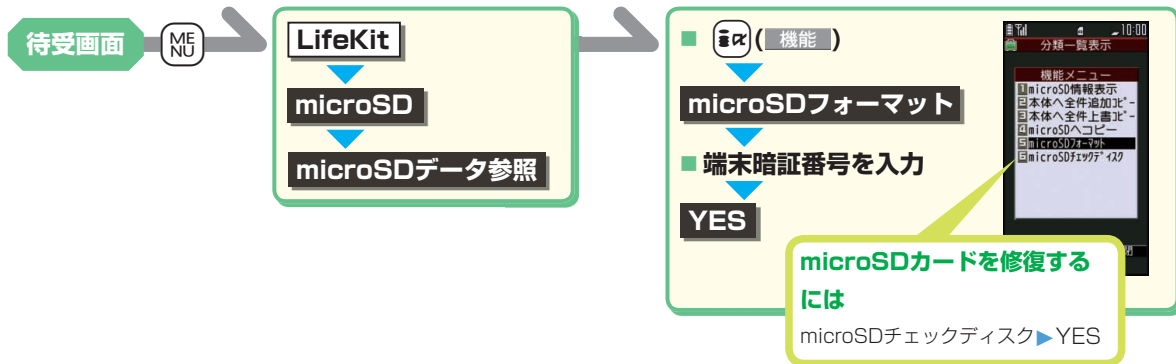
: ライトプロテクトがかかっています。

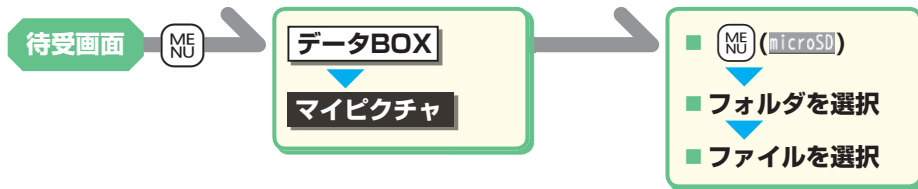
: 使用できません。microSDカードを取り外して、再度取り付けてください。
それでも「 」が表示される場合は、「microSDチェックディスク」または「microSDフォーマット」を行ってください。

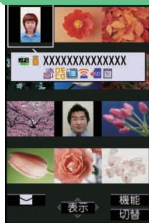
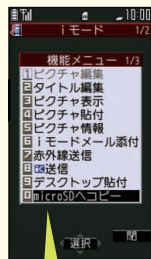
フォーマットする

microSDカードを初めて利用するときには、フォーマット(初期化)する必要があります。

microSDカードを修復するには

microSDチェックディスク▶YES

データを表示する

＜例＞静止画を表示する

データをコピーする

FOMA端末内のファイルをmicroSDカードへコピーします。

静止画の場合

FOMA端末内のファイルをmicroSDカードへ移動するには

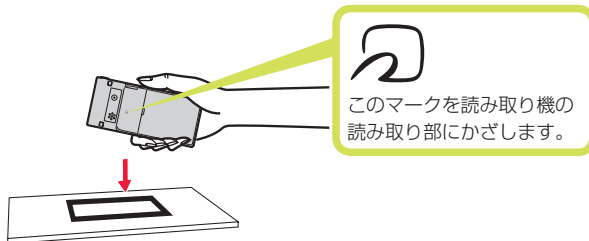
「microSDへ移動」を選択します。

おサイフケータイを使う

おサイフケータイは、ICカードが搭載されており、お店などの読み取り機にFOMA端末をかざすだけで支払いなどができます。
さらに、通信を利用して電子マネーを入金したり、残高や利用履歴を確認できます。また、安心してご利用いただけるよう、おまかせロックやICカードロックなどのセキュリティも充実しています。
おサイフケータイの詳細については、「ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）」をご覧ください。

- FOMA端末の故障により、ICカード内データ（電子マネー、ポイントなど含む）が消失･変化してしまう場合があります（修理時など、FOMA端末をお預かりする場合は、データが残った状態でお預かりすることができませんので原則データをお客様自身で消去していただきます）。データの再発行や復元、一時的なお預かりや移し替えなどのサポートは、iCお引っこしサービスによる移し替えを除き、おサイフケータイ対応サービス提供者にご確認ください。重要なデータについては必ずバックアップサービスのあるサービスをご利用ください。
- 故障、機種変更など、いかなる場合であっても、ICカード内データが消失･変化、その他おサイフケータイ対応サービスに関して生じた損害について、当社としては責任を負いかねます。
- FOMA端末の盗難･紛失時は、すぐにご利用のおサイフケータイ対応サービス提供者に対応方法をお問い合わせください。

FOMA端末のマークを読み取り機にかざして、目的のサービスを利用する

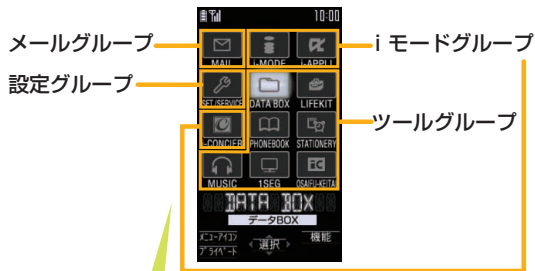
FOMA端末を読み取り機に近づけて通信が可能な状態になると着信／充電ランプが点灯します。

マルチタスク／マルチアクセスについて

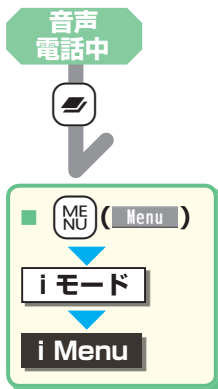
(キー)を使って、マルチアクセスとマルチタスクを利用できます。

■マルチアクセス

音声電話・パケット通信・SMSの3回線を同時に使用できる機能です。マルチアクセス中は、それぞれの通信回線について通信料金がかかります。

■マルチタスク

FOMA端末は、最大3つの機能（グループ）を同時に使用できる「マルチタスク」に対応しています。マルチアクセスとマルチタスクを組み合わせることにより、次の機能を同時に使えます。

グループに属さない機能として、音声電話、テレビ電話、64Kデータ通信などがあります。

<例>音声電話中にｉモードサイトを表示する

Point

- すでに同じグループのメニュー機能が呼び出されているときは機能を切り替えるかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択すると元のメニュー機能は終了し、新しいメニュー機能が呼び出されます。
- 異なるグループのメニュー機能でも、条件によっては同時に使用できない場合があります。

アラームを使う

ステーショナリー

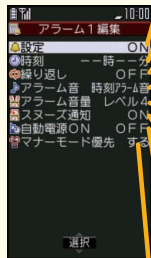
▼

アラーム

■ **アラームを選んで✉(編集)**

▼

■ **各項目を入力**

アラーム1編集

- 設定 ON — アラームの有効／無効を選択
- 時刻 ーー時ーー分 — 鳴らす時刻を入力
- 繰り返し OFF — アラームを毎日使う場合などに設定
- アラーム音 時刻アラーム音 — 種類を選択
- アラーム音量 レベル4 — 音量を調節
- スヌーズ通知 ON — 鳴動時間を設定
  - ・「ON」に設定すると、約５分おきに１分間、最大6回アラーム音が鳴ります。
  - ・「OFF」の場合は、鳴動時間を入力します。
- 自動電源ON OFF — アラーム通知時に電源を入れるかどうかを設定
  - ・「電源ONする」の場合、FOMA端末の電源を切っていても、設定時刻になると、自動的に電源が入ってアラーム音が鳴りますのでご注意ください。
- マナーモード優先 する — マナーモード中でもアラームを優先して鳴らすかを設定

選択

■ ✉(完了)

便利な機能

Point

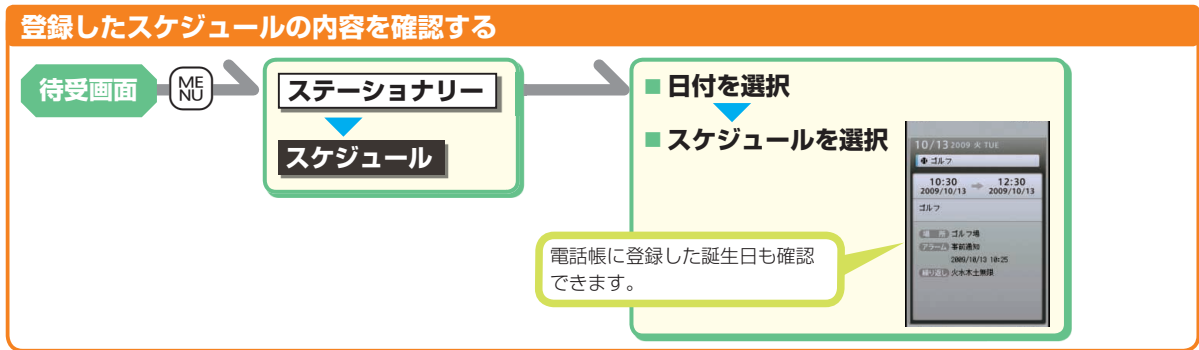
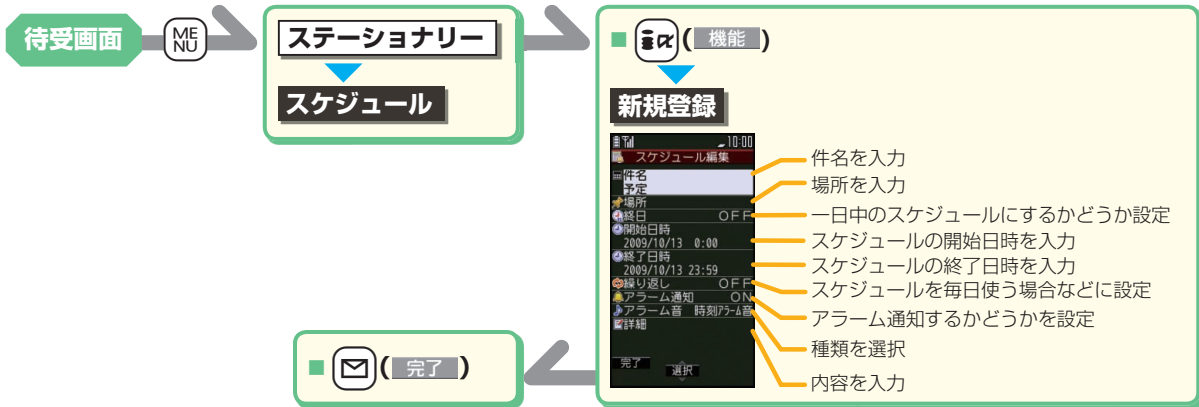
- 公共モード(ドライブモード)中、オールロック中、パーソナルデータロック中、おまかせロック中はアラーム音は鳴りません。

カレンダーでスケジュールを管理する

待受画面 → MENU → ステーショナリー ▼ スケジュール → ■ iα（機能）▼ 新規登録

- 件名を入力
- 場所を入力
- 一日中のスケジュールにするかどうか設定
- スケジュールの開始日時を入力
- スケジュールの終了日時を入力
- スケジュールを毎日使う場合などに設定
- アラーム通知するかどうかを設定
- 種類を選択
- 内容を入力

→ ■ ✉（完了）

登録したスケジュールの内容を確認する

便利な機能

通話時間と通話料金を確認する

待受画面

「積算リセット」を選択すると、今までの通話時間や通話料金をリセットすることができます。

設定／サービス

時間／料金

通話時間／料金

音声電話、テレビ電話などの前回および積算の通話時間と料金の目安が表示されます。

Point

- ｉモード通信、パケット通信の通信時間・通信料金はカウントされません。ｉモード利用料などの確認方法については、ｉモード契約時にお渡しする「ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）」をご覧ください。
- 着もじの送信料金はカウントされません。
- WORLD CALL利用時の国際通話料はカウントされます。その他の国際電話サービス利用時はカウントされません。
- 着信中や相手を呼び出している時間はカウントされません。

ボイスレコーダーを利用する

待受画面

LifeKit

ボイスレコーダー

MENU（再生）を押すと録音した音声を再生できます。

「データBOX」の「ｉモーション」に音声データは保存されます。

便利な機能

パソコンと接続してデータ通信する

FOMA端末とパソコンを接続してご利用できるデータ通信は、データ転送(OBEX™通信)とパケット通信・64Kデータ通信に分類されます。
・海外では、64Kデータ通信はご利用になれません。

データ通信の詳細については、付属のCD-ROM内、またはドコモのホームページ上の「パソコン接続マニュアル」(PDF形式)をご覧ください。
PDF版「パソコン接続マニュアル」をご覧になるには、Adobe® Reader®が必要です。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、付属のCD-ROM内のAdobe® Reader®をインストールしてご覧ください。
ご使用方法などの詳細につきましては、「Adobe Readerヘルプ」をご覧ください。

データ転送(OBEX™通信)

画像や音楽、電話帳、メールなどのデータを、他のFOMA端末やパソコンなどとの間で送受信します。

パケット通信

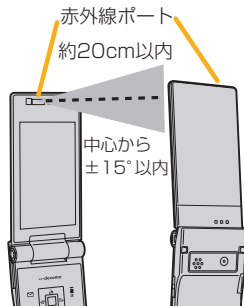
送受信したデータ量に応じて通信料金がかかる通信方式です。

64Kデータ通信

接続している時間に応じて、通信料金がかかる通信方式です。

赤外線通信でデータを送受信する

FOMA端末はIrMC™バージョン1.1規格に準拠しています。
赤外線通信機能を持つ機器との間で電話帳などのデータを送受信できます。ただし、相手機器によっては送受信できないデータがあります。

- 受信側を先に設定し、30秒以内に送信側の送信を開始します。

<データを1件送信する場合>

1.送信したいデータの画面▶(機能)

2.赤外線送信▶YES

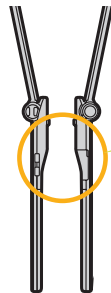
<データを1件受信する場合>

1.待受画面▶MENU▶LifeKit▶赤外線受信

2.受信▶YES

※データを全件送信／受信する場合は認証パスワード(任意の4桁の番号)の入力が必要です。

iC通信でデータを送受信する

iC通信とは、FeliCa リーダー／ライター機能を利用して他のFOMA端末と電話帳などのデータを送受信できる機能です。ただし、相手のFOMA端末によっては送受信できないデータがあります。

<データを1件送信する場合>

1.送信したいデータの画面▶(機能)

2.iC送信▶YES

<データを1件受信する場合>

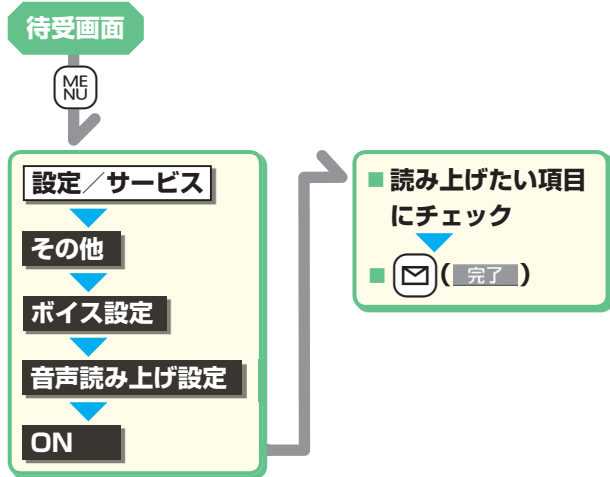
1.待受画面を表示した受信側の端末のマークと送信側のマークを向き合わせる

2.YES

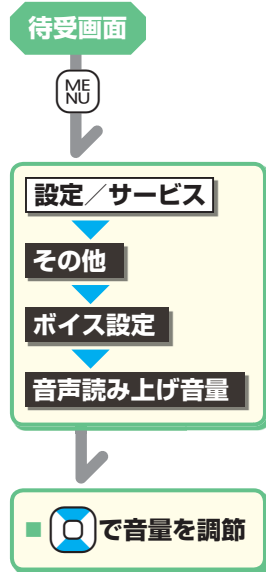
※データを全件送信／受信する場合は認証パスワード(任意の4桁の番号)の入力が必要です。

音声読み上げ機能を利用する

着信を着信音の代わりに音声で知らせたり、メールの内容を自動で読み上げるように設定できます。また、ボイスダイヤルの操作を音声ガイダンスで案内します。

音声読み上げ設定

Point

以下の場合はメールの音声読み上げは行いません。
- ワンセグの音声が流れているとき
- マルチウィンドウでメールを表示しているとき
- microSDカードに保存しているメールを表示したとき

音声読み上げ音量

暗証番号について

■各種暗証番号に関するご注意

- 設定する暗証番号は「生年月日」「電話番号の一部」「所在地番号や部屋番号」「1111」「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万が一暗証番号が他人に知られ悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 各暗証番号を忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類(運転免許証など)やFOMA端末、FOMAカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。
  詳しくは取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

端末暗証番号

お買い上げ時は「0000」

データ全削除や設定変更時に4～8桁の番号で入力します。

＜変更するには＞

待受画面▶MENU▶設定／サービス▶ロック／セキュリティ▶端末暗証番号変更

ネットワーク暗証番号

ドコモショップまたはドコモ インフォメーションセンターや「お客様サポート」でのご注文時に契約者ご本人を確認させていただく際や各種ネットワークサービスご利用時などに数字4桁で入力します。

＜変更するには＞

ｉモードから、お客様サポート内の「各種設定（確認・変更・利用）」から変更できます。

ｉモードパスワード

ご契約時は「0000」

マイメニューの登録・削除、メッセージサービス、ｉモードの有料サービスのお申し込み・解約などを行うときに4桁の番号で入力します。

<変更するには>
ｉモードから、「ｉMenu」→「お客様サポート」→「各種設定（確認・変更・利用）」→「ｉモードパスワード変更」から変更できます。

PIN1コード・PIN2コード

ご契約時は「0000」

PIN1コードは、第三者による無断使用を防ぐため、FOMAカードをFOMA端末に差し込むたびに、またはFOMA端末の電源を入れるたびに使用者を確認するために4～8桁の番号で入力します。
PIN2コードは、積算通話料金リセット、ユーザ証明書利用時や発行申請を行うときに4～8桁の番号で入力します。

<変更するには>
待受画面▶MENU▶設定／サービス▶ロック／セキュリティ▶FOMAカード（UIM）設定▶端末暗証番号を入力▶PIN1コード変更・PIN2コード変更

PINロック解除コード

PINロック解除コードは、PIN1/PIN2コードがロックされた状態を解除するときに8桁の番号で入力します。お客様ご自身では変更できません。

電源を入れたときのセキュリティ
↓
PIN1コード入力

ユーザー証明書の操作 FirstPass対応サイトへの接続
↓
PIN2コード入力

3回連続入力ミス
↓
PINロック解除コード入力

入力OK
↓
新しいPINコードの設定

10回連続入力ミス
↓
ドコモショップ窓口にお問い合わせください

PIN1コード入力設定

FOMA端末の電源を入れたとき、PIN1コードを入力しないと使用できないようにします。

待受画面▶MENU▶設定/サービス▶ロック/セキュリティ▶FOMAカード(UIM)設定▶端末暗証番号を入力▶PIN1コード入力設定▶ON▶PIN1コードを入力
<解除>
待受画面▶MENU▶設定/サービス▶ロック/セキュリティ▶FOMAカード(UIM)設定▶端末暗証番号を入力▶PIN1コード入力設定▶OFF▶PIN1コードを入力

いろいろなロックを設定する

オールロック

電話の応答、電源のON/OFF以外の操作ができなくなります。

待受画面▶MENU▶設定/サービス▶ロック/セキュリティ▶オールロック▶端末暗証番号を入力
<解除>
待受画面▶端末暗証番号を入力

ICカードロック

おサイフケータイやトルカ取得、iC通信などを使用できないようにします。

待受画面▶MENUを1秒以上押す
<解除>
待受画面▶MENUを1秒以上押す▶端末暗証番号を入力

おまかせロック

FOMA端末を紛失した際などに、ドコモにお電話でご連絡いただくだけで、電話帳などの個人データやおサイフケータイのICカード機能にロックをかけることができます。

■おまかせロックの設定/解除

0120-524-360　受付時間 24時間

※パソコンなどでMy docomoのサイトからも設定/解除できます。

- おまかせロックの詳細については「ご利用ガイドブック(iモード<FOMA>編)」をご覧ください。

パーソナルデータロック

電話帳やスケジュールなどを表示できないようにします。

待受画面▶6を1秒以上押す
<解除>
待受画面▶6を1秒以上押す▶端末暗証番号を入力

着信許可／拒否の設定をする

登録外着信拒否

電話帳に電話番号が登録されていない相手からの電話を拒否します。

待受画面▶MENU▶設定／サービス▶ロック／セキュリティ▶登録外着信拒否▶端末暗証番号を入力▶許可・拒否

非通知着信設定

発信者番号非通知理由（通知不可能、公衆電話、非通知設定）により、電話を受けるか受けないかを設定します。

待受画面▶MENU▶設定／サービス▶ロック／セキュリティ▶非通知着信設定▶端末暗証番号を入力▶項目を選択▶許可・拒否

FOMA端末の設定をお買い上げ時の状態に戻す

設定リセット

「機能一覧表」の　　　の項目をお買い上げ時の設定に戻します。(P.110参照)

- 　　　の項目には、お買い上げ時の設定(または お買い上げ時の状態)に戻らない機能を含んでいる場合があります。

待受画面

設定／サービス
▼
その他

設定リセット
▼
■ 端末暗証番号を入力
▼
YES

端末初期化

登録データを一括して削除し、すべての項目をお買い上げ時の状態に戻します。

待受画面

設定／サービス
▼
その他

端末初期化
▼
■ 端末暗証番号を入力
▼
YES
▼
YES

Point

- お買い上げ時に登録されているデータは削除されません。
- 「iD 設定アプリ」以外のおサイフケータイ対応ｉアプリは削除されます。ただし、使用状況によっては削除されないことがあります。
- お買い上げ時に登録されているｉアプリに保存されたデータは削除されます。ただし、削除されなかったおサイフケータイ対応ｉアプリに保存されたデータは削除されません。
- お買い上げ時に登録されているデータを削除していても、端末初期化を行うと元に戻ります。ただし、お買い上げ時に登録されているｉアプリを削除した場合は元に戻りません。
- 端末初期化を行うときは、電池をフル充電しておいてください。電池残量が不十分の場合は、初期化できないことがあります。

遠隔操作でデータを初期化する

本機能の利用契約をすることで、管理者からのお申し出により、対象となるFOMA端末の各種データ（本体／microSDカード／FOMAカード（UIM）内のメモリ）を初期化することができるサービスです。

■お問い合わせ先

docomo Business Online

パソコンから　http://www.docomo.biz

※システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

■遠隔初期化が起動すると

操作ができなくなる旨の画面が表示され、初期化が開始されます。

・遠隔初期化が起動すると、音声電話の着信に対する応答･応答保留を除いてすべてのボタン操作がロックされ、各機能を使用することができなくなります。
初期化が開始されると、すべての機能を使用することができなくなります。

・着信中、通話中に遠隔初期化が起動した場合、と を除いてすべてのボタン操作がロックされます。初期化が開始されると、自動で着信や通話を終了します。

Point

- 「時計設定」は初期化されません。
- パソコンとFOMA端末を接続しているときはmicroSDカードを初期化できない場合があります。

迷惑メール対策

迷惑メール対策には以下の機能があります。
「ご利用ガイドブック（ｉモード＜FOMA＞編）」をご覧ください。

- URL付きメール拒否設定
- 受信／拒否設定
- かんたんメール設定
- ｉモードメール大量送信者からのメール受信制限
- SMS拒否設定
- 未承諾広告※メール拒否
- メール設定確認

故障かな？と思ったら、まずチェック

- まずはじめに、ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックして、必要な場合にはソフトウェアを更新してください。ソフトウェア更新についてはP.98参照。
- 気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお気軽にご相談ください。

症状	チェック項目	参照先
FOMA端末の電源が入らない	・電池パックが正しく取り付けられていますか。	27
	・電池切れになっていませんか。	28
充電ができない（例：FOMA端末の着信／充電ランプが点灯しない、または点滅する）	・電池パックが正しく取り付けられていますか。	27
	・アダプタの電源プラグがコンセントまたはシガーライタソケットに正しく差し込まれていますか。	－
	・アダプタとFOMA端末が正しくセットされていますか。	28
	・ACアダプタ(別売)をご使用の場合、ACアダプタのコネクタがFOMA端末または卓上ホルダ(別売)にしっかりと接続されていますか。	29
	・卓上ホルダを使用する場合、FOMA端末の充電端子は汚れていませんか。汚れているときは、端子部分を乾いた綿棒などで拭いてください。	－

症状	チェック項目	参照先
充電ができない（例：FOMA端末の着信／充電ランプが点灯しない、または点滅する）	・充電しながら通話や通信、その他機能の操作を長時間行うと、FOMA端末の温度が上昇して着信／充電ランプが点滅する場合があります。その場合は、FOMA端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。	－
操作中・充電中に熱くなる	・操作中や充電中、また、充電しながらｉアプリやテレビ電話、ワンセグ視聴などを長時間行った場合などには、FOMA端末や電池パック、アダプタが温かくなることがありますが、安全上問題ありませんので、そのままご使用ください。	－
電池の使用時間が短い	・圏外の状態で長い時間放置するようなことはありませんか。圏外時は通信可能な状態になるよう電波を探すため、より多くの電力を消費しています。	－
	・電池パックの使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。	－
	・電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。十分に充電しても購入時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、指定の電池パックをお買い求めください。	－

症状	チェック項目	参照先
電源断・再起動が起きる	・電池パックの端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。汚れているときは、電池パックの端子を乾いた綿棒などで拭いてください。	－
FOMAカードが認識されない	・FOMAカードを正しい向きで挿入していますか。	27
通話ができない（例：場所を移動しても「圏外」の表示が消えない、電波の状態は悪くないのに発信または着信ができない）	・電源を入れ直すか、電池パックまたはFOMAカードを入れ直してください。	27 30
	・電波の性質により、「圏外ではない」「電波状態は「」を表示している」状態でも発信や着信ができない場合があります。場所を移動してかけ直してください。	－
	・指定着信拒否、指定着信許可など着信制限を設定していませんか。	－
	・電波の混み具合により、多くの人が集まる場所では電話やメールが混み合い、つながりにくい場合があります。その場合は「しばらくお待ちください」と表示され、話中音が流れます。場所を移動するか、時間をずらしてかけ直してください。	－

保証とアフターサービス

保証について

・FOMA端末をお買い上げいただくと、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容および「販売店名・お買い上げ日」などの記載事項をお確かめのうえ、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申し付けください。無料保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
・この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
・FOMA端末の故障・修理やその他お取り扱いによって電話帳などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万が一に備え、電話帳などの内容はメモなどに控えをお取りくださるようお願いします。また、FOMA端末の修理などを行った場合、iモード・iアプリにてダウンロードした情報は、一部を除き著作権法により修理済みのFOMA端末などに移行を行っておりません。
※本FOMA端末は、電話帳やiモーション、iアプリの利用するデータをmicroSDカードに保存していただくことができます。
※本FOMA端末は電話帳お預かりサービス（お申し込みが必要な有料サービス）をご利用いただくことにより、電話帳などのデータをお預かりセンターに保存していただくことができます。
※パソコンをお持ちの場合は、ドコモケータイdatalinkとFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02（別売）またはFOMA USB接続ケーブル（別売）をご利用いただくことにより、電話帳などに登録された内容をパソコンに転送・保管していただくことができます。

アフターサービスについて

◎**調子が悪い場合は**

修理を依頼される前に、この取扱説明書の「故障かな？と思ったら、まずチェック」をご覧になってお調べください。それでも調子がよくないときは、取扱説明書裏面・故障お問い合わせ先にご連絡のうえ、ご相談ください。

◎**お問い合わせの結果、修理が必要な場合**

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

■保証期間内は

・保証書の規定に基づき無料で修理を行います。
・故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良による故障・損傷などは有料修理となります。
・ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有料修理となります。
・お買い上げ後の液晶画面・コネクタなどの破損の場合は、有料修理となります。

■以下の場合は、修理できないことがあります。

・故障受付窓口にて水濡れと判断した場合（例：水濡れシールが反応している場合）
・お預かり検査の結果、水濡れ、結露・汗などによる腐食が発見された場合や内部の基板が破損・変形していた場合（外部接続端子（イヤホンマイク端子）・液晶などの破損や筐体亀裂の場合においても修理ができない可能性があります）
※修理を実施できる場合でも保証対象外になりますので有料修理となります。

■保証期間が過ぎたときは

ご要望により有料修理いたします。

■部品の保有期間は

FOMA端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後6年間を基本としております。ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、あらかじめご了承ください。また、保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能なことがありますので、取扱説明書裏面・故障お問い合わせ先へお問い合わせください。

◎**お願い**

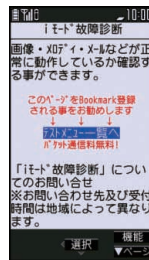
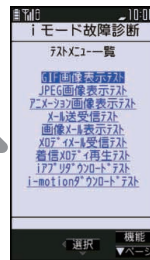
・FOMA端末および付属品の改造はおやめください。
　・火災・けが・故障の原因となります。
　・改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいたうえでお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。
　以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
　　・液晶部やボタン部にシールなどを貼る
　　・接着剤などによりFOMA端末に装飾を施す
　　・外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど
　・改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。

・FOMA端末に貼付されている銘版シールは、はがさないでください。
銘版シールには、技術基準を満たす証明書の役割があり、銘版シールが故意にはがされたり、貼り替えられた場合など、銘版シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意願います。
・各種機能の設定や積算通話時間などの情報は、FOMA端末の故障・修理やその他お取り扱いによって、クリア(リセット)される場合があります。お手数をおかけしますが、この場合は再度設定を行ってくださるようお願いいたします。
・FOMA端末の下記の箇所に磁気を発生する部品を使用しています。キャッシュカードなど磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
使用箇所:スピーカー、受話口部
・FOMA端末が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って電池パックを外し、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、FOMA端末の状態によって修理できないことがあります。

◎メモリダイヤル(電話帳機能)およびダウンロード情報などについて

・お客様ご自身でFOMA端末などに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いいたします。情報内容の変化、消失に関し、当社は何らの義務を負わないものとし、一切の責任を負いかねます。
・FOMA端末を機種変更や故障修理をする際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが変化・消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。また、当社の都合によりお客様のFOMA端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合があります。本FOMA端末はFOMA端末にダウンロードされた画像・着信メロディを含むデータおよびお客様が作成されたデータを故障修理時に限り移し替えを行います。(一部移し替えできないデータもあります。また、故障の程度によっては移し替えできない場合があります。)
※FOMA端末に保存されたデータの容量により、移し替えに時間がかかる場合もしくは移し替えができない場合がございます。

ｉモード故障診断サイトについて

ご利用中のFOMA端末において、メール送受信や画像・メロディのダウンロードなどが正常に動作しているかを、お客様ご自身でご確認いただけます。

TOP画面

テストメニュー一覧画面

・「ｉモード故障診断サイト」への接続方法
ｉモードサイト:
ｉMenu→お知らせ→サービス・機能→ｉモード→ｉモード故障診断

サイト接続用QRコード

・ｉモード故障診断時のパケット通信料は無料となります。(海外からのアクセスの場合は有料になります)
・FOMA端末の機種によりテスト項目は異なります。また、テスト項目は変更になることがあります。
・各テスト項目で動作をご確認する際は、サイト内の注意事項をよくお読みになり、テストを行ってください。
・ｉモード故障診断サイトへの接続およびメール送信テストを行う際に、お客様のFOMA端末固有の情報(機種名やメールアドレスなど)が自動的にサーバ(ｉモード故障診断サーバ)に送信されます。当社は送信された情報をｉモード故障診断以外の目的には利用いたしません。
・ご確認の結果、故障と思われる場合は、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」までお問い合わせください。

ソフトウェア更新を行う

ソフトウェアの一部に更新が必要な場合に、パケット通信を使って更新する機能です。
※ソフトウェア更新のパケット通信料は無料です。更新が必要な場合は、ドコモのホームページおよびｉMenuの「お知らせ」にてご案内いたします。ネットワークに接続して確認もできます。「自動更新」、「即時更新」、「予約更新」の3つの方法で更新できます。

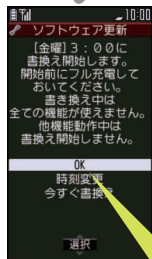
- ソフトウェア更新中は電池パックを外さないでください。更新に失敗することがあります。
- ソフトウェア更新は、FOMA端末に登録された電話帳、カメラ画像、ダウンロードデータなどのデータを残したまま行うことができますが、お客様のFOMA端末の状態（故障・破損・水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合がございますので、あらかじめご了承願います。必要なデータはバックアップを取っていただくことをおすすめします。ただし、ダウンロードデータなどバックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承願います。

■ご利用にあたって

- ソフトウェア更新を行う際は、電池をフル充電しておいてください。
- ソフトウェア更新（ダウンロード、書き換え）には時間がかかることがあります。
- ソフトウェア更新中は、電話の発信、着信、各種通信機能および、その他の機能を利用できません。（ダウンロード中は音声着信・着信転送・伝言メモ操作が可能です。）
- ソフトウェア更新は、電波が強く、アンテナマークが3本表示されている状態で、移動せずに実行することをおすすめします。ソフトウェアダウンロード中に電波状態が悪くなったり、ダウンロードが中止された場合は、再度電波状態の良い場所でソフトウェア更新を行ってください。
- ソフトウェア更新の際、お客様のFOMA端末固有の情報（機種や製造番号など）が、自動的にサーバ（当社が管理するソフトウェア更新用サーバ）に送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェア更新以外の目的には利用いたしません。
- ソフトウェア更新に失敗した場合、「書換え失敗しました」と表示され、一切の操作ができなくなります。その場合には、大変お手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までお越しいただきますようお願いいたします。
- 海外ではソフトウェア更新をご利用できません。

アイコンからソフトウェアを更新する

書き換え予告アイコン

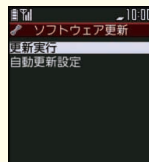
待受画面で書き換え予告アイコンを選択

「OK」を選択すると、待受画面に戻り、設定時刻に書き換えを開始します。

「時刻変更」を選択した場合は、曜日、時刻を選択できます。
「今すぐ書換え」を選択した場合は、すぐに更新を行います。
・書き換えが終了すると、自動的に再起動し、更新完了の確認画面が表示されます。

メニューからソフトウェア更新をする

待受画面

設定／サービス
▼
その他
▼
ソフトウェア更新

■ 端末暗証番号を入力

自動更新：新しいソフトウェアを自動でダウンロードし、あらかじめ「自動更新設定」にて設定した時間に書き換えを行います。
予約更新：「更新が必要です」と表示された場合、「予約」を選択し、日時を予約してソフトウェアを更新します。

障害を引き起こすデータからFOMA端末を守る

スキャン機能について

FOMA端末に取り込んだデータやプログラムについて、データを検知して、障害を引き起こす可能性を含むデータの削除やアプリケーションの起動を中止します。

- ・スキャン機能は、ホームページの閲覧やメール受信などの際に携帯電話に何らかの障害を引き起こすデータの侵入から一定の防衛手段を提供する機能です。各障害に対応したパターンデータが携帯電話にダウンロードされていない場合、または各障害に対応したパターンデータが存在しない場合、本機能にて障害などの発生を防げませんのであらかじめご了承ください。
- ・パターンデータは携帯電話の機種ごとにデータの内容が異なります。よって弊社の都合により端末発売開始後3年を経過した機種向けパターンデータの配信は、停止することがありますのであらかじめご了承ください。

まず始めに、パターンデータの更新を行い、パターンデータを最新にしてください。

■パターンデータを最新にするには

待受画面▶MENU▶設定／サービス▶ロック／セキュリティ ▶スキャン機能▶パターンデータ更新▶YES▶YES▶OK

スキャン結果の表示について

■スキャンされた問題要素の表示について

以下の問題を検出しました
他XXXX件
問題要素名1
問題要素名2
問題要素名3
問題要素名4
問題要素名5

障害を引き起こす可能性を含むデータがあった場合は警告画面が表示されます。警告画面で「詳細」を選択すると問題要素の名前が表示されます。

- ・問題要素が6個以上検出された場合は、6個目以降の問題要素名は省略されます。
- ・検出した問題要素によっては、「詳細」が表示されない場合があります。

警告レベル0	警告レベル1	警告レベル2	警告レベル3	警告レベル4
正常に動作できない場合があります OK 詳細	正常に動作できない場合があります 動作を中止しますか？ YES NO 詳細	正常に動作できない場合があるため終了します OK 詳細	正常に動作できない場合があります データを削除しますか？ YES NO 詳細	正常に動作できないためデータを削除します OK 詳細
OK…動作を継続します。	YES…動作を中止し、終了します。 NO…動作を継続します。	OK…動作を中止し、終了します。	YES…データを削除し、終了します。 NO…動作を中止し、終了します。	OK…データを削除し、終了します。

・ｉモードメールやSMSを表示する際の警告画面は、左記の画面と異なる場合があります。

付録

オプション・関連機器のご紹介

FOMA端末にさまざまな別売りのオプション機器を組み合わせることで、パーソナルからビジネスまでさらに幅広い用途に対応できます。なお、地域によってはお取り扱いしていない商品もあります。詳しくは、ドコモショップなど窓口へお問い合わせください。また、オプションの詳細については各機器の取扱説明書などをご覧ください。

・電池パック P17
・リアカバー P32　P-05A リアカバー P33
・FOMA ACアダプタ 01/02※1
・FOMA海外兼用ACアダプタ 01※1
・FOMA DCアダプタ 01/02
・FOMA 補助充電アダプタ 01
・FOMA乾電池アダプタ 01
・卓上ホルダ P31
・FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02※2
・FOMA USB接続ケーブル※2
・FOMA室内用補助アンテナ※3
・FOMA室内用補助アンテナ（スタンドタイプ）※3
・キャリングケースS 01
・車内ホルダ 01
・イヤホンマイク 01
・ステレオイヤホンマイク 01
・スイッチ付イヤホンマイク P001/P002※4
・平型スイッチ付イヤホンマイク P01/P02※5
・平型ステレオイヤホンセット P01※5
・イヤホンジャック変換アダプタ P001※5
・外部接続端子用イヤホン変換アダプタ 01
・イヤホン変換アダプタ 01
・骨伝導レシーバマイク 01※5
・車載ハンズフリーキット 01※6
・FOMA 車載ハンズフリー接続ケーブル 01

※1 ACアダプタでの充電方法についてはP.29参照。
※2 USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。
※3 日本国内で使用してください。
※4 イヤホンジャック変換アダプタ P001と外部接続端子用イヤホン変換アダプタ 01が必要です。
※5 外部接続端子用イヤホン変換アダプタ 01が必要です。
※6 P-04A/P-05Aを利用／充電するためには、FOMA 車載ハンズフリー接続ケーブル 01が必要です。

主な仕様

■本体

品名			P-04A	P-05A
サイズ(閉じたとき)			高さ:約110mm 幅　:約50mm 厚さ:約9.8mm (最厚部:約13.6mm)	
質量(電池パック装着時)			約105g	約103g
連続待受時間	FOMA/3G	3G/GSM切替[3G]	移動時:約290時間	
		3G/GSM切替[自動]	静止時:約450時間 移動時:約280時間	
	GSM	3G/GSM切替[自動]	静止時:約190時間	
連続通話時間	FOMA/3G		音声電話時:約150分 テレビ電話時:約110分	
	GSM		音声電話時:約170分	
ワンセグ視聴時間			約330分 (ECOモード時:約430分)	
充電時間			ACアダプタ:約100分 DCアダプタ:約100分	
液晶部	方式		TFT　262,144色	
	サイズ		約3.0inch	
	画素数		102,480画素 (240ドット×427ドット)	
撮像素子	種類		CMOS	—
	サイズ		1/4.0inch	—
カメラ部	有効画素数		約320万画素	—
	記録画素数(最大時)		約320万画素	—

記録部	静止画記録枚数※1	最大約2400枚 (お買い上げ時) 最大約3500枚 (削除可能プリインストールデータ削除時)	—
	静止画連続撮影	VGA:4枚 QVGA:5～10枚 QCIF:5～20枚 Sub-QCIF:5～20枚	—
音楽再生	連続再生時間※2	SDオーディオ(バックグラウンド再生対応):約4920分※3 着うたフル®(バックグラウンド再生対応):約4350分※3 iモーション(着うた®を含む):約1000分※3 WMAデータ(バックグラウンド再生対応):約3720分 Music&Videoチャネル (バックグラウンド再生対応) 音声:約4350分 動画:約310分	
保存容量	着うた®	約70Mバイト※4	
	着うたフル®		

「着うた」は株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です。

※1:画像サイズ:Sub-QCIF(128×96)、画質:ノーマル、ファイルサイズ:10Kバイト

※2:連続再生時間とは、FOMA端末を閉じた状態で、ステレオイヤホンマイク 01(別売)を使用して再生できる時間の目安です。

※3:ファイル形式:AAC形式

※4:静止画、iモーション、メロディ、PDFデータ、Music&Videoチャネル、きせかえツール、マチキャラ、トルカ、iアプリと共有

■電池パック

品名	電池パックP17
使用電池	Li-ion(リチウムイオン)電池
電圧	3.7V
容量	600mAh

■撮影の仕様 P-05A ご利用できません。

<静止画>

ファイル形式(拡張子)	JPEG(jpg)
保存可能な枚数	最大約3500枚
microSDカード(64Mバイト)に保存可能な枚数	最大約3870枚

<動画>

ファイル形式(拡張子)	MP4、ASF(3gp、asf)
保存可能な録画時間	最大約497秒※1
microSDカード(64Mバイト)に保存可能な時間	最大約137分※2

<ズーム(デジタル)>

フォト	ズーム段階	31段階
	最大倍率	約8.0倍
ムービー	ズーム段階	31段階
	最大倍率	約6.0倍

※1 画像サイズ:Sub-QCIF(128×96)/動画容量設定:メール制限(大)/画質設定:ノーマル/撮影種別設定:通常の条件で本体に保存できる、1回あたりの最大録画時間

※2 画像サイズ:Sub-QCIF(128×96)/動画容量設定:長時間/画質設定:ノーマル/撮影種別設定:通常の条件でmicroSDカード(64Mバイト)に保存できる、1回あたりの最大録画時間

■ワンセグの録画時間

microSDHCカード(16Gバイト)に保存可能な最大録画時間(合計)	約5120分

- 最大録画時間は、映像:224kbps、音声:48kbps、データ(字幕含む):52kbpsの場合の目安であり、放送局、番組によって録画時間は異なります。
- SD-VIDEO規格では、連続録画最大ファイルサイズは2Gバイトまでです。

■FOMA端末の保存・登録件数

機能		保存・登録件数
電話帳		1000
スケジュール		2500
メール	受信メール	最大2500※1、※2
	送信メール	最大1000※2
静止画		最大3500※2
動画/iモーション		最大3500※2
Music&Videoチャネル	配信番組	2
	保存番組	最大10※2
きせかえツール		最大3500※2
iアプリ		最大100※2

※1 お買い上げ時に登録されているデータも含めます。

※2 データ量によって実際に保存・登録できる件数が少なくなる場合があります。

■ボイスレコーダーの録音時間

保存可能な録音時間	最大約20分※1
microSDカード(64Mバイト)に保存可能な時間	最大約180分※2

※1 動画容量設定:メール制限(大)/撮影種別設定:音声のみの条件で本体に保存できる、1回あたりの最大録音時間

※2 動画容量設定:長時間/撮影種別設定:音声のみの条件でmicroSDカード(64Mバイト)に保存できる、1回あたりの最大録音時間

携帯電話機の比吸収率などについて

携帯電話機の比吸収率（SAR）

本機種P-04A/P-05Aの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。
この技術基準は、人体頭部のそばで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体側頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）について、これが2W/kg※の許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が示した国際的なガイドラインと同じものとなっています。
すべての機種の携帯電話機は、発売開始前に、電波法に基づき国の技術基準に適合していることの確認を受ける必要があります。本携帯電話機P-04AのSARの値は0.488W/kg、P-05AのSARの値は0.523W/kgです。
この値は、財団法人テレコムエンジニアリングセンターによって取得されたものであり、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。
SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、右記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ：
http://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm
社団法人電波産業会のホームページ：
http://www.arib-emf.org/index.html
ドコモのホームページ：
http://www.nttdocomo.co.jp/product/
パナソニックモバイルコミュニケーションズ株式会社のホームページ：
http://panasonic.jp/mobile/

※ 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。

European RF Exposure Information

The mobile phones P-04A/P-05A comply with the EU requirements for exposure to radio waves.
Your mobile phone is a radio transceiver, designed and manufactured not to exceed the SAR* limits for exposure to radio-frequency (RF) energy, which SAR* value, when tested for compliance against the standard was P-04A 0.561 W/kg, P-05A 0.547 W/kg.**
While there may be differences between the SAR* levels of various phones and at various positions, they all meet* the EU requirements for RF exposure.**

* The exposure standard for mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.

** The SAR limit for mobile phones used by the public is 2.0 watts/kilogram (W/kg) averaged over ten grams of tissue, recommended by The Council of the European Union. The limit incorporates a substantial margin of safety to give additional protection for the public and to account for any variations in measurements.

*** Tests for SAR have been conducted using standard operating positions with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a base station antenna, the lower the power output.

Declaration of Conformity

The products "P-04A/P-05A" are declared to conform with the essential requirements of European Union Directive 1999/5/EC Radio and Telecommunications Terminal Equipment Directive 3.1(a), 3.1(b) and 3.2. The Declarations of Conformity can be found on http://panasonic.net/pmc/support/index.html.

※The European RTTE approval of this product is limited to the use of the P-04A/P-05A handset, Battery Pack and FOMA AC Adapter for Global use (100 to 240 V AC) only. Other accessories are not part of the approval.

FCC Notice

・This device complies with part 15 of the FCC Rules.
Operation is subject to the following two conditions:
(1) This device may not cause harmful interference, and
(2) This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

・Changes or modifications not expressly approved by the manufacturer responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

FCC RF Exposure Information

The mobile phones P-04A/P-05A meet the U.S. government's requirements for exposure to radio waves.
Your wireless phone contains a radio transmitter and receiver. Your phone is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government. These limits are part of comprehensive guidelines and establish permitted levels of RF energy for the general population. The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies.

The exposure standard for wireless mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate (SAR). The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg.* Tests for SAR are conducted using standard operating positions accepted by the FCC with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a wireless base station antenna, the lower the output.
Before a phone model is available for sale to the public, it must be tested and certified to the FCC that it does not exceed the limit established by the U.S. government-adopted requirement for safe exposure. The tests are performed on position and locations (for example, at the ear and worn on the body) as required by FCC for each model. The highest SAR value for the P-04A/P-05A mobile phones as reported to the FCC when tested for use at the ear is
P-04A 0.593 W/kg, P-05A 0.576 W/kg, and when worn on the body, is
P-04A 0.428 W/kg, P-05A 0.353 W/kg. (Body-worn measurements differ among phone models, depending upon available accessories and FCC requirements).
While there may be differences between the SAR levels of various phones and at various positions, they all meet the U.S. government requirement.
The FCC has granted an Equipment Authorization for these mobile phones with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF exposure guidelines. SAR information on these mobile phones is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section at http://www.fcc.gov/oet/ea/ after search on FCC ID UCE208013A.
For body worn operation, these phones have been tested and meet the FCC RF exposure guidelines when used with an accessory designated for this product or when used with an accessory that contains no metal and that positions the handset a minimum of 1.5 cm from the body.

* In the United States, the SAR limit for wireless mobile phones used by the public is 1.6 watts/kg (W/kg) averaged over one gram of tissue. SAR values may vary depending upon national reporting requirements and the network band.

携帯電話機の比吸収率などについて(つづき)

Important Safety Information

AIRCRAFT
Switch off your wireless device when boarding an aircraft or whenever you are instructed to do so by airline staff. If your device offers a ‘flight mode’ or similar feature consult airline staff as to whether it can be used on board.
DRIVING
Full attention should be given to driving at all times and local laws and regulations restricting the use of wireless devices while driving must be observed.
HOSPITALS
Mobile phones should be switched off wherever you are requested to do so in hospitals, clinics or health care facilities. These requests are designed to prevent possible interference with sensitive medical equipment.
PETROL STATIONS
Obey all posted signs with respect to the use of wireless devices or other radio equipment in locations with flammable material and chemicals. Switch off your wireless device whenever you are instructed to do so by authorized staff.
INTERFERENCE
Care must be taken when using the phone in close proximity to personal medical devices, such as pacemakers and hearing aids.
Pacemakers
Pacemaker manufacturers recommend that a minimum separation of 15 cm be maintained between a mobile phone and a pacemaker to avoid potential interference with the pacemaker. To achieve this use the phone on the opposite ear to your pacemaker and do not carry it in a breast pocket.
Hearing Aids
Some digital wireless phones may interfere with some hearing aids. In the event of such interference, you may want to consult your hearing aid manufacturer to discuss alternatives.
For other Medical Devices:
Please consult your physician and the device manufacturer to determine if operation of your phone may interfere with the operation of your medical device.

輸出管理規制について

本製品および付属品は、日本輸出管理規制(「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令)の適用を受ける場合があります。本製品および付属品を輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省へお問い合わせください。

知的財産権

著作権・肖像権

お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。
実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがありますのでお控えください。

商標

- 「FOMA」「着もじ」「ｉモード」「ｉアプリ」「ｉモーション」「デコメール®」「デコメ®」「キャラ電」「トルカ」「きせかえツール」「電話帳お預かりサービス」「おまかせロック」「WORLD CALL」「デュアルネットワーク」「FirstPass」「ｉチャネル」「おサイフケータイ」「DCMX」「iD」「セキュリティスキャン」「WORLD WING」「公共モード」「メッセージF」「パケ･ホーダイ」「マルチナンバー」「iCお引っこしサービス」「マチキャラ」「OFFICEED」「2in1」「Music&Videoチャネル」「メロディコール」「エリアメール」「デコメアニメ®」「ｉコンシェル」「ｉスケジュール」「docomo SMART series」および「FOMA」ロゴ「i-mode」ロゴ「i-αppli」ロゴ「iC」ロゴ「Music&Videoチャネル」ロゴはNTTドコモの商標または登録商標です。
- 「キャッチホン」は日本電信電話株式会社の登録商標です。
- フリーダイヤルサービス名称とフリーダイヤルロゴマークはNTTコミュニケーションズ株式会社の登録商標です。
- McAfee®、マカフィー®は米国法人McAfee, Inc.またはその関係会社の米国またはその他の国における登録商標です。
- Gガイド、G-GUIDE、Gガイドモバイル、G-GUIDE MOBILE、およびGガイド関連ロゴは、米Gemstar-TV Guide International, Inc.およびその関係会社の日本国内における登録商標です。
- ナビダイヤルサービス名称およびナビダイヤルロゴマークはNTTコミュニケーションズ株式会社の商標です。
- Microsoft®、Windows®、Windows Vista®は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Windows Media®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Powered by JBlend™ Copyright 2002-2008 Aplix Corporation. All rights reserved.
  JBlendおよびJBlendに関する商標は、日本およびその他の国における株式会社アプリックスの商標または登録商標です。

- FeliCaロゴはフェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- microSDHCロゴは商標です。

- 「マルチタスク／Multitask」は日本電気株式会社の登録商標です。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- 使いかたナビ®は株式会社カナックの登録商標です。
- 「ワンプッシュオープン™」はパナソニック株式会社の商標です。
- Javaおよびすべての Java関連の商標およびロゴは、米国およびその他の国における米国Sun Microsystems, Inc.の商標または登録商標です。
- その他本文中に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

その他

- 本製品は、株式会社ACCESSのNetFront Browser、NetFront Sync Clientを搭載しています。
  ACCESS、NetFrontは、日本国、米国およびその他の国における株式会社ACCESSの商標または登録商標です。
  Copyright © 2008 ACCESS CO., LTD. All rights reserved.
- 本製品の一部分にIndependent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- IrFrontは、日本国およびその他の国における株式会社ACCESSの商標または登録商標です。
  The IrDA Feature Trademark is owned by the Infrared Data Association and used under license therefrom.

・本製品はAdobe Systems IncorporatedのAdobe® Flash® Lite™およびAdobe Reader® LE テクノロジーを搭載しています。

Adobe、Adobe Reader、Flash、およびFlash LiteはAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。
・FeliCa は、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。
・FeliCa は、ソニー株式会社の登録商標です。
・下記一件または複数の米国特許またはそれに対応する他国の特許権に基づき、QUALCOMM社よりライセンスされています。
Licensed by QUALCOMM Incorporated under one or more of the following United States Patents and/or their counterparts in other nations;
4,901,307 5,504,773 5,109,390 5,535,239 5,267,262 5,600,754
5,416,797 5,490,165 5,101,501 5,511,073 5,267,261 5,568,483
5,414,796 5,659,569 5,056,109 5,506,865 5,228,054 5,544,196
5,337,338 5,657,420 5,710,784 5,778,338
・本製品にはGNU General Public License（GPL）、GNU Lesser General Public License（LGPL）その他に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。当該ソフトウェアに関する詳細は、本製品付属CD-ROM内の「GPL・LGPL等について」フォルダ内の「readme.txt」をご参照ください。
・日本語変換はオムロンソフトウェア（株）のAdvanced Wnn V2を使用しています。

・MPEG Audio Layer-3 音声圧縮技術は、Fraunhofer IISおよびThomsonからライセンスを受けています。
・本製品は、MPEG-4 Patent Portfolio License、AVC Patent Portfolio License及びVC-1 Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為に係る個人使用を除いてはライセンスされておりません。
  ・MPEG-4 Visual、AVC、VC-1の規格に準拠する動画（以下、MPEG-4/AVC/VC-1ビデオ）を記録する場合
  ・個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4/AVC/VC-1ビデオを再生する場合
  ・MPEG-LAよりライセンスをうけた提供者から入手されたMPEG-4/AVC/VC-1ビデオを再生する場合
  詳細については米国法人MPEG LA, L.L.C. （http://www.mpegla.com）をご参照下さい。
・本製品は、InterDigital Technology社からのライセンスに基づき生産・販売されています。
・本書では各OS（日本語版）を次のように略して表記しています。
Windows Vistaは、Windows Vista® （Home Basic、Home Premium、Business、Enterprise、Ultimate）の略です。
Windows XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating system、またはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略です。
Windows 2000は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating systemの略です。
・本製品に搭載しているWindows Media Technologyはマイクロソフト社および第三者の知的財産権により保護されています。本製品以外にマイクロソフト社およびその関連会社の許可なくその技術を使用することおよび頒布することは禁止されています。
・本製品は、マイクロソフト社の知的財産権により保護されています。マイクロソフトもしくはマイクロソフトによる承認を受けた子会社からのライセンスを得ずに、本製品以外で技術の使用もしくは頒布を行うことは禁止されています。
・コンテンツプロバイダーは、本製品に含まれるWindows Mediaデジタル著作権管理技術（WM-DRM）によってコンテンツの内容を保護し（以下、"保護コンテンツ"といいます）、そのコンテンツの著作権を含む知的財産権が不正に利用されないようにしています。本製品は、保護コンテンツの再生にWM-DRMソフトウェアを使用しています。本製品のWM-DRMソフトウェアの安全性が損なわれた場合、保護コンテンツの所有者はWM-DRMソフトウェアによる本製品の保護コンテンツの複製、表示、再生を可能にする新ライセンス取得権の無効化をマイクロソフトに要求できます。無効化は、WM-DRMソフトウェアによる保護コンテンツ以外のコンテンツの再生能力に影響するものではありません。インターネットもしくはパソコンから保護コンテンツのライセンスをダウンロードする際に、無効化されたWM-DRMソフトウェアリストが製品に送付されます。Microsoftはライセンスとともに、保護コンテンツ所有者に代わり無効化リストを製品にダウンロードする場合があります。

機能一覧表

の項目はP.92「設定リセット」を行うと、お買い上げ時の設定に戻ります。

メール		
	受信BOX	
	送信BOX	
	保存BOX	
	新規メール作成	
	新規デコメアニメ作成	
	テンプレート	デコメール
		デコメアニメ
	WEBメール	
	iモード問い合わせ	
	SMS作成	
	SMS問い合わせ	
	チャットメール	
	メール選択受信	
	メール設定	スクロール設定
		文字サイズ設定
		メール一覧表示設定
		本文表示設定
		メールセキュリティ設定
		シークレットメール表示設定
		カラーラベル自動設定
		返信時自動学習設定
		冒頭文／署名設定
		iモード問い合わせ設定
		メッセージ自動表示設定
		受信表示設定
		メール選択受信設定
		添付ファイル優先受信
		開封時メロディ再生設定

メール		
	メール設定	Feel＊Mail設定
		チャット設定
		メール設定確認
	SMS設定	SMS送達通知設定
		SMS有効期間設定
		SMS本文入力設定
		SMS center設定
	エリアメール設定	受信設定
		受信登録
		ブザー鳴動時間

iモード		
	i Menu	
	Bookmark	
	画面メモ	
	ラストURL	
	Internet	
	メッセージR/F	
	iチャネル	チャネル一覧
		テロップ表示設定
		テロップ文字サイズ設定
		テロップ色設定
		テロップ速度設定
		iチャネル初期化
	iモード問い合わせ	
	証明書操作	ユーザ証明書操作
		証明書
		センター接続設定

iモード	iモード設定	スクロール設定
		文字サイズ設定
		画像表示設定
		接続待ち時間設定
		接続先選択
		自動再生設定
		端末情報データ利用設定
		効果音設定
		インフォメーション表示設定
		ドキュメント表示設定
		ラストURL初期化
		iモード設定確認
	フルブラウザ	ホーム
		Bookmark
		ラストURL
		Internet
		フルブラウザ設定

iアプリ	ソフト一覧(本体)	
	iアプリ(microSD)	ソフト一覧
		iアプリデータ
	iアプリ実行情報	待受画面終了情報
		セキュリティエラー履歴
		自動起動情報
		トレース情報
	iアプリ設定	自動起動設定
		ソフト情報表示設定
		iアプリ音優先設定
		α照明設定

iアプリ	iアプリ設定	α省電力設定
		αバイブレータ
		iアプリ設定確認
設定/サービス	サウンド	着信音選択
		着信音量
		ボタン確認音
		メロディ効果
		イヤホン切替設定
		メール/メッセージ鳴動
	ディスプレイ	画面表示設定
		照明設定
		ビューブラインド
		カラーテーマ設定
		マチキャラ
		メニューアイコン設定
		プライベートメニュー設定
		デスクトップ
		フォント設定
		文字サイズ設定
		バイリンガル
		オープン新着表示
		画質モード設定
		液晶AI
		表示アイコン説明
	イルミネーション	イルミネーション一括設定
		着信イルミネーション
		通話中イルミネーション
		不在未読イルミネーション
		Music&Video Chイルミネーション

機能一覧表(つづき)

設定/サービス	イルミネーション	クローズイルミネーション
		時報イルミネーション
		ミュージックイルミネーション
		ICカードイルミネーション
		サイドボタンイルミネーション
		設定確認
	きせかえ	
	ロック/セキュリティ	セルフモード
		オールロック
		パーソナルデータロック
		ICカードロック
		シークレットモード
		シークレット専用モード
		ダイヤル発信制限
		登録外着信拒否
		非通知着信設定
		端末暗証番号変更
		FOMAカード(UIM)設定
		スキャン機能
		ロック設定
	時間/料金	通話時間/料金
		積算リセット
		通話料金通知
		上限値アイコン消去
	時計	時計設定
		ワールドウォッチ
		サマータイム
		自動電源ON / OFF設定
		アラーム通知設定

設定/サービス	着信	バイブレータ
		マナーモード選択
		着信アンサー設定
		オープン設定
		履歴表示設定
		電話帳画像着信設定
		発着信番号表示設定
		呼出時間表示設定
		確認機能設定
		パケット通信中着信設定
		自動発着信設定
		メロディコール設定
	通話	受話音量
		クローズ動作設定
		保留音設定
		しっかりトーク
		ノイズキャンセラ
		通話品質アラーム
		再接続機能
	テレビ電話	受信画質設定
		画像選択
		テレビ電話ハンズフリー設定
		音声自動再発信
		テレビ電話切替機能通知
		テレビ電話着信拒否
	ネットワーク設定	プレフィックス設定
		国際ローミング設定
		国際ダイヤルアシスト設定
		在圏状態表示

設定／サービス	NWサービス	発信者番号通知
		留守番電話
		キャッチホン
		転送でんわ
		迷惑電話ストップ
		番号通知お願いサービス
		2in1設定
		マルチナンバー
		通話中の着信動作選択
		通話中着信設定
		遠隔操作設定
		デュアルネットワーク
		英語ガイダンス
		ローミングガイダンス設定
		追加サービス
		サービスダイヤル
		OFFICEED
		着もじ
	その他	サイドボタン操作
		マルチボタン長押し登録
		文字入力方式
		電池
		ポーズダイヤル

設定／サービス	その他	サブアドレス設定
		イヤホンマイク設定
		ボイス設定
		USBモード設定
		設定リセット
		端末初期化
		ソフトウェア更新

データBOX	マイピクチャ	
	ミュージック	
	Music&Videoチャネル	
	ｉモーション	
	メロディ	
	マイドキュメント	
	きせかえツール	
	マチキャラ	
	キャラ電	
	PC動画	
	ワンセグ	イメージ
		ビデオ
		しおり
	ドキュメントビューア	
	SDその他ファイル	

機能一覧表(つづき)

LifeKit		
	バーコードリーダー P-05A 利用不可	コード読み撮り
		保存データ一覧
	赤外線受信	受信
		全件受信
	microSD	microSDデータ参照
		バックアップ/復元
	カメラ P-05A 利用不可	フォトモード
		ムービーモード
		フォト再生
		ムービー再生
	伝言メモ/音声メモ	メモの再生/消去
		テレビ電話メモの再生/消去
		伝言メモ設定
		音声メモ録音
		おしゃべり機能
	ボイスレコーダー	
	電話帳お預かりサービス	お預かりセンターに接続
		通信履歴表示
		電話帳内画像送信設定

iコンシェル

電話帳		
	電話帳登録	本体
		FOMAカード(UIM)
	電話帳検索	全検索
		フリガナ検索
		グループ検索
		メモリ番号検索
		名前検索
		電話番号検索
		アドレス検索
		ツータッチダイヤル検索
	FOMAカード(UIM)操作	コピー
		削除
	発着信履歴	発信履歴
		着信履歴
	自局番号表示	
	グループ設定	
	電話帳指定設定	指定発信制限
		指定着信拒否
		指定着信許可
		指定転送でんわ
		指定留守番電話
	電話帳設定	文字サイズ設定
		ボイスダイヤル設定
		メールグループ
		チャットグループ
		電話帳画像転送
	電話帳登録件数	

ステーショナリー		
	アラーム	
	スケジュール	
	ToDo	
	テキストメモ	
	電卓	
	使いかたナビ	
	定型文/辞書	定型文
		ユーザ辞書
		ダウンロード辞書
		学習履歴作成

MUSIC	ミュージックプレーヤー
	Music&Videoチャネル

ワンセグ	ワンセグ視聴	
	番組表	
	視聴予約リスト	
	録画予約リスト	
	予約録画結果	
	テレビリンク	
	チャンネルリスト選択	
	チャンネル設定	地域選択
		自動チャンネル設定
	ユーザ設定	表示設定
		映像設定
		照明設定
		音声設定
		録画設定
		データ放送設定
		ECOモード
		チャンネル設定初期化
		放送用保存領域消去
		TV設定リセット
		TV設定確認

おサイフケータイ	ICカード一覧	
	DCMX	
	トルカ	
	ICカードロック設定	ICカードロック
		電源OFF時ICロック設定
	設定	トルカ取得設定
		トルカ自動読取設定
		トルカ受信表示設定
		データ放送トルカ設定
		トルカ重複チェック設定
	ICオーナー確認	
	ICオーナー変更	
	ｉモードで探す	

その他	リダイヤル
	公共モード(ドライブモード)
	マナーモード
	テレビ電話
	文字入力

P-04A/P-05A Instruction Manual

The latest information of this manual can be downloaded from the DOCOMO website.
Further, the detailed English manual can be downloaded from the following URL: http://www.nttdocomo.co.jp/english/support/manual/index.html

Before Using Handset

Install UIM and Battery

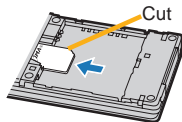
■ Remove the back cover

While pressing the surrounding part of "▭", slide the back cover (2 mm or more) in the direction of the arrow to unlock it.

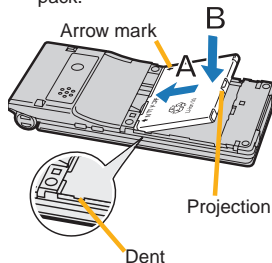
■ Insert the UIM

With the golden IC surface downward, push the UIM slowly to the end while pressing the surface of it.

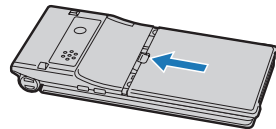
•When you remove the UIM, pull it out slowly while sliding.

•Take care not to damage the IC portion.

■Attach the battery pack

With the arrow mark facing up, securely attach the battery pack through the dents of the FOMA terminal, and then push the battery pack to the direction B while pressing it to the direction A.

•When you remove the battery pack, lift it up with the projection of the battery pack.

■Attach the back cover

Slide the back cover in the direction of the arrow and attach it in place.

•Make sure there is no gap between the back cover and the FOMA terminal, and slide the back cover to close it completely. If it is not completely closed, you may hurt your hand or fingers because it is made of metal.

About UIM

The UIM is an IC card that holds your information such as phone numbers.

You cannot use the FOMA terminal for communications such as voice/videophone calls, i-mode, or sending/receiving mail, unless the UIM is inserted.

Charge Battery

■ **Plug the connector of AC Adapter (option) horizontally with its engraved side facing down into the connector terminal of the Desktop Holder (option).**

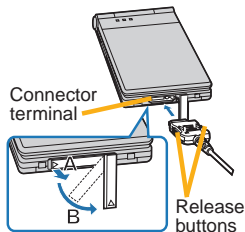
■ **Pull out the AC Adapter's plug, and plug it into a household power socket of 100 V AC.**

■ **Set the FOMA terminal onto the desktop holder securely.**

- Be sure to set the closed FOMA terminal onto the desktop holder.
- Be careful that a commercial strap is not caught between the FOMA terminal and desktop holder.

■ **When charging is completed, hold the desktop holder with fingers and lift up the head of FOMA terminal to remove.**

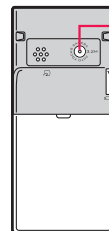
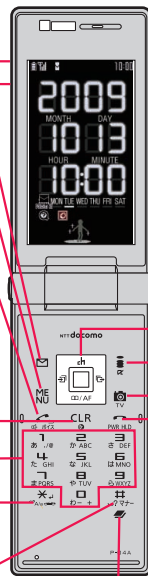
- For detaching, pull out the connector horizontally while pressing the release buttons. Malfunction could result if you try to pull it forcibly.
- When charging starts, the call/charging indicator lights in red. When charging is completed, it goes out.

When charging only with the AC adapter

Into the connector terminal, insert the connector with the engraved surface facing up until it clicks. When pulling out, pull the connector straight while pressing the release buttons.

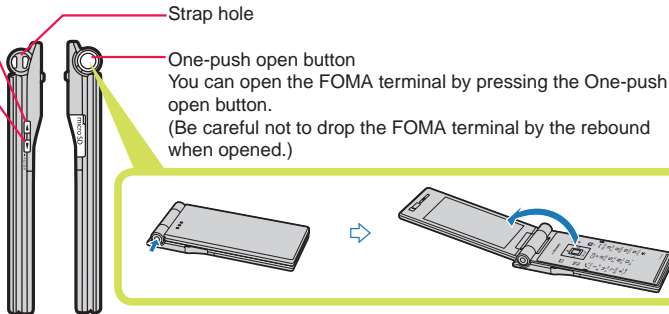
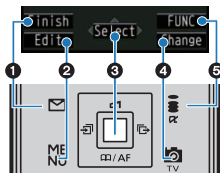
- When charging the battery, place the cover of the connector terminal as illustrated.
  Pull out the left side ("▷" mark side) of the cover of the connector terminal to the direction A, and turn it to the direction B.

Display Indicators & Key Assignments

Icon	Description
	Battery Level
	Radio waves reception level
	Out of FOMA service area
	New i-mode mail or SMS messages exist.

Key	Function
	Opens Mail menu.
MENU	Opens Main menu. Select a menu item to proceed to each function. Press a Menu number to directly access a function on the Function list. Ex.) Press 3 0 to access Keypad Sound.
	Make/Answer calls.
CLR	Returns to previous state. Deletes characters/numbers.
0 ～ 9	Enter numbers/characters. From standby, press and hold 0 to enter "+". 4 to activate/release Secret Mode. 5 to switch Backlight on/off. 6 to activate/release Personal Data Lock. 8 to switch View Blind on/off.
*	Press and hold to activate/release Public (Drive) mode.
#	Press and hold to activate/release Manner mode.
	Shows the list of multiply-activated functions. Press and hold to show the function set by "long press set.".

Camera
P-05A The camera is not mounted.

Key	Function
	Moves the cursor up and down. Adjusts ring volume while the phone is ringing. Adjusts earpiece volume during a call.
	Moves the cursor left and right.
	Shows the Received Call list.
	Shows the Redial list.
	Shows the Search Phonebook display. Press and hold to show the Phonebook registration display.
	Opens i-mode menu. Press and hold to open Software list.
TV	Activates Camera. Press and hold to activate 1Seg. P-05A Activates Voice Recorder. Press and hold to activate 1Seg.
	Ends a call/each function. Press and hold to turn on/off the power.

[▲]	Increases the earpiece volume or ring volume.
[▼]	Decrease the earpiece volume or ring volume.

Press the corresponding key to operate the function indicated on the display.

❶	Indicates the operation you can perform with the [✉] key.	Finish ✉
❷	Indicates the operation you can perform with the [MENU] key.	Edit Store
❸	Indicates the operation you can perform with the [●] key.	Select Set
	Indicates the direction in which you can scroll and select items with the [⊙] key.	▲ ◀ ▶ ▼
❹	Indicates the operation you can perform with the [📷TV] key. P-05A Indicates the operation you can perform with the [TV] key.	Change Detail
❺	Indicates the operation you can perform with the [i α] key.	FUNC Set

＊In this manual

[●]: Press center of the key.

[⊙]: Press [⊙] (up), [⊙] (down), [⊙] (left), or [⊙] (right).

English

＊Operate from standby. Press [end key] to return to standby after each operation.

Basic Operations

Power ON/OFF

■Power On

Press and hold [end key] for at least one second.

■Power On

Press and hold [end key] for at least two seconds.

Initial Settings

After turning on the power for the first time, follow the on-screen instructions to set date/time, terminal security code, keypad sound on/off, and font size.

Turn on the power ▶ ***YES*** ▶ Select ***Auto time adjust ON*** or ***Auto time adjust OFF*** to set the date/time ▶ Enter "0000" ▶ Enter any 4 digits to set your new security code ▶ ***YES*** ▶ Select ***ON*** or ***OFF*** to set Keypad Sound ▶ Select a font size.

Switch to English Display

Press [MENU][1][5] ▶ ***English*** (英語)

Check My Phone Number

Press [MENU][0].

Set Ring Tones

[MENU][1][3] ▶ Select an item ▶ ***Select ring tone*** ▶ Select an item ▶ Select a folder ▶ Select a ring tone.

Calls

Answer Calls

Press [start key].

End Calls

Press [end key].

Make Voice Calls

Enter a phone number with area code ▶ [start key]

Make Videophone Calls

Enter a phone number with area code ▶ [mail key]

Redial

[left key] ▶ Select an item ▶ [start key]

Make Calls to Received Calls

[right key] ▶ Select an item ▶ [start key]

Call Abroad from Japan

[0][1][0] ▶ Country/area code ▶ Area code (city code) ▶ Destination phone number ▶ [start key]

＊You can make international calls also by the following ways:

•[0][0][9][1][3][0] ▶ [0][1][0] ▶ Country/area code ▶ Area code (city code) ▶ Destination phone number ▶ [start key]

•Press and hold [0] to enter "+" ▶ Country/area code ▶ Area code (city code) ▶ Destination phone number ▶ [start key] ▶ ***Dial***

＊Dial the other party's phone number excluding "0" at the beginning of the area code (city code). (Except for in some countries and regions.)

Phonebook

Store in Phonebook (Phone)

Press and hold [down key] ▶ ***Phone*** ▶ Enter a name ▶ Select a necessary item and enter contents:

[R] ▶ Edit reading if necessary.

[GR] ▶ Select a group.

[phone icon] ▶ Enter a phone number ▶ Select an icon.

[mail icon] ▶ Enter a mail address ▶ Select an icon.

[address icon] ▶ Enter a zip code ▶ Enter a postal address.

[birthday icon] ▶ Enter a birthday.

[memo icon] ▶ Enter a memo.

[image icon] ▶ Select an item.

Select image: Select a still image from Data Box.

Shoot image: Activate Camera to shoot an image.

P-05A Not available

[NO] ▶ Enter a three-digit memory number.

▶ [mail key]

Retrieve from All Phonebook Entries

[down key] ▶ ***All?***※ ▶ Use [up/down key] to select a Phonebook entry.

※From the second time, the search display you used last time appears. To select another search method, press [CLR] to show the Search Phonebook display.

English

Character Entry

Switch Input Mode

Input mode
■Input Mode
From the message entry display, you can press ✉ to switch input modes:
abc: Alphabet input mode
123: Numeral input mode
漢: Kanji/Hiragana input mode
ｶﾅ: Katakana input mode

■<Ex. 1> Enter "DOCOMO" in a text memo.
1. MENU ▶ ***STATIONERY*** ▶ ***Text memo*** ▶ ***<Not recorded>.***
2. Check to see if the input mode is "abc".
3. Press 3 four times ▶ 6 three times ▶ 2 three times ▶ 6 three times ▶ ○ ▶ 6 once ▶ ○ ▶ 6 three times.

■<Ex. 2> Enter "携帯" in a text memo.
1. MENU ▶ ***STATIONERY*** ▶ ***Text memo*** ▶ ***<Not recorded>.***
2. Press ✉ to change to "漢" mode ▶ 2 four times to enter "け" ▶ 1 twice to enter "い" ▶ 4 once to enter "た" ▶ 1 twice to enter "い".
3. Use ○ to move the cursor onto the candidate list.
4. Press ○ to select "携帯", and press ●.

■Deleting Characters
Use ○ to move the cursor ▶ CLR

■Line Feed
Press ✱.

■Switching "Uppercase" and "Lowercase"
Enter an alphabet letter ▶ Press ✱.

■Entering "," and "."
Press # several times in "abc" mode.

■Entering Pictograms
iα ▶ ***Pictograms/symbols*** ▶ ***Pictograms*** ▶ Select a pictogram.

■Entering Symbols
iα ▶ ***Pictograms/symbols*** ▶ ***Symbols*** ▶ Select a symbol.

■Entering a Space
iα ▶ ***Pictograms/symbols*** ▶ ***Space***

✻Operate from standby. Press ⌒ to return to standby after each operation.

Mail

Message composition display

Send i-mode Mail

✉ ▶ ***Compose message*** ▶ Select the address field ▶ ***Enter address***※1 ▶ Enter an address ▶ Select the subject field ▶ Enter a subject ▶ Select the message field ▶ Enter messages ▶ ※2 ▶ From the Message Composition display, ✉ ▶ After sending, ●.

※1 When you enter an address from the Phonebook, select ***Phonebook*** to look up a target entry.
※2 When you attach a file, select the attachment field ▶ select a file type ▶ select a folder ▶ select a file.

Read Received Mail

✉ ▶ ***Inbox*** ▶ ***Inbox*** ▶ Select a message you want to read.

✻✉ appears on the Standby display to tell existence of new mail.

Check New Messages

✉ (for at least one second)

Reply/Forward

■Replying
Call up a mail message to be replied ▶ iα ▶ ***Reply/forward*** ▶ ***Rep. w/ i-mode mail***, ***Rep. w/ Deco-Anime***, or ***Reply with quote*** ▶ Select the message field ▶ Enter messages ▶ From the Message Composition display, ✉ ▶ After sending, ●.

■Forwarding
Call up a mail message to be forwarded ▶ iα ▶ ***Reply/forward*** ▶ ***Forward*** ▶ Select the address field ▶ Enter the forwarding address ▶ From the Message Composition display, ✉ ▶ After sending, ●.

English

＊Operate from standby. Press [end key] to return to standby after each operation.

Camera

The camera function is not available for P-05A.

Shoot Still Images

[camera/TV] ▶ [center] ▶ [center] to save the still image.

Continuous Shooting

[camera/TV] ▶ [camera/TV] ▶ [camera/TV] ▶ [center]
▶ Select a still image and press [camera/TV] ▶ [center]
＊This procedure is for selecting a still image from among continuously shot images and saving it.

Shoot Movies

[camera/TV] ▶ [camera/TV] ▶ [center] ▶ [center] ▶ [center]

Play Back Shot Images/Movies

[MENU] ▶ ***DATA BOX*** ▶ ***My picture***※ ▶ ***Camera***
▶ Select a shot image ▶ [center]
※Select [motion icon] ***motion*** to play back a movie.

1Seg

Channel Setting

■Select Area
[MENU] ▶ ***1SEG*** ▶ ***Channel setting***
▶ ***Select area*** ▶ Select an area
▶ Select a prefecture ▶ ***YES***

Select Channel List

[MENU] ▶ ***1SEG*** ▶ ***Channel list***
▶ Select a channel list.

Activate 1Seg

[camera/TV](for at least one second)

P-05A [TV key] (for at least one second)

Music Playback

Playback by MUSIC Player

[MENU] ▶ ***MUSIC*** ▶ ***MUSIC Player*** ▶ ***All tracks***
▶ Select a music file.

Playback by Music&Video Channel

[MENU] ▶ ***MUSIC*** ▶ ***Music&Video Channel***
▶ Select a program.
or
[MENU] ▶ ***DATA BOX*** ▶ ***Music&Video Channel***
▶ ***Downloaded program*** or ***Saved program***
▶ Select a program.

Network Services

Voice Mail Service

■Activating
[MENU] ▶ ***SET./SERVICE*** ▶ ***NW services***
▶ ***Voice mail*** ▶ ***Activate*** ▶ ***YES*** ▶ ***YES***
▶ Enter a ring time (seconds).

■Deactivating
[MENU] ▶ ***SET./SERVICE*** ▶ ***NW services***
▶ ***Voice mail*** ▶ ***Deactivate*** ▶ ***YES***

■Playing Back Messages
[MENU] ▶ ***SET./SERVICE*** ▶ ***NW services***
▶ ***Voice mail*** ▶ ***Play messages***
▶ ***Play (voice call)*** or ***Play (videophone)***
▶ ***YES***
▶ Operate following the voice guidance.

Call Waiting Service

■Activating
[MENU] ▶ ***SET./SERVICE*** ▶ ***NW services***
▶ ***Call waiting*** ▶ ***Activate*** ▶ ***YES***

■Deactivating
[MENU] ▶ ***SET./SERVICE*** ▶ ***NW services***
▶ ***Call waiting*** ▶ ***Deactivate*** ▶ ***YES***

■Answering an Incoming Call during a Call
A call comes in during a call ▶ [start key]
Each time you press [start key], you can switch the parties you talk with.

Call Forwarding Service

■Activating
[MENU] ▶ ***SET./SERVICE*** ▶ ***NW services***
▶ ***Call forwarding*** ▶ ***Activate***
▶ ***Register fwd number***
▶ Enter the phone number of the forwarding destination ▶ ***Set ring time***
▶ Enter a ring time (seconds) ▶ ***Activate***
▶ ***YES***

■Deactivating
[MENU] ▶ ***SET./SERVICE*** ▶ ***NW services***
▶ ***Call forwarding*** ▶ ***Deactivate*** ▶ ***YES***

English

Function List

	Menu	Function name
MAIL		Inbox
		Outbox
		Draft
		Compose message
		Create new Decome-Anime
		Template
		Web mail
		Check new messages
		Compose SMS
		Check new SMS
		Chat mail
		Receive option
		Mail settings
		SMS settings
		Area mail settings

	Menu	Function name
i-MODE		Menu
		Bookmark
		Screen memo
		Last URL
		Go to location
		Message R/F
		i-Channel
		Check new messages
		Operate certificate
		i-mode settings
		Full Browser
i-APPLI		Software list(phone)
		αppli(microSD)
		αppli info
		αppli settings
SET./ SERVICE	**Sound**	
	13	Select ring tone
	50	Ring volume
	30	Keypad sound

	Menu	Function name
SET./ SERVICE	64	Melody effect
	51	Headset usage setting
	68	Mail/Msg. ring time
	Display	
	56	Display setting
	70	Backlight
		View blind
	86	Color theme setting
		Machi-chara
	57	Menu icon setting
	52	Private menu setting
	63	Desktop icon
	66	Font
		Font size
	15	Select language
		Recv.mail/call at open
		Image quality
		LCD AI
	36	Icons

	Menu	Function name
SET./ SERVICE	**Illumination**	
		All illum. setting
	89	Incoming illumination
		Illumination in talk
		Missed/unread illum.
		Music&Video Ch illum.
		Illum. when closed
		Hourly illumination
		MUSIC illumination
		IC card illumination
		Side key illumination
		Check settings
	Kisekae	
	Lock/Security	
		Self mode
		Lock all
		Personal data lock
		IC card lock

	Menu	Function name
SET./ SERVICE	40	Secret mode
	41	Secret data only
		Keypad dial lock
		Reject unknown
	10	Call setting w/o ID
	29	Change security code
		UIM setting
		Scanning function
		Lock setting
	Call time/cost	
	61	Call data
	60	Reset total cost&dura.
		Notice call cost
		CLR max cost icon
	Clock	
	31	Set time
		World time watch
		Summer time

	Menu	Function name
SET./ SERVICE		Auto power ON/OFF
		Alarm setting
	Incoming call	
	54	Vibrator
	20	Manner mode set
	58	Answer setting
		Setting when opened
		Record display set
		Disp. PH-book image
		Disp. call/receive No.
	90	Ring time
	65	Info notice setting
		V.phone while packet
		Auto call/answer set.
		Melody Call setting
	Talk	
		Volume
	18	Setting when closed
		Set hold tone

Menu	No.	Item
SET./ SERVICE		Shikkari Talk
	76	Noise reduction
	75	Quality alarm
	77	Reconnect signal
		Videophone
		Visual preference
		Select image
		Hands-free w/ V. phone
		Voice call auto redial
		Notify switchable mode
		Reject videophone
		Network setting
		Prefix setting
		Int'l roaming
		Int'l dial assist
		Status in the area
		NW services
	17	Caller ID notification
		Voice mail

Menu	No.	Item
SET./ SERVICE		Call waiting
		Call forwarding
		Nuis. call blocking
		Caller ID request
		2in1 setting
		Multi number
		Arrival call act
		Set in-call arrival act
		Remote control
		Dual network
		English guidance
		Set Roaming guidance
		Additional service
		Service numbers
		OFFICEED
		Chaku-moji
		Other settings
		Side keys guard
		long press set.

Menu	No.	Item
SET./ SERVICE	35	Character input method
		Battery
	84	Pause dial
		Sub-address setting
		Headset mic. setting
		Voice settings
		USB mode setting
	23	Reset settings
		Initialize
		Software update
DATA BOX	46	My picture
		MUSIC
		Music&Video Channel
		motion
	16	Melody
		My documents
		Kisekae Tool
		Machi-chara
		Chara-den

Menu	No.	Item
DATA BOX		PC Movie
		1Seg
		Document viewer
		SD other files
LIFEKIT		Bar code reader※
	79	Receive Ir data
		microSD
		Camera※
	55	Rec. msg/voice memo
		Voice recorder
		Data Security Service
i-CONCIER		
PHONE BOOK		Add to phonebook
		Search phonebook
		UIM operation
	24	Dialed/recv. calls
	0	Own number
		Group setting

Menu	No.	Item
PHONE BOOK		Restrictions
	26	Phonebook settings
		No. of phonebook
STATIONERY	44	Alarm
	45	Schedule
	95	ToDo
	42	Text memo
	85	Calculator
		Guide
	38	Common phrase/dic.
MUSIC		MUSIC Player
		Music&Video Channel
1SEG		Activate 1Seg
		Program guide
		TV timer list
		Timer recording list
		Recording result
		TVlink

Menu	No.	Item
1SEG		Channel list
		Channel setting
		User settings
OSAIFU-KEITAI		IC card content
		DCMX
		ToruCa
		IC card lock set.
		Settings
		Check IC owner
		Change IC owner
		Search by i-mode

※This function is not available for P-05A.

Overseas Use

Make Calls while Abroad

Make a Call to a Phone in the Country You Stay

Enter a destination phone number ▶ [call key]
Press [mail key] to make a videophone call.

■**Making a Call Using Phonebook**
Call up the detailed Phonebook display
▶ [call key] ▶ ***Dial with orig. No.***

Make a Call to Outside the Country You Stay (Including Japan)

■**Making a Call Using the Phonebook**
Call up the detailed Phonebook display
▶ [call key] ▶ ***Dial***
Press [mail key] to make a videophone call.

■**Making a Call Using "+"**
Press and hold [0] to enter "+"
▶ Country code※ ▶ Area code
▶ Destination phone number ▶ [call key]
▶ ***Dial***

※Japan's country code is 81.
Press [mail key] to make a videophone call.
＊Dial the other party's phone number excluding "0" at the beginning of the area code (city code). (Except for in some countries and regions.)

Make a Call to a Person Staying Overseas and Using WORLD WING

When you make a call to another WORLD WING user, make the call as you usually make a call to Japan even if the other party is also in the country you stay.

Receive a Call

Press [call key] when a call comes in.
(For a videophone call, press [call key] as well.)

Set after Returning to Japan

After you return to Japan, the FOMA network is automatically searched and connected.
•When you cannot connect to the FOMA network, set "3G/GSM setting" to "Auto" and set "Network search mode" to "Auto".

[MENU] ▶ ***Set./Service*** ▶ ***Network setting*** ▶ ***Int'l roaming*** ▶ ***Network search mode*** ▶ ***Manual*** ▶ ***DOCOMO***

Inquiries

General inquiries <docomo Information Center>

0120-005-250 (toll free)
＊Service available in English, Portuguese, Chinese, Spanish, and Korean.
＊Available from mobile phones and PHSs.

■**From DOCOMO mobile phones** (In Japanese only)
(No prefix) 151 (toll free)
＊Unavailable from land-line phones, etc.

■**From land-line phones** (In Japanese only)
0120-800-000 (toll free)
＊Available from mobile phones and PHSs.

Repairs

■**From DOCOMO mobile phones** (In Japanese only)
(No prefix) 113 (toll free)
＊Unavailable from land-line phones, etc.

■**From land-line phones** (In Japanese only)
0120-800-000 (toll free)
＊Available from mobile phones and PHSs.
•Please confirm the phone number before you dial.

•For Applications or Repairs and After-Sales Service, please contact the above-mentioned information center or the docomo shop etc. near you on the NTT DOCOMO website or the i-mode site.
NTT DOCOMO website http://www.nttdocomo.co.jp/english/
i-mode site ｉMenu→お客様サポート(user support)
→ドコモショップ(docomo Shop) (in Japanese only)

Loss or theft of FOMA terminal or payment of cumulative cost overseas <docomo Information Center>

(available 24 hours a day)
•From DOCOMO mobile phones

International call access code for the country you stay	-81-3-5366-3114* (toll free)

*You are charged a call fee to Japan when calling from a land-line phone, etc.
＊If you use P-04A/P-05A, you should dial the number +81-3-5366-3114
(to enter "+", press and hold the "0" key for at least one second).

•From land-line phones <Universal number>

International prefix number for the universal number	-800-0120-0151*

*You might be charged a domestic call fee according to the call rate for the country you stay.

Failures encountered overseas <Network Technical Operation Center>

(available 24 hours a day)
•From DOCOMO mobile phones

International call access code for the country you stay	-81-3-6718-1414* (toll free)

*You are charged a call fee to Japan when calling from a land-line phone, etc.
＊If you use P-04A/P-05A, you should dial the number +81-3-6718-1414
(to enter "+", press and hold the "0" key for at least one second).

•From land-line phones <Universal number>

International prefix number for the universal number	-800-5931-8600*

*You might be charged a domestic call fee according to the call rate for the country you stay.
•If you lose your FOMA terminal or have it stolen, immediately take the steps necessary for suspending the use of the FOMA terminal.
•If the FOMA terminal you purchased is damaged, bring your FOMA terminal to a repair counter specified by DOCOMO after returning to Japan.

索引

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

英数字

ご契約内容の確認・変更、各種サービスのお申込、各種資料請求をオンライン上で承っております。

iモードから　i Menu ▶ お客様サポート ▶ お申込・お手続き ▶ 各種お申込・お手続き　パケット通信料無料

パソコンから　My docomo(http://www.mydocomo.com/) ▶ 各種お申込・お手続き

- iモードからご利用になる場合、「ネットワーク暗証番号」が必要となります。
- iモードからご利用いただく場合のパケット通信料は無料です。海外からのアクセスの場合は有料となります。
- パソコンからご利用になる場合、「docomo ID ／パスワード」が必要となります。
- 「ネットワーク暗証番号」および「docomo ID ／パスワード」をお持ちでない方・お忘れの方は取扱説明書裏面の総合お問い合わせ先にご相談ください。
- ご契約内容によってはご利用いただけない場合があります。
- システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

マナーもいっしょに携帯しましょう

■ 航空機内、病院内では、必ずFOMA端末の電源を切ってください。
- 医用電気機器を使用している方がいるのは病棟内だけではありません。ロビーや待合室などでも、必ず電源を切ってください。

■ 植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器に悪影響を与える恐れがあるため、満員電車の中などでは必ず、電源を切ってください。

■ 運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象になります。
- やむを得ず電話を受ける場合には、ハンズフリーで「かけ直す」ことを伝え、安全な場所に停車してから発信してください。

■ 静かにするべき公共の場所(劇場・映画館・美術館など)でFOMA端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

■ レストランやホテルのロビーなどの静かな場所でFOMA端末を使用する場合は、声の大きさなどに気を付けましょう。

■ 街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

公共モード(ドライブモード／電源OFF) (P.44)
伝言メモ機能 (P.42)
バイブレータ (P.36)
マナーモード (P.43)
留守番電話サービス(オプションサービス) (P.46)

この印刷物はリサイクルに配慮して製本されています。不要となった際は、回収、リサイクルに出しましょう。

総合お問い合わせ先
<ドコモ インフォメーションセンター>

■ドコモの携帯電話からの場合
（局番なしの）151（無料）
※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合
0120-800-000
※携帯電話、PHSからもご利用になれます。

故障お問い合わせ先

■ドコモの携帯電話からの場合
（局番なしの）113（無料）
※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合
0120-800-000
※携帯電話、PHSからもご利用になれます。

●ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
●各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモホームページ、i モードサイトにてお近くのドコモショップなどにお問い合わせください。

ドコモホームページ　http://www.nttdocomo.co.jp/

i モードサイト　i Menu ▶ お客様サポート ▶ ドコモショップ

海外での紛失、盗難、精算などについて
<ドコモ インフォメーションセンター>（24時間受付）

ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号 -81-3-5366-3114*（無料）

* 一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。
※P-04A/P-05Aから、ご利用の場合は+81-3-5366-3114でつながります。
（「+」は「0」ボタンを1秒以上押します。）

一般電話などからの場合
<ユニバーサルナンバー>

ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号 -800-0120-0151*

* 滞在国内通話料などがかかる場合があります。

海外での故障に関して
<ネットワークテクニカルオペレーションセンター>（24時間受付）

ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号 -81-3-6718-1414*（無料）

* 一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。
※P-04A/P-05Aから、ご利用の場合は+81-3-6718-1414でつながります。
（「+」は「0」ボタンを1秒以上押します。）

一般電話などからの場合
<ユニバーサルナンバー>

ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号 -800-5931-8600*

* 滞在国内通話料などがかかる場合があります。

●紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。
●お客さまが購入されたFOMA端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口へご持参ください。

マナーもいっしょに携帯しましょう。
○公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

販売元　株式会社NTTドコモ
製造元　パナソニック モバイルコミュニケーションズ株式会社

環境保全のため、不要になった電池は
NTTドコモまたは代理店、リサイクル
協力店等にお持ちください。

Li-ion 00

この取扱説明書は大豆油インキ
で印刷しています。

'09.4（第3.1版）

3TR100138CAA
F0109F2049-Ⓕ

P-04A/P-05A

パソコン接続マニュアル

パソコン接続マニュアルについて

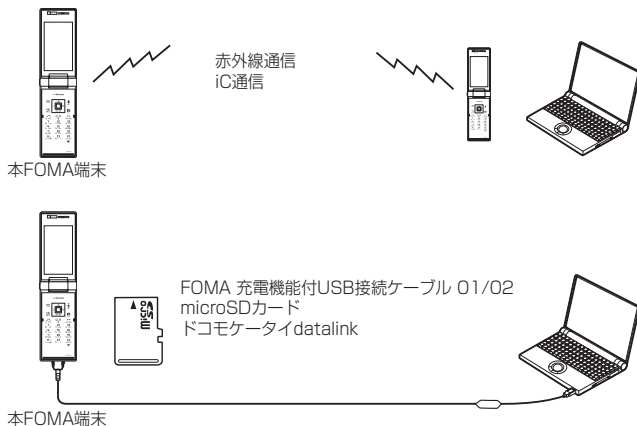
本マニュアルでは、P-04A/P-05Aでデータ通信をする際に必要な事項についての説明をはじめ、CD-ROM内の「FOMA通信設定ファイル」・「ドコモ コネクションマネージャ」のインストール方法などを説明しています。お使いの環境によっては操作手順や画面が一部異なる場合があります。

FOMA端末から利用できるデータ通信

FOMA端末とパソコンを接続してご利用できるデータ通信は、データ転送(OBEX™通信)とパケット通信・64Kデータ通信に分類されます。
FOMA端末はパケット通信用アダプタ機能を内蔵しています。

- 海外でパケット通信を行う場合は、IP接続で通信を行ってください。(PPP接続ではパケット通信できません。)
- 海外では、64Kデータ通信はご利用になれません。

データ転送(OBEX™通信)

画像や音楽、電話帳、メールなどのデータを、他のFOMA端末やパソコンなどとの間で送受信します。

パケット通信

送受信したデータ量に応じて通信料金がかかる通信方式です。(受信最大7.2Mbps、送信最大384kbpsのベストエフォート方式)※ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」など、FOMAパケット通信に対応した接続先を利用します。
パケット通信はFOMA端末とパソコンをFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02(別売)で接続し、各種設定を行うことで利用でき、高速通信を必要とするアプリケーションの利用に適しています。
P.4以降の説明に従って、設定と接続を行ってください。

※技術規格上の最大値であり、実際の通信速度は、ネットワークの混み具合や通信環境により異なります。FOMAハイスピードエリア外やHIGH-SPEEDに対応していないアクセスポイントに接続するとき、またはドコモのPDA「sigmarion III」「musea」などHIGH-SPEEDに対応していない機器をご利用の場合は、送受信ともに最大384kbpsでの接続になります。

- パケット通信では送受信したデータ量に応じて課金されます。画像を多く含むホームページの閲覧、データのダウンロードなどのデータ量の多い通信を行うと、通信料金が高額になりますのでご注意ください。

64Kデータ通信

接続している時間に応じて、通信料金がかかる通信方式です。FOMA端末とパソコンをFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02(別売)で接続し、通信を行います。
ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」などのFOMA 64Kデータ通信対応の接続先、またはISDNの同期64K対応の接続先をご利用ください。P.4以降の説明に従って、設定と接続を行ってください。

- 64Kデータ通信では、接続した時間量に応じて課金されます。長時間にわたる接続を行った場合、通信料金が高額になりますのでご注意ください。

次ページにつづく

お知らせ

- FOMA端末は、Remote Wakeupには対応していません。
- FOMA端末はFAX通信をサポートしていません。
- FOMA端末をドコモのPDA「sigmarion III」、「musea」に接続してデータ通信を行うことができます。「musea」を利用する場合は、アップデートが必要です。アップデートの方法などの詳細は、ドコモのホームページをご覧ください。

ご使用になる前に

インターネットサービスプロバイダの利用料について

インターネットをご利用の場合は、ご利用になるインターネットサービスプロバイダに対する利用料が必要になります。この利用料は、FOMAサービスの利用料とは別に直接インターネットサービスプロバイダにお支払いいただきます。利用料の詳しい内容については、ご利用のインターネットサービスプロバイダにお問い合わせください。
ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」をご利用いただけます。
「mopera U」をご利用いただく場合は、お申し込みが必要(有料)となります。

接続先(インターネットサービスプロバイダなど)の設定について

パケット通信と64Kデータ通信では接続先が異なります。パケット通信を行うときはパケット通信対応の接続先、64Kデータ通信を行うときはFOMA 64Kデータ通信、またはISDN同期64K対応の接続先をご利用ください。

- DoPaの接続先には接続できません。
- moperaのサービス内容および接続設定方法についてはmoperaのホームページをご確認ください。
  http://www.mopera.net/mopera/index.html

ネットワークアクセス時のユーザ認証について

接続先によっては、接続時にユーザ認証(IDとパスワード)が必要な場合があります。その場合は、通信ソフト(ダイヤルアップネットワーク)でIDとパスワードを入力して接続してください。IDとパスワードは接続先のインターネットサービスプロバイダまたは接続先のネットワーク管理者から付与されます。詳しい内容については、そちらにお問い合わせください。

ブラウザ利用時のアクセス認証について

FirstPass(ユーザ証明書)が必要な場合は、付属のCD-ROMからFirstPass PCソフトをインストールし、設定を行ってください。
詳しくはCD-ROM内の「FirstPassPCSoft」フォルダ内の「FirstPassManual」(PDF形式)をご覧ください。

パケット通信および64Kデータ通信の条件

日本国内でFOMA端末による通信を行うには、以下の条件が必要になります。

・FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02(別売)が利用できるパソコンであること
・FOMAパケット通信、64Kデータ通信に対応したPDAであること
・FOMAサービスエリア内であること
・パケット通信の場合、接続先がFOMAのパケット通信に対応していること
・64Kデータ通信の場合、接続先がFOMA 64Kデータ通信、またはISDN同期64Kに対応していること

ただし、上の条件が整っていても、基地局が混雑している、または電波状況が悪い場合は通信ができないことがあります。

動作環境

データ通信におけるパソコンの動作環境は以下のとおりです。

項　目	説　明
パソコン本体	PC-AT互換機 FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02(別売)を使用する場合: USBポート(Universal Serial Bus Specification Rev1.1準拠) ディスプレイ解像度800×600ドット、High Color16ビット以上を推奨。
OS	Windows Vista、Windows XP、Windows 2000(各日本語版) ●「ドコモ コネクションマネージャ」は、Windows 2000 Service Pack4以上、Windows XP Service Pack2以上 (動作環境詳細はドコモのホームページをご確認ください。)
必要メモリ	Windows Vista:512Mバイト以上 Windows XP:128Mバイト以上 Windows 2000:64Mバイト以上(各日本語版)
ハードディスク容量	5Mバイト以上の空き容量 ●「ドコモ コネクションマネージャ」は15Mバイト以上の空き容量

●OSアップグレードからの動作は保証いたしかねます。
●必要メモリおよびハードディスクの空き容量はシステム環境によって異なることがあります。
●メニューが動作する推奨環境はMicrosoft® Internet Explorer7.0以降※です。CD-ROMをセットしてもメニューが表示されない場合は次の手順で操作してください。
<Windows Vistaの場合>
「コンピュータ」などでCD-ROMを参照して、「index.html」をダブルクリックしてください。
<Windows XP、Windows 2000の場合>
マイコンピュータなどでCD-ROMを参照して、「index.html」をダブルクリックしてください。
※Windows XP、Windows 2000の場合、推奨環境はMicrosoft® Internet Explorer6.0以降です。

■CD-ROMをパソコンにセットすると
警告画面が表示される場合があります。この警告は、Internet Explorerのセキュリティの設定によって表示されますが、使用には問題ありません。
「はい」をクリックしてください。

必要な機器

FOMA端末とパソコン以外に以下のハードウェア、ソフトウェアを使います。
・FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02(別売)または、FOMA USB接続ケーブル(別売)
・付属CD-ROM「P-04A/P-05A用CD-ROM」

お知らせ

●USBケーブルは専用の「FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02」または、「FOMA USB接続ケーブル」をご利用ください。パソコン用のUSBケーブルはコネクタ部の形状が異なるため使用できません。
●USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。

FOMA端末と他の機器との接続方法

FOMA端末と他の機器を接続するには、次の2つの方法があります。

FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02を使う

FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02(別売)を使って、USBポートを装備したパソコンと接続します。(P.5参照)
パケット通信、64Kデータ通信、データ転送のすべての通信方式に利用できます。
●データ通信を行うには「USBモード設定」を「通信モード」に設定してください。
「(MENU)▶設定／サービス▶その他▶USBモード設定▶通信モード」の操作を行います。
●ご使用前にFOMA通信設定ファイル(ドライバ)のインストールが必要です。

赤外線通信を使う

赤外線を使って、FOMA端末と赤外線通信機能が搭載された他のFOMA端末、携帯電話、パソコンなどとデータを送受信します。
データ転送を行う場合のみ利用できます。

データ転送(OBEX™通信)の準備の流れ

FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02(別売)をご利用になる場合には、「FOMA通信設定ファイル」(ドライバ)をインストールしてください。

「FOMA通信設定ファイル」(ドライバ)をダウンロード、インストールする(P.6参照)
●付属のCD-ROMからインストール、またはドコモのホームページからダウンロードしてインストールします。

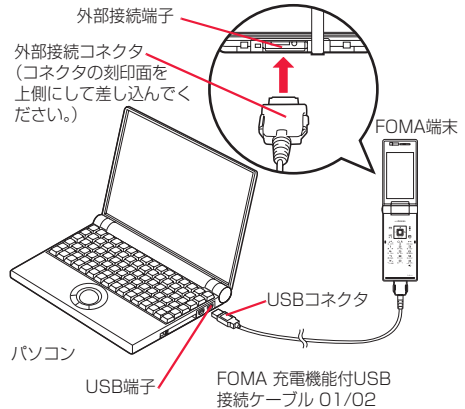
データ通信の準備の流れ

パケット通信・64Kデータ通信を行う場合の準備について説明します。以下のような流れになります。

■付属の「P-04A/P-05A用CD-ROM」について
FOMA端末とパソコンをFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02で接続してパケット通信を行うときには、付属の「P-04A/P-05A用CD-ROM」の「FOMA通信設定ファイル」(ドライバ)をパソコンにインストールしてください。また、通信を行う際にAPNやダイヤルアップの設定が簡単に行える「ドコモ コネクションマネージャ」をインストールすることをおすすめします。

パソコンとFOMA端末を接続する

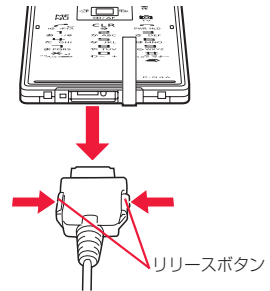
FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02(別売)の取り付け方法について説明します。

1 FOMA端末の外部接続端子の向きを確認し、FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02の外部接続コネクタをまっすぐ「カチッ」と音がするまで差し込む

2 FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02のUSBコネクタをパソコンのUSB端子に接続する

お知らせ

- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02のコネクタは無理に差し込まないでください。故障の原因となります。各コネクタは正しい向き、正しい角度で差し込まないと接続できません。正しく差し込んだときは、強い力を入れなくてもスムーズに差し込めるようになっています。うまく差し込めないときは、無理に差し込まず、もう一度コネクタの形や向きを確認してください。
- USBケーブルは専用のFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02をご利用ください。(パソコン用のUSBケーブルはコネクタ部の形状が異なるため使用できません。)
- FOMA端末に表示される「 」は、パケット通信または64Kデータ通信のFOMA通信設定ファイル(ドライバ)のインストールを行い、パソコンとの接続が認識されたときに表示されます。FOMA通信設定ファイル(ドライバ)のインストール前には、パソコンとの接続が認識されず、「 」も表示されません。

■取り外し方

1. FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02の外部接続コネクタのリリースボタンを押しながら、まっすぐ引き抜く。
2. パソコンのUSB端子からFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02を引き抜く。

お知らせ

- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02は無理に取り外さないでください。故障の原因となります。
- データ通信中はFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02を取り外さないでください。パソコンやFOMA端末の誤動作や故障、データ消失の原因となります。
- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02の取り付け･取り外しは連続して行わないでください。一度、取り付け･取り外しを行った場合は、間隔をおいてから再び行ってください。

FOMA通信設定ファイル(ドライバ)をインストールする

FOMA通信設定ファイル(ドライバ)のインストールは、ご使用になるパソコンにFOMA端末をFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02(別売)で初めて接続するときに必要です。

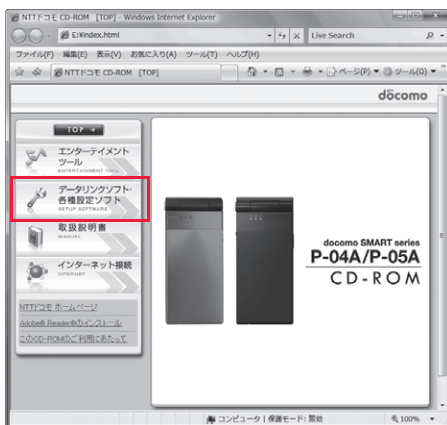
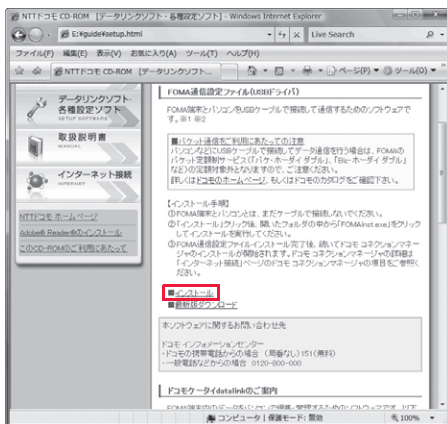
●必ずAdministrator権限またはパソコンの管理者権限を持ったユーザーで行ってください。

Windows Vistaの例

1 **FOMA端末とFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02を接続する(P.5参照)**

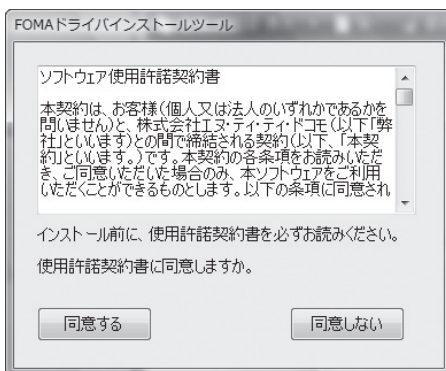
2 **Windowsを起動し、付属の「P-04A/P-05A用CD-ROM」をパソコンにセットする**

3 **「データリンクソフト・各種設定ソフト」をクリックする**

●「FOMA通信設定ファイル」(ドライバ)のインストール中にこの画面が表示された場合は画面を閉じてください。

4 **「FOMA通信設定ファイル(USBドライバ)」の「インストール」をクリックする**

5 **開いたフォルダの中から「FOMAinst.exe」をダブルクリックし、「続行」をクリックする**

●Windows XP、Windows 2000の場合、「続行」をクリックする必要はありません。

次ページにつづく

6 「ソフトウェア使用許諾契約書」をよく読み、「同意する」をクリックする

7 FOMA端末の電源を入れて、FOMA端末と接続したFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02をパソコンに接続する

インストールが始まります。

8 「FOMA通信設定ファイル(ドライバ)のインストールが完了しました。」が表示されます。

●FOMA通信設定ファイル(ドライバ)のインストールが終了します。

9 続いて、「ドコモ コネクションマネージャ」をインストールする場合は、「インストールする(推奨)」をクリックする

「ドコモ コネクションマネージャ」のインストールについては、P.10参照。

●「ドコモ コネクションマネージャ」をインストールしない場合は手順10へ進みます。

10 「閉じる」をクリックする

インストールしたドライバを確認する

「FOMA通信設定ファイル」(ドライバ)が正しくインストールされていることを確認します。

Windows Vistaの例

1 「(スタート)」▶「コントロールパネル」を開く▶「システムとメンテナンス」を開く

<Windows XPの場合>

「スタート」→「コントロールパネル」を開く→「パフォーマンスとメンテナンス」→「システム」を開く

<Windows 2000の場合>

「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」を開く→「システム」を開く

2 「ハードウェアとデバイスを表示」を開く▶「続行」をクリックする

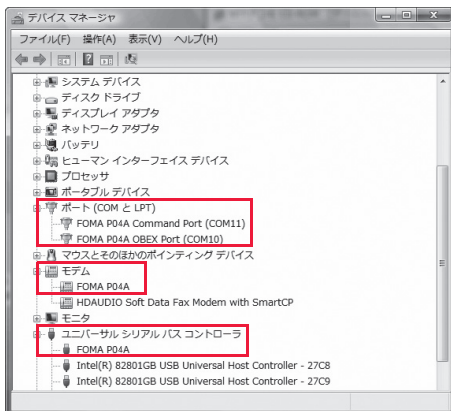
<Windows XP、Windows 2000の場合>

「ハードウェア」タブをクリック→「デバイスマネージャ」をクリックする

次ページにつづく

3 各デバイスをクリックして、インストールされたドライバ名を確認する

「ポート(COMとLPT)」、「モデム」、「ユニバーサル シリアル バス コントローラ」の下にすべてのドライバ名が表示されていることを確認します。

- COMポート番号は、お使いのパソコンによって異なります。

「FOMA通信設定ファイル」(ドライバ)をインストールすると、以下のドライバがインストールされます。

デバイス名	FOMA通信設定ファイル(ドライバ)名
ポート(COMとLPT)	･FOMA P04A Command PortまたはFOMA P05A Command Port ･FOMA P04A OBEX PortまたはFOMA P05A OBEX Port
モデム	･FOMA P04AまたはFOMA P05A
<Windows Vistaの場合> ユニバーサル シリアル バス コントローラ <Windows XP、Windows 2000の場合> USB(Universal Serial Bus)コントローラ	･FOMA P04AまたはFOMA P05A

FOMA通信設定ファイル(ドライバ)をアンインストールする

「FOMA通信設定ファイル」(ドライバ)のアンインストールが必要になった場合(バージョンアップする場合など)は、次の手順で行ってください。

- 必ずAdministrator権限またはパソコンの管理者権限を持ったユーザーで行ってください。

Windows Vistaの例

1 FOMA端末とパソコンがFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02(別売)で接続されている場合は、FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02を取り外す

2 「(スタート)」▶「コントロールパネル」▶「プログラムのアンインストール」を開く

<Windows XPの場合>
「スタート」→「コントロールパネル」→「プログラムの追加と削除」を開く
<Windows 2000の場合>
「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」→「プログラムの追加と削除」を開く

3 「FOMA P04A USB」または「FOMA P05A USB」を選択し「アンインストールと変更」をクリックして、「続行」をクリックする

<Windows XP、Windows 2000の場合>
「FOMA P04A USB」または「FOMA P05A USB」を選択して、「変更と削除」をクリックする

4 「OK」をクリックする

次ページにつづく

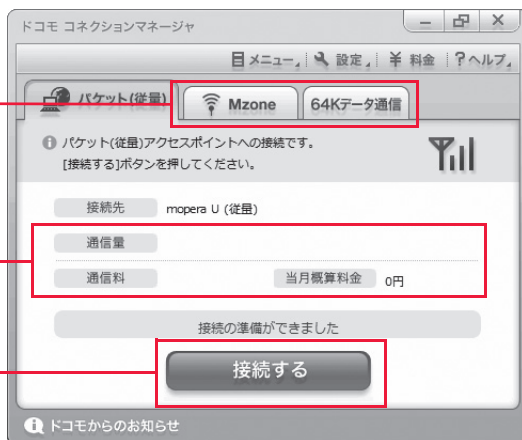
5 「はい」をクリックしてWindowsを再起動する

以上でアンインストールは終了です。
●「いいえ」をクリックした場合は、手動で再起動をしてください。

お知らせ

●「FOMA通信設定ファイル」(ドライバ)をインストールするときに、途中でパソコンからFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02を抜いてしまったり、「キャンセル」ボタンをクリックしてインストールを中止してしまった場合は、「FOMA通信設定ファイル」(ドライバ)が正常にインストールされない場合があります。このような場合は、「P-04A/P-05A用CD-ROM」内の「USB_Driver」→「P04ADrivers」または「P05ADrivers」→「Win2k_XP」または「WinVista32」を開き「P04A_un.exe」または「P05A_un.exe」を実行して「FOMA通信設定ファイル」(ドライバ)を一度削除してから、再度インストールし直してください。

ドコモ コネクションマネージャ

「ドコモ コネクションマネージャ」は、定額データプランのご利用に必要となる「定額データプラン接続ソフト」や、従量データ通信を行うために必要な接続ソフトをパッケージ化したソフトウェアです。「ドコモ コネクションマネージャ」はデータ通信対応端末でインターネットに接続するためのソフトです。mopera Uのお申込みやパソコンの設定を簡単に行なうことができます。
また、料金カウンタ機能でデータ通信量や利用金額の目安を確認することもできます。

本書では、従量接続用「ドコモ コネクションマネージャ」のインストール方法までをご案内いたします。
端末を使ってインターネットに接続するためには、サービスおよびデータ通信に対応したインターネットサービスプロバイダ(mopera Uなど)のご契約が必要です。
詳しくは、ドコモのホームページをご覧ください。

■従量制データ通信(「パケ・ホーダイ」、「パケ・ホーダイフル」など含む)のご利用について

パケット通信を利用して、画像を含むホームページの閲覧、データのダウンロード(例:アプリケーションや音楽・動画データ、OS・ウイルス対策ソフトのアップデート)などのデータ量の多い通信を行うと、通信料が高額となる場合がありますのでご注意ください。
パケット定額サービス「パケ・ホーダイ」、「パケ・ホーダイフル」、「パケ・ホーダイ ダブル」、「Biz・ホーダイ」、「Biz・ホーダイ ダブル」では、パソコンに接続した場合のデータ通信などは定額対象外となりますのでご注意ください。

■定額データプランのご利用について

定額データプランを利用するには、定額データ通信に対応した料金プラン・インターネットサービスプロバイダにご契約いただく必要があります。詳しくはドコモのホームページをご確認ください。
●定額データプランを利用する場合は、「定額データプラン接続ソフト」を必ずご利用ください。「定額データプラン接続ソフト」は、ドコモのホームページよりダウンロードできます。

■moperaのご利用について

接続設定方法についてはmoperaのホームページをご確認ください。
http://www.mopera.net/mopera/support/index.html

ドコモ コネクションマネージャをインストールする前に

インストールの流れ

ステップ 1 FOMA端末とFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02(別売)または、FOMA USB接続ケーブル(別売)を用意する

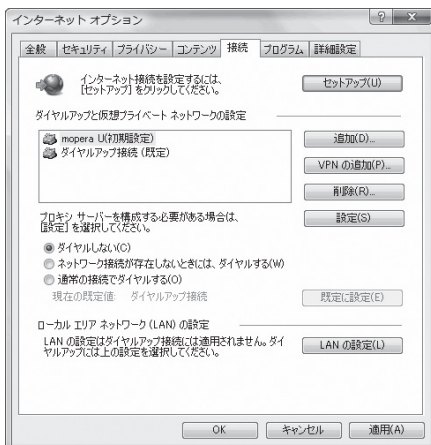
ステップ 2 サービスおよびインターネットサービスプロバイダの契約内容を確認する

ステップ 3 「ドコモ コネクションマネージャ」以外の接続ソフトがインストールされている場合は、自動的に起動しないように設定を変更する

●「ドコモ コネクションマネージャ」以外の接続ソフトのご利用についてはP.15参照。

■Internet Explorerの設定について

本ソフトをインストールする前に、Internet Explorerのインターネットオプションで、接続の設定を「ダイヤルしない」に設定してください。

1. Internet Explorerを起動し、「ツール」
　→「インターネットオプション」を選択する。
2. 「接続」タブを選択し、「ダイヤルしない」を選択する。
3. 「OK」をクリックする。

お知らせ

<「ドコモ コネクションマネージャ」以外の接続ソフトのご利用について>

●本ソフトには、以下のソフトと同等の機能が搭載されているため、以下のソフトを同時にご利用いただく必要はありません。必要に応じて、起動しない設定への変更やアンインストールを実施してください。

- ･mopera Uかんたんスタート
- ･Uかんたん接続設定ソフト
- ･FOMA PC設定ソフト
- ･FOMAバイトカウンタ

また、本ソフトでMzone(公衆無線LAN接続)を利用する場合は、以下の公衆無線LAN接続ソフトはアンインストールをおこなってください。

以下のソフトを同時にインストールした場合、本ソフトでのMzone接続はご利用いただけません。

- ･U公衆無線LANユーティリティソフト
- ･ドコモ公衆無線LANユーティリティソフト
- ･ドコモ公衆無線LANユーティリティプログラム

ドコモ コネクションマネージャをインストールする

FOMA端末をパソコンに接続してパケット通信や64Kデータ通信を行うには、通信に関するさまざまな設定が必要です。
「ドコモ コネクションマネージャ」を使うと、簡単な操作でダイヤルアップ、通信設定最適化や接続先(APN)の設定ができます。

- 必ずAdministrator権限またはパソコンの管理者権限を持ったユーザーで行ってください。
- 起動しているアプリケーションをすべて終了してください。
  ウイルスチェックソフトを含む、Windows上に常駐しているプログラムも終了します。
  (例)タスクトレイに表示されているアイコンを右クリックし、「閉じる」または「終了」を選択します。

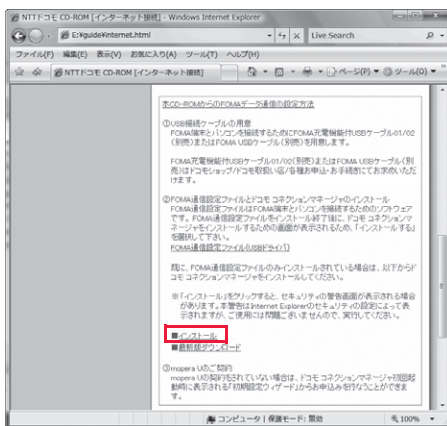
Windows Vistaの例

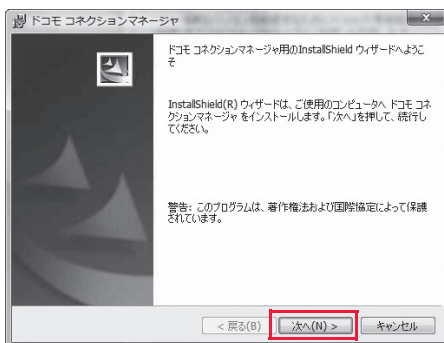
1 **付属の「P-04A/P-05A用CD-ROM」をパソコンにセットする**

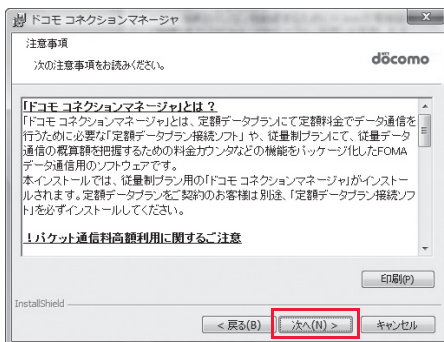
2 **「インターネット接続」をクリックする**

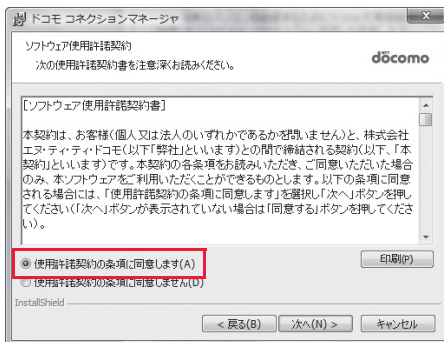
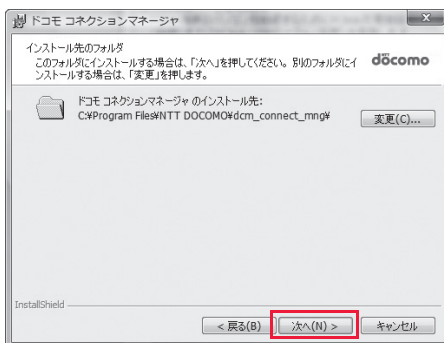
- 「ドコモ コネクションマネージャ」のインストール中にこの画面が表示された場合は画面を閉じてください。

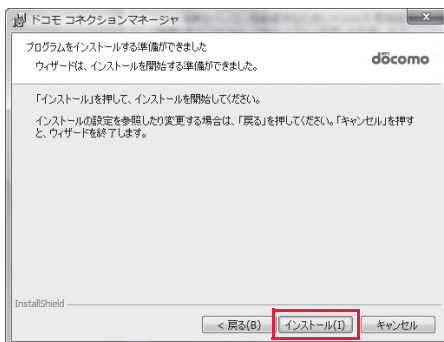
3 **「本CD-ROMからのFOMAデータ通信の設定方法」の操作②にある「インストール」をクリック▶「続行」をクリックする**

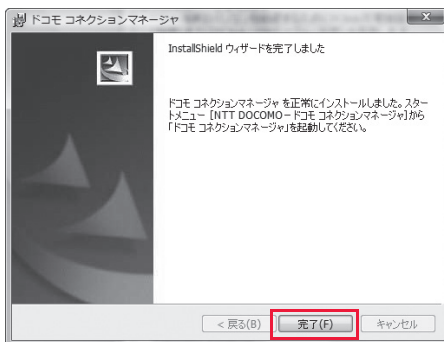
- Windows XP、Windows 2000の場合、「続行」をクリックする必要はありません。

Windows XPで、MSXML6･Wireless LAN APIが環境にない場合は、「ドコモ コネクションマネージャ」をインストールする前に、それらをインストールする必要があります。確認の画面が表示されたときは「Install」をクリックして、MSXML6･Wireless LAN APIをインストールします。MSXML6･Wireless LAN APIのインストール完了後、Windowsを再起動すると、自動的に「ドコモ コネクションマネージャ」のインストールがはじまります。

次ページにつづく

4 「次へ」をクリックする

5 注意事項をご確認のうえ、「次へ」をクリックする

6 使用許諾契約書の内容を確認のうえ、契約内容に同意する場合は、「使用許諾契約の条項に同意します」を選択し、「次へ」をクリックする

次ページにつづく

7 インストール先のフォルダを確認して､｢次へ｣をクリックする

8 ｢インストール｣をクリックする

インストールがはじまります。

9 ｢完了｣をクリックする

これでインストールは完了です。

ドコモ コネクションマネージャを起動する

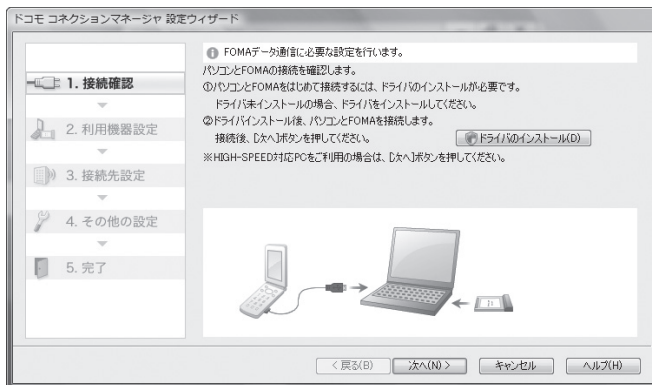
Windows Vistaの例

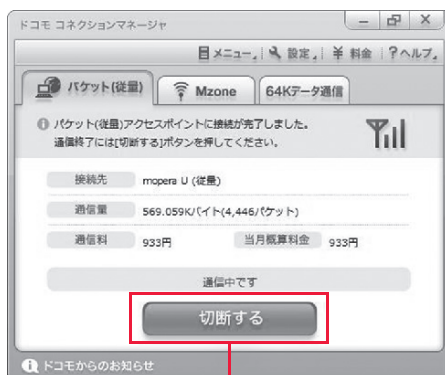
1 **「 (スタート)」▶「すべてのプログラム」▶「NTT DOCOMO」▶「ドコモ コネクションマネージャ」▶「ドコモ コネクションマネージャ」**

＜Windows XP、Windows 2000の場合＞
「スタート」→「すべてのプログラム」(Windows 2000の場合は「プログラム」)→「NTT DOCOMO」→「ドコモ コネクションマネージャ」→「ドコモ コネクションマネージャ」

「ドコモ コネクションマネージャ」が起動します。

2 **初回起動時には、自動的に設定ウィザードが表示されます。**

以降はソフトの案内に従って操作・設定をすることで、インターネットに接続する準備が整います。
詳しくは、「ドコモ コネクションマネージャ操作マニュアル.pdf」をご覧ください。

■切断する場合

ブラウザソフトやメールソフトを終了しただけでは、通信は切断されません。
通信をご利用にならない場合は、必ず「ドコモ コネクションマネージャ」の「切断する」をクリックして通信を切断してください。
OSアップデートなどにおいて自動更新を設定していると自動的にソフトウェアが更新され、パケット通信料が高額となる場合がございますのでご注意ください。

接続／切断ボタン

ダイヤルアップネットワークの設定をする

パケット通信の設定をする

「ドコモ コネクションマネージャ」を使わずに、パケット通信の接続を設定する方法について説明します。
パケット通信では、パソコンからさまざまな設定を行う場合にATコマンドを使用します。設定を行うためには、ATコマンドを入力するための通信ソフトが必要です。ここでは、Windows標準添付の「ハイパーターミナル」を使って説明します。
ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」または「mopera」をご利用になる場合は、接続先(APN)の設定(P.17参照)は不要です。
発信者番号通知／非通知の設定(P.20参照)は必要に応じて行います。(「mopera U」または「mopera」をご利用の場合は、「通知」に設定する必要があります。)
<ATコマンドによるパケット通信設定の流れ>

COMポート番号を確認する(P.15参照)

ATコマンド入力をサポートする通信ソフトを起動する(P.17手順3参照)

接続先(APN)の設定をする(P.19手順7参照)

発信者番号の通知／非通知を設定する(P.20手順2参照)

その他の設定をする(P.33参照)

通信ソフトを終了する(P.19手順9参照)

■ATコマンドについて
- ATコマンドとは、モデム制御用のコマンドです。FOMA端末はATコマンドに準拠し、さらに拡張コマンドの一部や独自のATコマンドをサポートしています。
- ATコマンドを入力することによって、パケット通信やFOMA端末の詳細な設定、設定内容の確認(表示)ができます。
- 入力したATコマンドが表示されない場合は「ATE1 ⏎」と入力してください。

COMポート番号を確認する

手動で通信設定を行う場合、「FOMA通信設定ファイル」(ドライバ)のインストール後に組み込まれた「FOMA P04A」／「FOMA P05A」(モデム)に割り当てられたCOMポート番号を指定する必要があります。確認方法はご利用になるパソコンのOSによって異なります。
- ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」または「mopera」をご利用になる場合、接続先(APN)の設定が不要なため、モデムの確認をする必要はありません。

Windows Vistaの場合

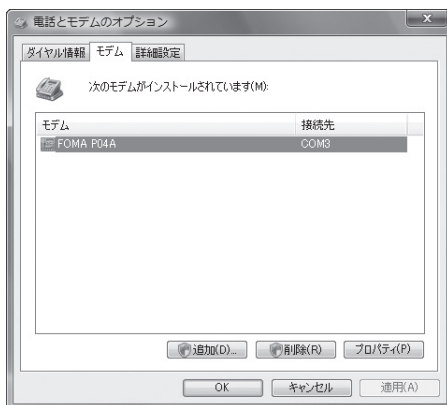
1 「(スタート)」▶「コントロールパネル」を開く

2 「コントロールパネル」の「ハードウェアとサウンド」から「電話とモデムのオプション」を開く

3 「所在地情報」の画面が表示された場合は、「市外局番／エリアコード」を入力して、「OK」をクリックする

次ページにつづく

4 「モデム」タブを開き、「FOMA P04A」または「FOMA P05A」の「接続先」欄のCOMポート番号を確認して、「OK」をクリックする

- 確認したCOMポート番号は、接続先（APN）の設定（P.17参照）で使用します。
- プロパティ画面に表示される内容およびCOMポート番号は、お使いのパソコンによって異なります。
- Windows Vistaは「ハイパーターミナル」に対応していません。Windows Vistaの場合は、Windows Vista対応のソフトを使って設定してください（ご使用になるソフトの設定に従ってください。）

Windows XPの場合

1 「スタート」▶「コントロールパネル」を開く

2 「コントロールパネル」の「プリンタとその他のハードウェア」から「電話とモデムのオプション」を開く

3 「所在地情報」の画面が表示された場合は、「市外局番／エリアコード」を入力して、「OK」をクリックする

4 「モデム」タブを開き、「FOMA P04A」または「FOMA P05A」の「接続先」欄のCOMポート番号を確認して、「OK」をクリックする

- 確認したCOMポート番号は、接続先（APN）の設定（P.17参照）で使用します。
- プロパティ画面に表示される内容およびCOMポート番号は、お使いのパソコンによって異なります。

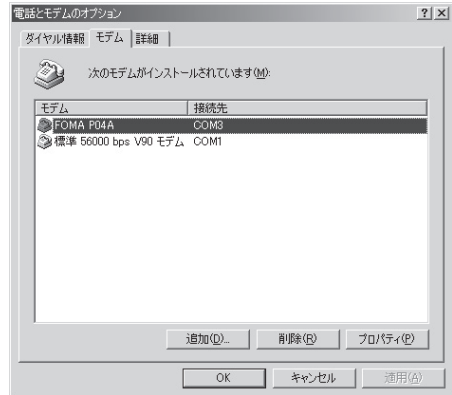
Windows 2000の場合

1 **「スタート」▶「設定」▶「コントロールパネル」を開く**

2 **「コントロールパネル」の「電話とモデムのオプション」を開く**

3 **「所在地情報」の画面が表示された場合は、「市外局番」を入力して、「OK」をクリックする**

4 **「モデム」タブを開き、「FOMA P04A」または「FOMA P05A」の「接続先」欄のCOMポート番号を確認して、「OK」をクリックする**

- 確認したCOMポート番号は、接続先(APN)の設定(P.17参照)で使用します。
- プロパティ画面に表示される内容およびCOMポート番号は、お使いのパソコンによって異なります。

接続先(APN)の設定をする

パケット通信を行う場合の接続先(APN)を設定します。接続先(APN)は10個まで登録でき、1～10の「cid」(P.19参照)という番号で管理されます。
「mopera U」または「mopera」をご利用になる場合は、接続先(APN)の設定は不要です。
ここでは接続先(APN)が「XXX.abc」で、FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02(別売)を利用した場合を例として説明します。実際のAPNはインターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。
ここでの設定はダイヤルアップネットワークの設定(P.21参照)での接続先番号となります。

Windows XPの例

1 **FOMA端末とFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02を接続する**

2 **FOMA端末の電源を入れて、FOMA端末と接続したFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02をパソコンに接続する**

3 **ハイパーターミナルを起動する**

「スタート」→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ハイパーターミナル」を開きます。
ハイパーターミナル起動後に、「『既定のTelnet』プログラムにしますか?」と表示された場合、任意で設定します。設定内容につきましては、パソコンメーカおよびマイクロソフトにご確認ください。
- Windows 2000では、パソコンで「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ハイパーターミナル」を開きます。

次ページにつづく

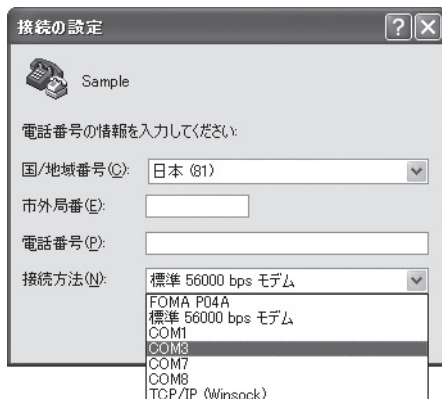
4 「名前」の欄に任意の名前を入力して、「OK」をクリックする

ここでは例として「Sample」と入力します。

5 接続方法を選択する

＜「FOMA P04A」または「FOMA P05A」のCOMポート番号を選択できる場合＞

「接続方法」で「FOMA P04A」または「FOMA P05A」がインストールされたCOMポート番号を選択して「OK」をクリックします。
このあと手順6へ進んでください。

- ここでは例として「COM3」を選択します。実際に「接続方法」で選択する「FOMA P04A」または「FOMA P05A」のCOMポート番号についてはP.15参照。

＜「FOMA P04A」または「FOMA P05A」のCOMポート番号を選択できない場合＞

「キャンセル」をクリックして「接続の設定」画面を閉じ、次の操作を行ってください。

(1)「ファイル」メニュー→「プロパティ」を選択します。
(2)「Sampleのプロパティ」画面の「接続の設定」タブの「接続方法」の欄で「FOMA P04A」または「FOMA P05A」を選択します。
(3)「国/地域番号と市外局番を使う」のチェックを外します。
(4)「OK」をクリックします。

このあと手順7へ進んでください。

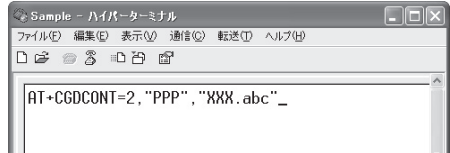
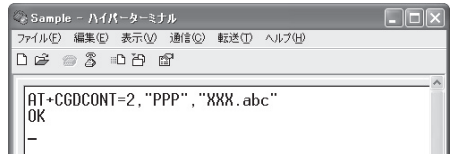
6 COMポート番号のプロパティが表示されるので、「OK」をクリックする

- 手順5でCOMポート番号を選択した場合に表示されます。

次ページにつづく

7 接続先(APN)を設定する

AT+CGDCONT=cid,"PDP_type","APN"の形式で入力します。
cid:2もしくは4～10までのうち任意の番号を入力します。
※すでにcidが設定してある場合は、設定が上書きされますので注意してください。
"PDP_type"については"PPP"または"IP"と入力します。
"APN":APNを" "で囲んで入力します。
(例:cidの2番にXXX.abcというAPNを設定する場合)
　AT+CGDCONT=2,"PPP","XXX.abc"
入力後[↵]を押して、OKと表示されればAPNの設定は完了です。

- 現在のAPN設定を確認したい場合は、「AT+CGDCONT?[↵]」と入力します。APN設定が一覧で表示されます。

8 「OK」と表示されることを確認する

9 「ファイル」メニュー▶「ハイパーターミナルの終了」を選択して、ハイパーターミナルを終了する

- 「現在、接続されています。切断してもよろしいですか?」と表示されたときは、「はい」を選択してください。
- 「セッションXXXを保存しますか?」と表示されますが、特に保存する必要はありません。

お知らせ

- 接続先(APN)は、FOMA端末に登録される情報であるため、異なるFOMA端末を接続する場合は、再度FOMA端末に接続先(APN)を登録する必要があります。
- パソコン側の接続先(APN)を継続利用する場合は、同一cid番号に同一接続先(APN)をFOMA端末に登録してください。
- 入力したATコマンドが表示されない場合は「ATE1[↵]」と入力してください。

■cid(登録番号)について

FOMA端末にはcid1からcid10までの登録番号があり、お買い上げ時、cid1には「mopera.ne.jp」が、cid3には「mopera.net」が接続先(APN)として登録されています。「mopera U」または「mopera」以外に接続する場合は、cid2とcid4～10のいずれかにプロバイダまたはネットワーク管理者より指示される接続先(APN)を設定する必要があります。

お買い上げ時のcid登録

登録番号(cid)	接続先(APN)
1	mopera.ne.jp (mopera)
2	未設定
3	mopera.net (mopera U)
4～10	未設定

■cidに登録した接続先(APN)に接続するときの「電話番号」について

「＊99＊＊＊<cid番号>＃」
(例)cid2に登録した接続先(APN)に接続する場合
　＊99＊＊＊2＃

次ページにつづく

■接続先(APN)設定のリセット／確認について

接続先(APN)設定のリセット／確認もATコマンドを使って行います。

接続先(APN)設定のリセット

リセットを行った場合、cid1の接続先(APN)設定が「mopera.ne.jp」(初期値)に、cid3の接続先(APN)設定が「mopera.net」(初期値)に戻り、cid2とcid4～10の設定は未登録となります。

(入力方法)

AT+CGDCONT=↵(すべてのcidをリセットする場合)

AT+CGDCONT=〈cid〉↵(特定のcidのみリセットする場合)

接続先(APN)設定の確認

現在の設定内容を表示させます。

(入力方法)

AT+CGDCONT?↵

発信者番号の通知／非通知を設定する

パケット通信を行うときに、通知／非通知設定(接続先にお客様の発信者番号を通知するかどうかの設定)を行えます。発信者番号はお客様の大切な情報なので、通知する際には十分にご注意ください。発信者番号の通知／非通知設定は、ダイヤルアップ接続を行う前にATコマンド(＊DGPIRコマンド)で設定できます。

1 「ハイパーターミナル」などの通信ソフトを起動する

●「ハイパーターミナル」での操作方法についてはP.17参照。

2 ＊DGPIRコマンド(P.35参照)で発信者番号の通知／非通知を設定する

●発信／着信応答のときに自動的に184(非通知)を付ける場合は、「AT＊DGPIR=1↵」と入力します。

●発信／着信応答のときに自動的に186(通知)を付ける場合は、「AT＊DGPIR=2↵」と入力します。

3 「OK」と表示されることを確認する

お知らせ

●ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」または「mopera」をご利用になる場合は、発信者番号を「通知」に設定する必要があります。

●入力したATコマンドが表示されない場合は「ATE1↵」と入力してください。

■ダイヤルアップネットワークでの通知／非通知設定について

ダイヤルアップネットワークの設定(P.21参照)でも、接続先の番号に186(通知)／184(非通知)を付けることができます。

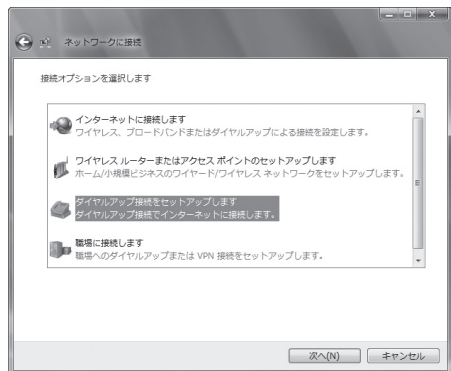
＊DGPIRコマンド、ダイヤルアップネットワークの設定の両方で186(通知)／184(非通知)の設定を行った場合、以下のようになります。

ダイヤルアップネットワークの設定(cid＝3の場合)	＊DGPIRコマンドによる通知／非通知設定	発信者番号の通知／非通知
＊99＊＊＊3#	設定なし	通知
	非通知	非通知
	通知	通知
184＊99＊＊＊3#	設定なし	非通知 (ダイヤルアップネットワークの184が優先される)
	非通知	
	通知	
186＊99＊＊＊3#	設定なし	通知 (ダイヤルアップネットワークの186が優先される)
	非通知	
	通知	

●「mopera U」または「mopera」に接続する場合は、発信者番号の通知が必要です。

Windows Vistaでダイヤルアップネットワークの設定をする

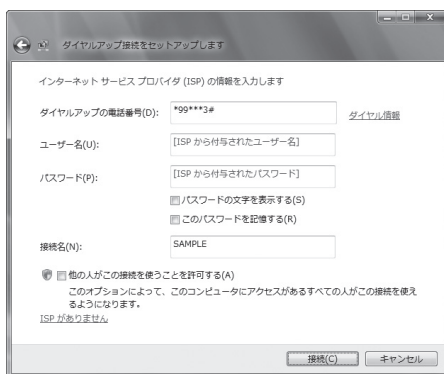
1 **「(スタート)」▶「接続先」▶「接続またはネットワークをセットアップします」をクリックする**

2 **「ダイヤルアップ接続をセットアップします」を選択して、「次へ」をクリックする**

3 **モデムの選択画面が表示された場合は、「FOMA P04A」または「FOMA P05A」をクリックする**

●モデムの選択画面は、複数のモデムが存在するときのみ表示されます

次ページにつづく

4 「接続名」の欄に任意の名前を入力する

●ここでは例として「SAMPLE」と入力します。

5 「ダイヤルアップの電話番号」の欄に接続先番号を入力する

●mopera Uに接続する場合、接続先番号には「＊99＊＊＊3＃」を入力します。

6 「ユーザー名」、「パスワード」の欄にインターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者から指定されたユーザー名とパスワードを入力して、「接続」をクリックする▶「スキップ」をクリックする

●mopera Uまたはmoperaへ接続する場合は、ユーザー名とパスワードは空欄でも接続できます。
●ここでは、すぐに接続せずに設定の確認のみを行います。

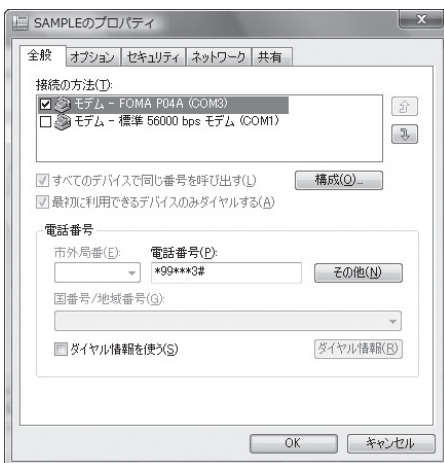
7 「接続をセットアップします」をクリックする▶「閉じる」をクリックする

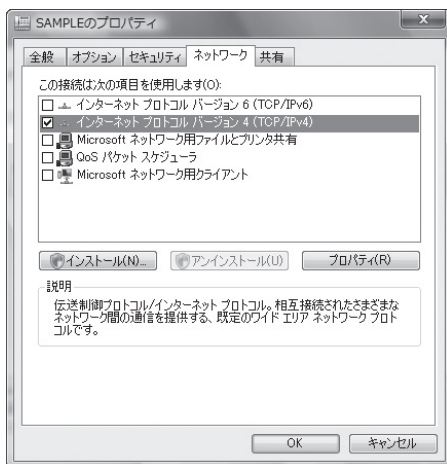
8 「(スタート)」▶「接続先」▶接続済みの接続先を選んで、右クリックから「プロパティ」を選択する

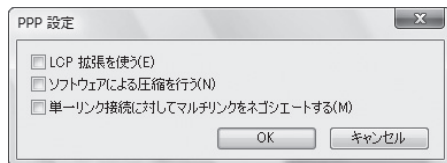
9 「全般」タブで設定を確認する

パソコンに2台以上のモデムが接続されている場合は、「接続の方法」の欄で「モデム－FOMA P04A」または「モデム－FOMA P05A」にチェックが付いているのを確認します。チェックが付いていない場合には、チェックを付けます。また、複数のモデムにチェックが付いている場合は、ボタンをクリックして「モデム－FOMA P04A」または「モデム－FOMA P05A」の優先順位を一番上にするか、「モデム－FOMA P04A」または「モデム－FOMA P05A」以外のモデムのチェックを外してください。
「ダイヤル情報を使う」にチェックされている場合にはチェックを外します。

●「FOMA P04A」または「FOMA P05A」に割り当てられるCOMポート番号は、お使いのパソコンによって異なります。
●mopera Uに接続する場合、接続先番号には「＊99＊＊＊3＃」を入力します。

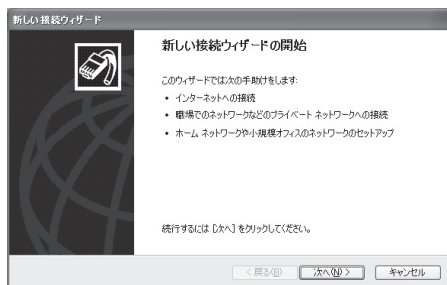
次ページにつづく

10「ネットワーク」タブをクリックして、各種設定を行う

「この接続は次の項目を使用します」の欄は、「インターネットプロトコル バージョン4（TCP/IPv4）」を選択します。
「QoSパケットスケジューラ」は必要に応じて設定してください。
一般ISPなどに接続する場合のTCP/IP設定は、ISPまたはネットワーク管理者に確認してください。

11「オプション」タブをクリックして、「PPP設定」をクリックする

12すべてのチェックを外して、「OK」をクリックする

13手順10の画面に戻り、「OK」をクリックする

Windows XPでダイヤルアップネットワークの設定をする

1 「スタート」▶「すべてのプログラム」▶「アクセサリ」▶「通信」▶「新しい接続ウィザード」を開く

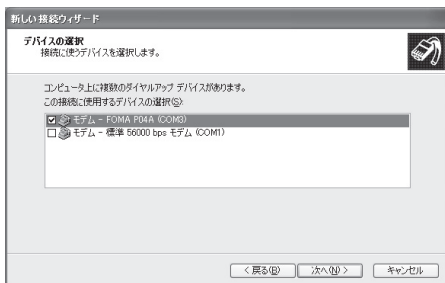
2 「新しい接続ウィザード」の画面が表示されたら、「次へ」をクリックする

3 「インターネットに接続する」を選択して、「次へ」をクリックする

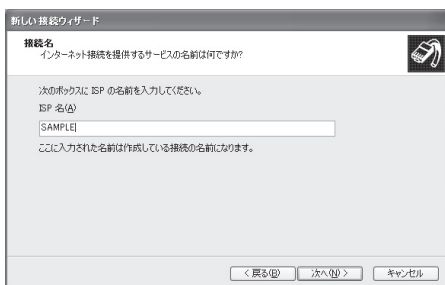
4 「接続を手動でセットアップする」を選択して、「次へ」をクリックする

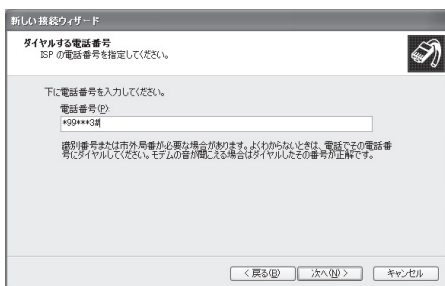
次ページにつづく

5 「ダイヤルアップモデムを使用して接続する」を選択して、「次へ」をクリックする

6 「デバイスの選択」画面が表示された場合は、「FOMA P04A」または「FOMA P05A」のみチェックを付けて「次へ」をクリックする

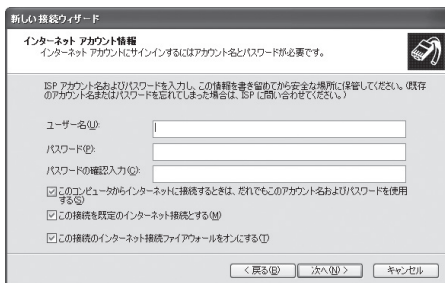
●「デバイスの選択」画面は、複数のモデムが存在するときのみ表示されます。

7 「ISP 名」の欄に任意の名前を入力して、「次へ」をクリックする

●ここでは例として「SAMPLE」と入力します。

8 「電話番号」の欄に接続先番号を入力して、「次へ」をクリックする

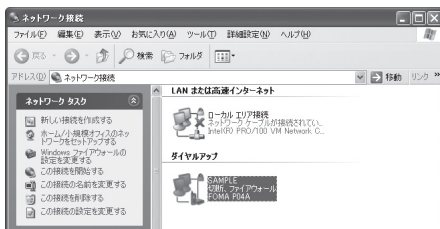
●mopera Uに接続する場合、接続先番号には「＊99＊＊＊3＃」を入力します。
mopera U以外の接続先番号についてはP.19参照。

9 「ユーザー名」、「パスワード」、「パスワードの確認入力」の欄にインターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者から指定されたユーザー名とパスワードを入力して、「次へ」をクリックする

●mopera Uまたはmoperaへ接続する場合は、ユーザー名とパスワードは空欄でも接続できます。

10 「完了」をクリックする

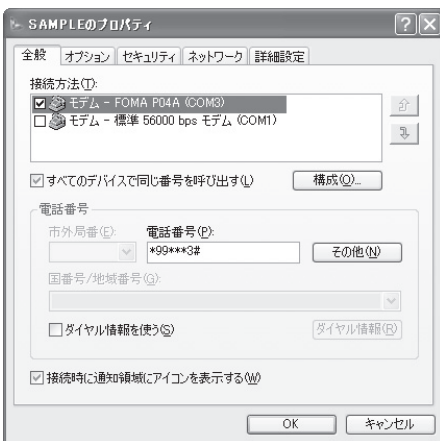
次ページにつづく

11「スタート」▶「すべてのプログラム」▶「アクセサリ」▶「通信」▶「ネットワーク接続」を開く

12 ダイヤルアップのアイコンを選択して、「ネットワークタスク」▶「この接続の設定を変更する」を選択する

ここでは手順7で入力した名前のアイコンをクリックします。

13「全般」タブで設定を確認する

パソコンに2台以上のモデムが接続されている場合は、「接続方法」の欄で「モデム－FOMA P04A」または「モデム－FOMA P05A」にチェックが付いているのを確認します。チェックが付いていない場合には、チェックを付けます。また、複数のモデムにチェックが付いている場合は、⇧ボタンをクリックして「モデム－FOMA P04A」または「モデム－FOMA P05A」の優先順位を一番上にするか、「モデム－FOMA P04A」または「モデム－FOMA P05A」以外のモデムのチェックを外してください。

「ダイヤル情報を使う」にチェックされている場合にはチェックを外します。

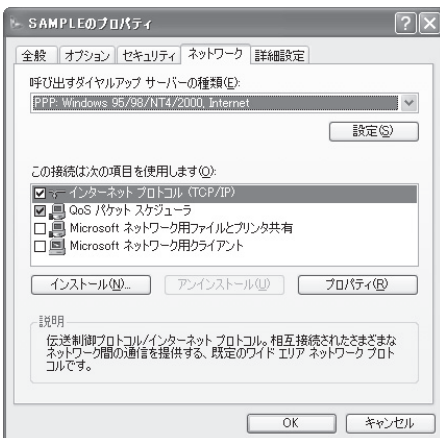
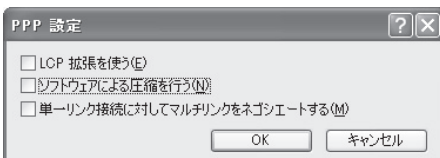
- 「FOMA P04A」または「FOMA P05A」に割り当てられるCOMポート番号は、お使いのパソコンによって異なります。
- mopera Uに接続する場合、接続先番号には「＊99＊＊＊3＃」を入力します。
  mopera U以外の接続先番号についてはP.19参照。

14「ネットワーク」タブをクリックして、各種設定を行う

「呼び出すダイヤルアップサーバーの種類」の欄は、「PPP:Windows 95/98/NT4/2000, Internet」を選択します。

「この接続は次の項目を使用します」の欄は、「インターネットプロトコル(TCP/IP)」を選択します。

「QoSパケットスケジューラ」は設定変更ができませんので、そのままにしておいてください。

続いて「設定」をクリックします。

一般ISPなどに接続する場合のTCP/IP設定は、ISPまたはネットワーク管理者に確認してください。

15 すべてのチェックを外して、「OK」をクリックする

16 手順14の画面に戻り、「OK」をクリックする

Windows 2000でダイヤルアップネットワークの設定をする

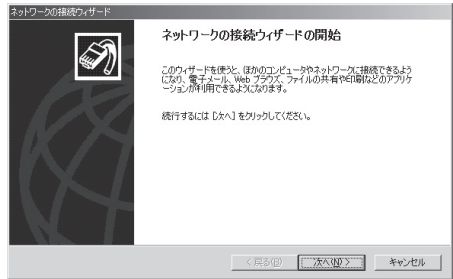
1 「スタート」▶「プログラム」▶「アクセサリ」▶「通信」▶「ネットワークとダイヤルアップ接続」を開く

2 「ネットワークとダイヤルアップ接続」の中の「新しい接続の作成」をダブルクリックする

3 「所在地情報」の画面が表示された場合は、「市外局番」を入力して、「OK」をクリックする

- 「所在地情報」の画面は、手順2で「新しい接続の作成」を初めて起動したときのみ表示されます。
- 2回目以降は、この画面は表示されず、「ネットワークの接続ウィザード」の画面が表示されるので、手順5に進んでください。

4 「電話とモデムのオプション」が表示されたら、「OK」をクリックする

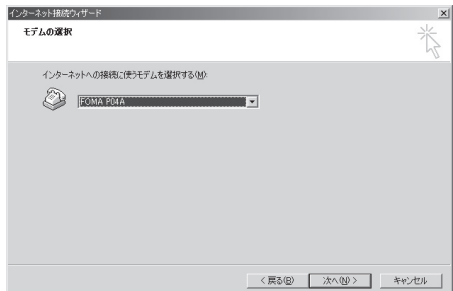
5 「ネットワークの接続ウィザード」の画面が表示されたら、「次へ」をクリックする

6 「インターネットにダイヤルアップ接続する」を選択して、「次へ」をクリックする

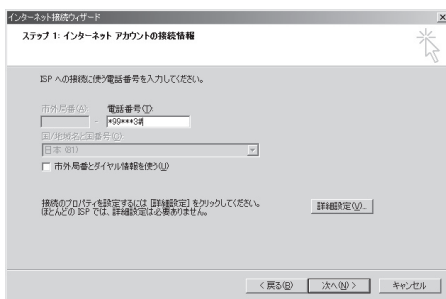
7 「インターネット接続を手動で設定するか、またはローカルエリアネットワーク(LAN)を使って接続します」を選択して、「次へ」をクリックする

8 「電話回線とモデムを使ってインターネットに接続します」を選択して、「次へ」をクリックする

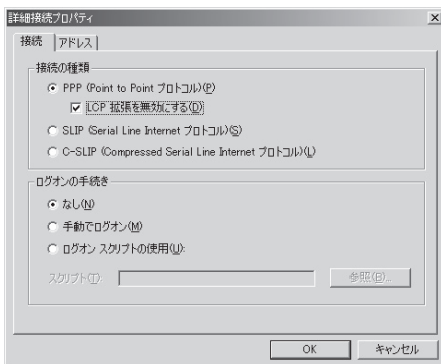
9 「インターネットへの接続に使うモデムを選択する」の欄が「FOMA P04A」または「FOMA P05A」になっていることを確認して、「次へ」をクリックする

- 選択されていない場合には、「FOMA P04A」または「FOMA P05A」を選択します。
- お使いになるパソコンの動作環境によっては、「モデムの選択」の画面は表示されません。その場合は、手順10へ進みます。

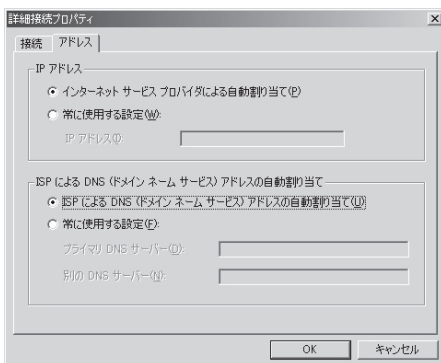
次ページにつづく

10 「電話番号」の欄に接続先番号を入力する

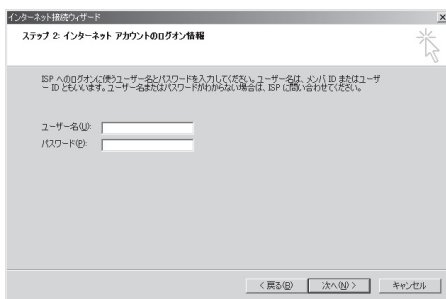
●「市外局番」の欄には何も入力しません。
●「市外局番とダイヤル情報を使う」のチェックを外します。
●mopera Uに接続する場合、接続先番号には「＊99＊＊＊3＃」を入力します。
mopera U以外の接続先番号についてはP.19参照。

11 「詳細設定」をクリックする

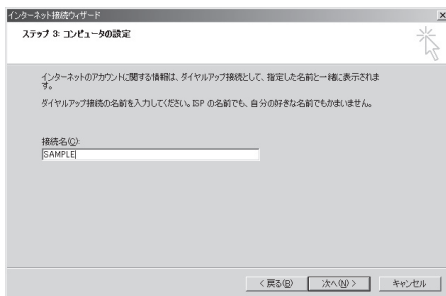
12 「接続」タブの中の設定を行う

「接続の種類」、「ログオンの手続き」について、インターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者から指定されたとおり設定します。
設定を確認したら、「アドレス」タブをクリックします。
●**「接続」タブでの設定内容については、インターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者へお問い合わせください。**

13 IPアドレスおよびDNS(ドメインネームサービス)アドレスの設定を行う

「IPアドレス」、「ISPによるDNS(ドメインネームサービス)アドレスの自動割り当て」について、インターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者から指定されたとおり設定します。
すべての入力が終わったら、「OK」をクリックします。手順10の画面に戻るので、「次へ」をクリックします。
●**IPアドレスおよびDNSアドレスの設定内容については、インターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者へお問い合わせください。**

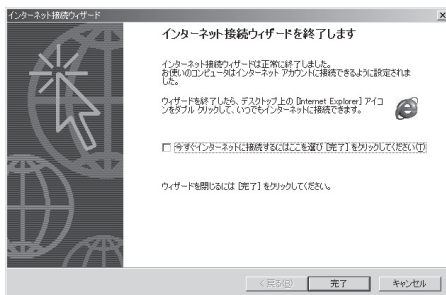
次ページにつづく

14 「ユーザー名」、「パスワード」の欄にインターネットサービスプロバイダまたは管理者から指定されたユーザー名とパスワードを入力して、「次へ」をクリックする

- mopera Uまたはmoperaへ接続する場合は、ユーザー名とパスワードは空欄でも接続できます。この場合、「ユーザー名を空白のままにしておきますか？」という画面と「パスワードを空白のままにしておきますか？」という画面が表示されます。それぞれの画面で「はい」をクリックして手順15へ進みます。

15 「接続名」の欄に任意の名前を入力して、「次へ」をクリックする

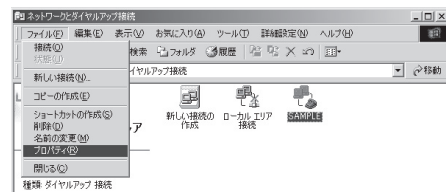
- ここでは例として「SAMPLE」と入力します。

16 「いいえ」を選択して、「次へ」をクリックする

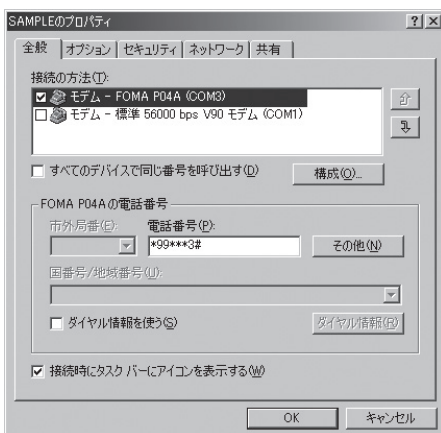
- インターネットメールの設定をする場合は、「はい」を選択します。
- 設定する場合の詳細については、インターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者へお問い合わせください。

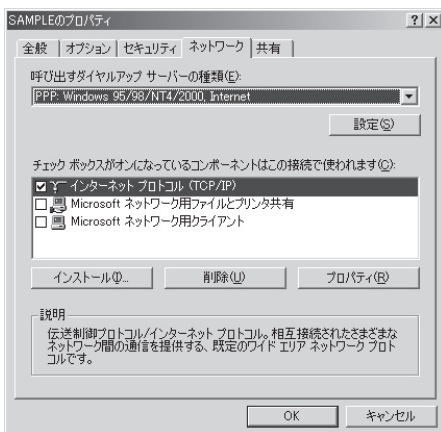
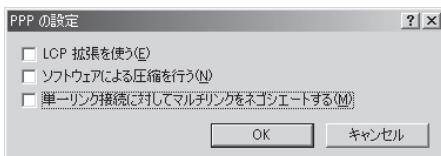
17 続いて「TCP/IP」の設定をする

- インターネット接続ウィザードを終了する画面が表示された場合は、「今すぐインターネットに接続するにはここを選び[完了]をクリックしてください」のチェックを外して、「完了」をクリックします。

18 「スタート」▶「プログラム」▶「アクセサリ」▶「通信」▶「ネットワークとダイヤルアップ接続」を開く

19 手順15で入力した接続先名のアイコンを選択して、「ファイル」メニュー▶「プロパティ」を選択する

次ページにつづく

20 「全般」タブで設定を確認する

- パソコンに2台以上のモデムが接続されている場合は、「接続の方法」の欄で「モデム－FOMA P04A」または「モデム－FOMA P05A」にチェックが付いているのを確認します。チェックが付いていない場合には、チェックを付けます。
- 「ダイヤル情報を使う」にチェックが付いていないことを確認します。チェックされている場合にはチェックを外します。
- 「FOMA P04A」または「FOMA P05A」に割り当てられるCOMポート番号は、お使いのパソコンによって異なります。
- mopera Uに接続する場合、接続先番号には「＊99＊＊＊3＃」を入力します。
  mopera U以外の接続先番号についてはP.19参照。

21 「ネットワーク」タブをクリックして、各種設定を行う

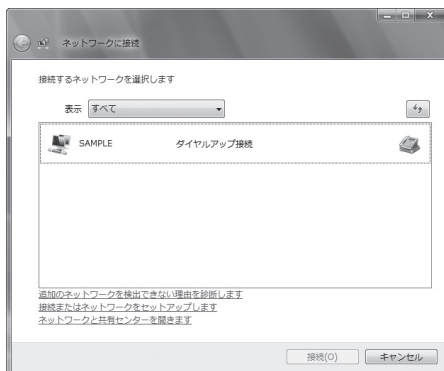
「呼び出すダイヤルアップサーバーの種類」の欄は、「PPP:Windows 95/98/NT4/2000, Internet」を選択します。
コンポーネントは「インターネットプロトコル(TCP/IP)」のみをチェックします。
続いて「設定」をクリックします。

22 すべてのチェックを外して「OK」をクリックする

23 手順21の画面に戻り、「OK」をクリックする

ダイヤルアップ接続する

Windows Vistaでダイヤルアップ接続する

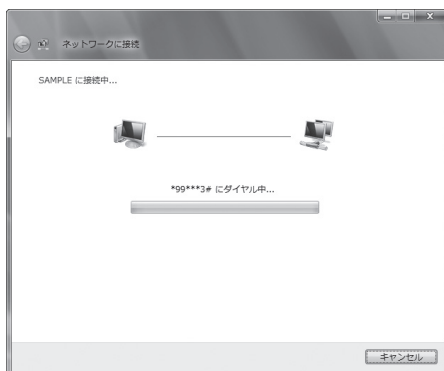
P.5の手順に従って、FOMA端末とパソコンを接続します。

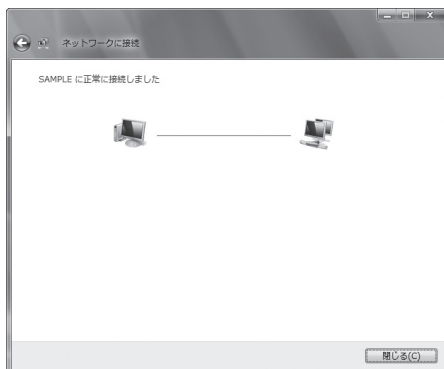
1 「(スタート)」▶「接続先」を開く

2 接続先を選択して「接続」をクリックする

3 内容を確認して「ダイヤル」をクリックする

- mopera Uまたはmoperaへ接続する場合は、ユーザー名とパスワードは空欄でも接続できます。

4 接続中の状態を示す画面が表示される

この間にユーザー名、パスワードの確認などのログオン処理が行われます。

5 接続完了後、「閉じる」をクリックする

- ブラウザソフトを起動してホームページを閲覧したり、電子メールなどを利用できます。

Windows XPでダイヤルアップ接続する

P.5の手順に従って、FOMA端末とパソコンを接続します。

1 「スタート」▶「すべてのプログラム」▶「アクセサリ」▶「通信」▶「ネットワーク接続」を開く

2 接続先を開く

「ダイヤルアップネットワークの設定をする」で設定したISP名（P.24参照）のダイヤルアップの接続先アイコンを選択して「ネットワークタスク」→「この接続を開始する」を選択するか、接続先のアイコンをダブルクリックします。

3 内容を確認して「ダイヤル」をクリックする

●mopera Uまたはmoperaへ接続する場合は、ユーザー名とパスワードは空欄でも接続できます。

4 接続中の状態を示す画面が表示されます

この間にユーザー名、パスワードの確認などのログオン処理が行われます。

5 接続完了です

接続が完了すると、タスクバーのインジケータから、メッセージが数秒間表示されます。

●ブラウザソフトを起動してホームページを閲覧したり、電子メールなどを利用できます。

●メッセージが表示されない場合は、接続先の設定を再度確認してください。

お知らせ

●ダイヤルアップ設定を行ったFOMA端末でダイヤルアップ接続を行ってください。異なるFOMA端末を接続する場合は、再度、FOMA通信設定ファイル（ドライバ）のインストールが必要になることがあります。

●通信中はFOMA端末の消費電力が大きくなります。

●パケット通信中は、FOMA端末に通信状態が表示されます。

「▽」（通信中、データ送信中）　「△」（通信中、データ受信中）

「▯」（通信中、データ送受信なし）　「▯」（発信中、または切断中）

「▯」（着信中、または切断中）

●64Kデータ通信中は、FOMA端末に「▯」が表示されます。

通信を切断する

Windows Vistaの例

1 **タスクトレイのダイヤルアップアイコンをクリックする**

2 **「接続または切断」を選択し「切断」をクリックして、「閉じる」をクリックする**

<Windows XP、Windows 2000の場合>
「切断」をクリックする

お知らせ

- ブラウザソフトを終了しただけでは、通信回線は切断されない場合があります。確実に切断するためには、この手順に従って回線を切断してください。
- パソコンに表示される通信速度は実際の通信速度とは異なる場合があります。

ネットワークに接続できないときは

ネットワークに接続できない(ダイヤルアップ接続ができない)場合は、まず以下の項目について確認してください。

こんなときは	こうします
「P-04A」または「P-05A」がパソコン上で認識できない	・お使いのパソコンが動作環境(P.3参照)を満たしているかを確認してください。 ・「FOMA通信設定ファイル」(ドライバ)がインストールされているか確認してください。 ・FOMA端末がパソコンに接続され、電源が入っているか確認してください。 ・FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02(別売)がしっかりと接続されているかを確認してください。
相手先に接続できない	・ID(ユーザー名)やパスワードの設定が正しいかどうか確認してください。 ・「mopera U」または「mopera」のように発信者番号の通知が必要な場合、電話番号に「184」を付加していないかどうかを確認してください。 ・モデムのプロパティで「フロー制御を使う」にチェックが付いていることを確認してください。 ・上記の確認を行っても相手先に接続できない場合は、インターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者に設定方法などについてご相談ください。

64Kデータ通信の設定

「ドコモ コネクションマネージャ」を使わずに、64Kデータ通信の接続を設定する方法について説明します。

ダイヤルアップ接続とTCP/IPの設定

64Kデータ通信のダイヤルアップ接続とTCP/IPの設定はパケット通信での設定(P.15参照)と同じです。
以下の点に注意して操作してください。

- 64Kデータ通信では接続先(APN)の設定をする必要はありません。ダイヤルアップ接続の接続先にはインターネットサービスプロバイダまたはネットワークの管理者から指定された接続先の電話番号を入力してください。(mopera Uに接続する場合は「＊8701」、moperaに接続する場合は「＊9601」と電話番号欄に入力してください。)
- 「発信者番号通知／非通知の設定」、「その他の設定」は必要に応じて設定してください。
  (mopera Uまたはmoperaに接続する場合、発信者番号の通知が必要です。)
- 設定内容の詳細については、インターネットサービスプロバイダまたはネットワークの管理者にお問い合わせください。

接続・切断のしかた

パケット通信での操作と同じです。P.14、P.30、P.32の手順に従って操作してください。

ATコマンド

ATコマンドとは、パソコンでFOMA端末の機能の設定や変更を行うためのコマンド(命令)です。

※ATコマンド一覧では、以下の略を使用しています。

[AT]: FOMA P04A Command PortまたはFOMA P05A Command Portで使用できるコマンドです。

[M]: FOMA P04A(モデム)またはFOMA P05A(モデム)で使用できるコマンドです。

[&F]: AT&Fコマンドで設定が初期化されるコマンドです。

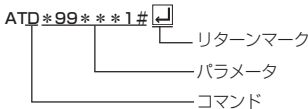
[&W]: AT&Wコマンドで設定が保存されるコマンドです。
ATZコマンドで設定値を呼び戻せます。

お知らせ

- 外部機器から発信・ATコマンド発信を行った場合、2in1のAモード、デュアルモード中はAナンバー、Bモード中はBナンバーで発信します。

ATコマンドの入力形式

ATコマンドの入力は通信ソフトのターミナルモード画面で行います。必ず半角英数字で入力してください。

- 入力例

- ATコマンドはコマンドに続くパラメータ(数字や記号)を含めて、必ず1行で入力します。

お知らせ

- ターミナルモードとは、パソコンを1台の通信端末(ターミナル)のように動作させるモードのことです。キーボードから入力した文字が通信ポートに接続されている回線に送られます。

オンラインデータモードとオンラインコマンドモードを切り替える

FOMA端末をオンラインデータモードとオンラインコマンドモードに切り替えるには、以下の2つの方法があります。

・「+++」コマンドまたは「S2」レジスタに設定したコードを入力します。

・「AT&D1」に設定されているときに、RS-232C※のER信号をOFFにします。

- オンラインコマンドモードからオンラインデータモードに切り替える場合は、「ATO↵」と入力します。

※USBインタフェースにより、RS-232Cの信号線がエミュレートされていますので、通信アプリによるRS-232Cの信号線制御が有効になります。

■設定の保存について

AT+CGDCONTコマンドによる接続先(APN)設定、AT+CGEQMIN/AT+CGEQREQコマンドによるQoS設定、AT＊DGAPL/AT＊DGARL/AT＊DGANSMコマンドによる着信許可・拒否設定、AT＊DGPIRコマンドによるパケット通信の番号通知・非通知の設定、およびAT+CLIRコマンドによる発番号通知制限の設定を除き、ATコマンドによる設定は、FOMA端末の電源OFF・ONまたは外部機器の取り外し時に初期化されてしまいますのでご注意ください。なお、[&W]が付いているコマンドについては、設定後に「AT&W↵」と入力することにより設定を保存できます。このとき、[&W]が付いている他の設定値も同時に保存されます。これらの値は、電源OFF・ON後であっても、「ATZ↵」と入力することにより、設定値を復元できます。

ATコマンド一覧

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
A/ [M]	直前に実行したコマンドを再実行します。またキャリッジリターンは不要です。	－	A/ OK
AT%V [M]	FOMA端末のバージョンを表示します。	－	AT%V Ver1.00 OK
AT&Cn [M] [&F][&W]	DTEへの回路CD信号の動作条件を選択します。	n=0：　CDは常にON n=1：　CDは相手モデムのキャリアに応じて変化します。（初期値）	AT&C1 OK
AT&Dn [M] [&F][&W]	DTEから受け取る回路ER信号がオン／オフ遷移したときの動作を選択します。	n=0：　ERの状態を無視します。（常にONとみなします。） n=1：　ERがONからOFFに変化すると、オンラインコマンド状態になります。 n=2：　ERがONからOFFに変化すると、オフラインコマンド状態になります。（初期値）	AT&D1 OK
AT&En [M] [&F][&W]	接続時の速度表示の仕様を選択します。	n=0：　無線区間通信速度を表示します。 n=1：　DTEシリアル通信速度を表示します。（初期値）	AT&E0 OK
AT&Fn [AT][M]	すべてのレジスタを工場出荷時の設定値に戻します。通信中に本コマンドが入力された場合、回線切断処理を行います。	n=0のみ指定可能です。（省略可）	－
AT&Sn [M] [&F][&W]	DTEへ出力するデータセットレディ信号の制御を設定します。	n=0：　DRは常にON（初期値） n=1：　DRは回線接続時（通信呼確立時）にONとなります。	AT&S0 OK
AT&Wn [M]	現在の設定値を記憶します。	n=0のみ指定可能です。（省略可）	－
AT＊DANTE [AT][M]	アンテナの本数を表示します。（0～3）	=0：　FOMA端末のアンテナが圏外 =1：　FOMA端末のアンテナが0本または1本 =2：　FOMA端末のアンテナが2本 =3：　FOMA端末のアンテナが3本	AT＊DANTE ＊DANTE:3 OK AT＊DANTE=? ＊DANTE:(0-3) OK
AT＊DGANSM=n [M]	パケット着信呼に対する着信拒否／許可設定のモードを設定します。 本コマンドによる設定は、設定コマンド入力後のパケット通信着信呼に対し有効となります。	n=0：　着信拒否設定および着信許可設定を無効にします。（初期値） n=1：　着信拒否設定（AT＊DGARL）を有効にします。 n=2：　着信許可設定（AT＊DGAPL）を有効にします。 AT＊DGANSM?：現在の設定を表示します。	AT＊DGANSM=0 OK AT＊DGANSM? ＊DGANSM:0 OK
AT＊DGAPL=n [,cid] [M]	パケット着信呼に対して着信許可を行うAPNを設定します。 APNの設定は、AT+CGDCONTで定義された<cid>パラメータを用います。	n=0：　<cid>で定義されたAPNを着信許可リストに追加します。 n=1：　<cid>で定義されたAPNを着信許可リストから削除します。 <cid>が省略された場合には、すべてのcidに適用します。 AT＊DGAPL?：着信許可リストを表示します。	AT＊DGAPL=0,1 OK AT＊DGAPL? ＊DGAPL:1 OK AT＊DGAPL=1 OK AT＊DGAPL? OK
AT＊DGARL=n [,cid] [M]	パケット着信呼に対して着信拒否を行うAPNを設定します。 APN設定は、+CGDCONTで定義された<cid>パラメータを用います。	n=0：　<cid>で定義されたAPNを着信拒否リストに追加します。 n=1：　<cid>で定義されたAPNを着信拒否リストから削除します。 cidが省略された場合には、すべてのcidに適用します。 AT＊DGARL?：着信拒否リストを表示します。	AT＊DGARL=0,1 OK AT＊DGARL? ＊DGARL:1 OK AT＊DGARL=1 OK AT＊DGARL? OK

次ページにつづく

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
AT*DGPIR=n [M]	本コマンドの設定は、発信時、着信時に有効となります。 ダイヤルアップネットワークでの設定でも、接続先の番号に186（通知）／184（非通知）を付けることができます。（P.20参照）	n=0：　APNをそのまま使用します。（初期値） n=1：　APNに"184"を付加して使用します。（常に非通知） n=2：　APNに"186"を付加して使用します。（常に通知） AT*DGPIR?：現在の設定を表示します。	AT*DGPIR=0 OK AT*DGPIR? *DGPIR:0 OK
AT*DRPW [AT][M]	受信電力指標を表示します。（0：最小値〜75：最大値）	−	AT*DRPW *DRPW:0 OK
+++ [M]	オンライン状態のとき、エスケープシーケンスが実行されると回線を切断することなくオンラインコマンド状態に移行します。	−	−
AT+CAOC [M]	現在もしくは直前呼の課金情報を表示します。	リザルト：+CAOC:"n" n：課金情報を16進数で表示します。	AT+CAOC +CAOC:"00001E" OK
AT+CBC [M]	バッテリー状態を表示します。	リザルト：+CBC:n,m n=0　：FOMA端末が充電池により動作している状態。 n=1　：充電中状態。 n=2　：充電池が取り外されている状態。 n=3　：電源供給に問題がある状態。 m=0〜100：電池残量	AT+CBC +CBC:0,80 OK
AT+CBST=n,1,0 [M] [&W][&F]	利用するベアラサービスの設定を行います。	n=116：64000 bps (bit transparent)（初期値） n=134：64000 bps (multimedia)	AT+CBST=116,1,0 OK AT+CBST? +CBST:116,1,0 OK
AT+CDIP=n [M][AT] [&F][&W]	着信時に着サブアドレスをパソコンに表示するかどうかの設定をします。	n=0　：着信時に着サブアドレスを表示しません。（初期値） n=1　：着信時に着サブアドレスを表示します。 リザルト：+CDIP：<n>,<m> m=0：マルチナンバー未契約 m=1：マルチナンバー契約中 m=2：不明	AT+CDIP=0 OK AT+CDIP? +CDIP:0,1 OK
AT+CEER [M]	直前の呼の切断理由を表示します。	<report> 切断理由一覧（P.42参照）	AT+CEER +CEER:36 OK
AT+CGDCONT [M]	パケット発信時の接続先（APN）を設定します。	P.40参照。	P.40参照。
AT+CGEQMIN [M]	パケット通信確立時にネットワーク側から通知されるQoS（サービス品質）を許容するかどうかの判定基準値を登録します。	AT+CGEQMIN=［パラメータ］ P.41参照。 AT+CGEQMIN=? 設定可能な値のリストを表示します。 AT+CGEQMIN? 現在の設定を表示します。	P.41参照。
AT+CGEQREQ [M]	パケット通信の発信時にネットワークへ要求するQoS（サービス品質）を設定します。	AT+CGEQREQ=［パラメータ］ P.41参照。 AT+CGEQREQ=? 設定可能な値のリストを表示します。 AT+CGEQREQ? 現在の設定を表示します。	P.41参照。
AT+CGMR [M]	FOMA端末のバージョンを表示します。	−	AT+CGMR 1234512345123456 OK

次ページにつづく

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
AT+CGREG=n [M] [&F][&W]	ネットワーク登録状態を通知するかどうかを設定します。応答される通知により圏内／圏外を表示します。	n=0：　通知なし。（初期値） n=1：　通知あり。圏内・圏外が切り替わったときに通知します。 （問い合わせ） AT+CGREG? +CGREG：<n>,<stat> n：設定値 stat： 0：パケット圏外 1：パケット圏内 4：不明 5：パケット圏内（ローミング中）	AT+CGREG=1 OK （通知ありに設定） AT+CGREG? +CGREG:1,0 OK （圏外を意味している） （圏外から圏内に移動した場合） +CGREG：1
AT+CGSN [M]	FOMA端末の製造番号を表示します。	－	AT+CGSN 123456789012345 OK
AT+CLIP=n [AT][M] [&F][&W]	64Kデータ通信／テレビ電話着信時に相手の発信番号をパソコンに表示できます。	n=0：　通知しません。（初期値） n=1：　通知します。 リザルト：+CLIP：<n>,<m> m=0：発信時の相手に番号を通知しないNW設定 m=1：発信時の相手に番号を通知するNW設定 m=2：不明	AT+CLIP=0 OK AT+CLIP? +CLIP:0,1 OK
AT+CLIR=n [M]	64Kデータ通信／テレビ電話通信を発信するとき、電話番号を相手に通知するかどうかを設定します。	n=0：　CLIRサービスの契約に従い、発番通知されます（されません）。 n=1：　通話相手に番号発信しません。 n=2：　通話相手に番号発信します。（初期値） リザルト：+CLIR：<n>,<m> m=0：CLIRは起動していません。（常時通知） m=1：CLIRは起動しています。（常時非通知） m=2：不明 m=3：CLIRテンポラリーモード（非通知デフォルト） m=4：CLIRテンポラリーモード（通知デフォルト）	AT+CLIR=0 OK AT+CLIR? +CLIR:0,1 OK AT+CLIR=? +CLIR:(0-2) OK
AT+CMEE=n [M] [&F][&W]	FOMA端末のエラーレポートの有無の設定を行います。	n=0：　通常のERRORリザルトを用います。（初期値） n=1：　+CME ERROR: <err>リザルトコードを使用し、<err>は数値を用います。 n=2：　+CME ERROR: <err>リザルトコードを使用し、<err>は文字を用います。 AT+CMEE?：現在の設定を表示します。 右記はFOMA端末や接続に異常がある場合のコマンドの実行例です。 +CME ERRORリザルトコードは下記のとおりです。 1：　no connection to phone 10：　SIM not inserted 15：　SIM wrong 16：　incorrect password 100：　unknown	AT+CMEE=0 OK AT+CNUM ERROR AT+CMEE=1 OK AT+CNUM +CME ERROR：10 AT+CMEE=2 OK AT+CNUM +CME ERROR : SIM not inserted
AT+CNUM [AT][M]	FOMA端末の自局電話番号を表示します。	number：電話番号（2in1のモードがBモードの場合は、Bナンバーを表示します。） type　：129もしくは145 129: 国際アクセスコード+を含まない 145: 国際アクセスコード+を含む リザルト：+CNUM:,<number>,<type>	AT+CNUM +CNUM:,"+819012345678",145 OK

次ページにつづく

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
AT+COPS=n,2,m [M]	接続する通信事業者を選択します。	n=0 ：オート（自動的にネットワークを検索して通信事業者を選択します。）（初期値） n=1 ：マニュアル（mに設定された通信事業者に接続します。） n=2 ：通信事業者との接続を解除（切断）します。 n=3 ：マッピングは行いません。 n=4 ：マニュアルオート（mに指定された通信事業者に接続できなかった場合に「オート」の処理を行います。） m ：国番号（MCC）と通信事業者番号（MNC）を16進数の値で表します。書式は以下の通りです。 Digit 1 of MCC･･･octet 1 bits 1 to 4. Digit 2 of MCC･･･octet 1 bits 5 to 8. Digit 3 of MCC･･･octet 2 bits 1 to 4. Digit 3 of MNC･･･octet 2 bits 5 to 8. Digit 2 of MNC･･･octet 3 bits 5 to 8. Digit 1 of MNC･･･octet 3 bits 1 to 4.	AT+COPS=1,2,"44F001" OK
AT+CPAS [M]	FOMA端末へ制御信号を送出できるかを表示します。	リザルト：+CPAS：n n=0 ：FOMA端末に対し、制御信号の送受信が可能である。 n=1 ：FOMA端末に対し、制御信号の送受信が不可能である。 n=2 ：不明(制御信号の送受信は保証されない) n=3 ：FOMA端末に対し、制御信号の送受信が可能であり、かつ着信中である。 n=4 ：FOMA端末に対し、制御信号の送受信が可能であり、かつ通信中である。	AT+CPAS +CPAS:0 OK
AT+CPIN=n,m [M][AT]	UIMに関するパスワード(PIN1/PIN2)の入力を行います。	UIMがPIN1/PIN2入力待ち状態の時 n ：PIN1/PIN2 UIMがPIN1/PIN2ロック解除失敗によりPINロック解除コード入力待ち状態の時 n ：PINロック解除コード m：新しいPIN1/PIN2 AT+CPIN? ：現在のSIMに関して要求されているコード入力の状態を表示します。 リザルト：+CPIN：<state> <state>=READY ：コード入力要求なし <state>=SIM PIN ：PIN1コード入力待ち <state>=SIM PIN2 ：PIN2コード入力待ち <state>=SIM PUK ：PIN1ロック解除失敗によりPINロック解除コード入力待ち <state>=SIM PUK2 ：PIN2ロック解除失敗によりPINロック解除コード入力待ち	AT+CPIN="1234" OK AT+CPIN="12345678","1234" OK AT+CPIN? +CPIN:SIM PIN OK
AT+CR=n [M] [&F][&W]	回線接続時にCONNECTのリザルトコードを表示する前に、ベアラサービス種別を表示します。	n=0： 表示しません。（初期値） n=1： 表示します。 <serv>： パケット通信を意味する"GPRS"のみ表示します。（回線種別により"SYNC"、"AV64K"を表示します。） AT+CR?：現在の設定値を表示します。	AT+CR=1 OK ATD∗99∗∗∗1# +CR：GPRS CONNECT
AT+CRC=n [AT][M] [&F][&W]	着信時に拡張リザルトコードを使用するかどうかを設定します。	n=0： +CRINGを使用しません。（初期値） n=1： +CRING.<type>を使用します。 AT+CRC?で現在の設定を表示します。 +CRINGの書式は次のとおりです。 +CRING：<type> PPPパケット呼着信時 +CRING：GPRS "PPP",,,<APN>	AT+CRC=0 OK AT+CRC? +CRC：0 OK

次ページにつづく

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
AT+CREG=n [AT][M] [&F][&W]	圏内・圏外情報の表示に関するリザルト表示の有無を設定します。	n=0：　通知なし。（初期値） n=1：　通知あり。圏内・圏外が切り替わったときに通知します。 （問い合わせ） AT+CREG? +CREG：<n>,<stat> n：　設定値 stat： 0：　音声圏外 1：　音声圏内 4：　不明 5：　音声圏内（ローミング中）	AT+CREG=1 OK （通知ありに設定） AT+CREG? +CREG：1,0 OK （圏外を意味している） （圏外から圏内に移動した場合） +CREG：1
AT+CUSD=n,"<str>",0 [M] [&F][&W]	ネットワークに対して、付加サービスの設定や問い合わせを行います。	n=0 ：中間リザルトを表示しません。（初期値） n=1 ：中間リザルトを表示します。 <str>：サービスコード 中間リザルト：m,"<str>",0 m=0：設定完了を示します。 m=1 ：ネットワークから更に情報が要求されていることを示します。	AT+CUSD=0, OK AT+CUSD=1,"*148*1*0000#",0 +CUSD:0,"148*7#",0 OK
AT+FCLASS=n [M] [&F][&W]	FOMA端末に通信種別を設定します。	n=0：データ通信（初期値）	AT+FCLASS=0 OK
AT+GCAP [M]	FOMA端末がサポートするATコマンドのリストを表示します。	リザルト +GCAP：n n=+CGSM　：GSMコマンドの一部または全部をサポートします。 n=+FCLASS：+FCLASSコマンドをサポートします。 n=+W　：+Wコマンドをサポートします。	AT+GCAP +GCAP:+CGSM,+FCLASS,+W OK
AT+GMI [M]	メーカ名（Panasonic）を表示します。	－	AT+GMI Panasonic OK
AT+GMM [M]	FOMA端末の製品名（FOMA P-04AまたはFOMA P-05A）を表示します。	－	AT+GMM FOMA P04Aまたは FOMA P05A OK
AT+GMR [M]	FOMA端末のバージョンを表示します。	－	AT+GMR Ver1.00 OK
AT+IFC=n,m [M] [&F][&W]	フロー制御方式の選択を行います。	n：　DCE by DTE m：　DTE by DCE 0：　フロー制御なし 1：　XON／XOFFフロー制御 2：　RS／CS(RTS/CTS)フロー制御 初期値はn,m=2.2 AT+IFC?で設定値を問い合わせます。	AT+IFC=2,2 OK
AT+WS46=n [M] [&F][&W]	FOMA端末の無線通信網を選択します。	FOMA端末では本コマンドによる無線通信網の選択は行わないため、モード設定に対してはERRORを応答します。 n=12：GSM/GPRS n=22：W-CDMA（Wideband CDMA） n=25：自動選択	AT+WS46=22 ERROR AT+WS46? 25 OK
ATA [M]	FOMA端末が着信したモードに従って着信処理を行います。	－	RING ATA CONNECT
ATD [M]	FOMA端末に対してパラメータ、ダイヤルパラメータの指定に従って自動発信処理を行います。	<cid>：1～10。+CGDCONTで設定したAPNを表します。cid1に発信する場合、「ATD＊99＊＊＊#」と省略できます。	ATD＊99＊＊＊1# CONNECT
ATEn [M] [&F][&W]	コマンドモードにおいてDTEに対するエコーバックの有無を指定します。	n=0：　エコーバックなし n=1：　エコーバックあり（初期値）	ATE1 OK
ATHn [M]	FOMA端末に対してオンフック動作を行います。	n=0：　回線を切断します。（省略可）	（パケット通信中） +++ ATH NO CARRIER

次ページにつづく

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
ATIn [AT][M]	認識コードを表示します。	n=0：「NTT DoCoMo」を表示します。 n=1：製品名を表示します。（+GMMと同じ） n=2：FOMA端末のバージョンを表示します。（+GMRと同じ） n=3：ACMP情報要素を表示します。 n=4：FOMA端末で通信可能な機能の詳細を表示します。	ATI0 NTT DoCoMo OK ATI1 FOMA P04Aまたは FOMA P05A OK
ATOn [M]	通信中にオンラインコマンドモードから、オンラインデータモードに戻ります。	n=0：オンラインコマンドモードからオンラインデータモードに戻します。（省略可）	ATO CONNECT
ATQn [M] [&F][&W]	DTEへのリザルトコードを表示するかどうか設定します。	n=0：リザルトコードを表示します。（初期値） n=1：リザルトコードを表示しません。	ATQ0 OK ATQ1 （このとき、OKは応答されません。）
ATS0=n [M] [&F][&W]	FOMA端末が自動着信するまでの呼び出し回数を設定します。	n=0：自動着信しません。（初期値） n=1～255：指定したリング回数で自動着信します。 （n≧10のとき、パケット（PPP）着信の場合は、自動着信せず約30秒で切断されます。） ATS0?で設定値を問い合わせます。	ATS0=0 OK ATS0? 000 OK
ATS2=n [M] [&F]	エスケープキャラクタの設定を行います。	n=43：初期値 n=127：エスケープ処理は無効。 ATS2?で設定値を問い合わせます。	ATS2=43 OK ATS2? 043 OK
ATS3=n [M] [&F]	キャリッジリターン（CR）キャラクタの設定を行います。	n=13：初期値（n=13のみ指定可） ATS3?で設定値を問い合わせます。	ATS3=13 OK ATS3? 013 OK
ATS4=n [M] [&F]	ラインフィード（LF）キャラクタの設定を行います。	n=10：初期値（n=10のみ指定可） ATS4?で設定値を問い合わせます。	ATS4=10 OK ATS4? 010 OK
ATS5=n [M] [&F]	バックスペース（BS）キャラクタの設定を行います。	n=8：初期値（n=8のみ指定可） ATS5?で設定値を問い合わせます。	ATS5=8 OK ATS5? 008 OK
ATS30=n [M][&F]	不活動タイマ（分）を設定します。ユーザーデータの送受信がないと、設定した時間以上で切断します。本コマンドの設定は、64Kデータ通信に限ります。設定が0の場合、不活動タイマOFFとなります。	n=0～255（初期値は0）（単位：分）	ATS30=0 OK
ATS103=n [M][&F]	着サブアドレスの区切りのキャラクタを選択します。	n=0：＊（アスタリスク） n=1：／（スラッシュ）（初期値） n=2：￥またはバックスラッシュ	ATS103=0 OK
ATS104=n [M][&F]	発サブアドレスの区切りのキャラクタを選択します。	n=0：#（シャープ） n=1：%（パーセント）（初期値） n=2：&（アンド）	ATS104=0 OK
ATVn [M] [&F][&W]	すべてのリザルトコードを数字表記または英文字表記に設定します。	n=0：リザルトコードを数値で返送します。 n=1：リザルトコードを文字で返送します。（初期値）	ATV1 OK
ATXn [M] [&F][&W]	接続時のCONNECT表示に速度表示の有無を設定します。 また、ビジートーン、ダイヤルトーンの検出を行います。	n=0：ダイヤルトーン検出なし、ビジートーン検出なし、速度表示なし。 n=1：ダイヤルトーン検出なし、ビジートーン検出なし、速度表示あり。 n=2：ダイヤルトーン検出あり、ビジートーン検出なし、速度表示あり。 n=3：ダイヤルトーン検出なし、ビジートーン検出あり、速度表示あり。 n=4：ダイヤルトーン検出あり、ビジートーン検出あり、速度表示あり。（初期値）	ATX1 OK

次ページにつづく

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
ATZ [M]	設定を不揮発メモリの内容にリセットします。通信中に本コマンドが入力された場合、回線切断処理を行います。	−	（オンライン時） ATZ NO CARRIER （オフライン時） ATZ OK
AT¥S [M]	現在設定されている各コマンド、Sレジスタの内容を表示します。	−	AT¥S E1 Q0 V1 X4 &C1 &D2 &S0 &E1 ¥V0 S000=000 S002=043 S003=013 S004=010 S005=008 S006=005 S007=060 S008=003 S010=001 S030=000 S103=000 S104=000 OK
AT¥Vn [M] [&F][&W]	接続時の応答コード仕様の選択を行います。	n=0： 拡張リザルトコードを使用しません。（初期値） n=1： 拡張リザルトコードを使用します。	AT¥V0 OK

※以下のコマンドは、エラーにはなりませんがコマンドの動作はしません。
- AT（ATのみの入力）
- ATP（パルス設定）
- ATS8（カンマダイヤルによるポーズ時間設定）
- ATT（トーン設定）
- ATS6（ダイヤルするまでのポーズ時間設定）
- ATS10（自動切断遅延時間設定）

ATコマンドの補足説明

●コマンド名：　+CGDCONT=[パラメータ]　[M]

・概要

パケット発信時の接続先（APN）の設定を行います。

・書式

+CGDCONT=[<cid>[,"<PDP_type>"[,"<APN>"]]]

・パラメータ説明

パケット発信時の接続先（APN）を設定します。設定例は以下のコマンド実行例を参照してください。

<cid>※　：1〜10
<PDP_type>：PPPまたはIP
<APN>※　：任意

※<cid>は、FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。
FOMA端末では1〜10が登録できます。お買い上げ時、<cid>=1にはmopera.ne.jpが、<cid>=3にはmopera.netが初期値として登録されていますので、cidは2もしくは4〜10に設定します。
<APN>は、接続先を示す接続先ごとの任意の文字列です。

・パラメータを省略した場合の動作

+CGDCONT=　：すべての<cid>に対し初期値を設定します
+CGDCONT=<cid>　：指定された<cid>を初期値に設定します。
+CGDCONT=?　：設定可能な値のリスト値を表示します。
+CGDCONT?　：現在の設定を表示します。

・コマンド実行例

AT+CGDCONT=2,"PPP","abc"
OK

※abcというAPN名を登録する場合のコマンド（cidが2の場合）
※本コマンドは設定コマンドですが、＆Wにより書き込まれる不揮発メモリには記憶されません。＆F、Zによるリセットも行われません。

次ページにつづく

●コマンド名： +CGEQMIN=[パラメータ] [M]

・概要

パケット通信確立時にネットワーク側から通知されるQoS（サービス品質）を許容するかどうかの判定基準値を登録します。
設定パターンは、以下のコマンド実行例に記載されている4パターンが設定できます。

・書式

+CGEQMIN=[<cid>[,,<Maximum bitrate UL>[,<Maximum bitrate DL>]]]

・パラメータ説明

<cid>※ ： 1～10
<Maximum bitrate UL>※ ： なし（初期値）または384
<Maximum bitrate DL>※ ： なし（初期値）または7232

※<cid>は、FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。
FOMA端末では1～10が登録できます。お買い上げ時、<cid>=1にはmopera.ne.jpが、<cid>=3にはmopera.netが初期値として登録されていますので、cidは2もしくは4～10に設定します。
<Maximum bitrate UL>および<Maximum bitrate DL>は、FOMA端末と基地局間の上りおよび下り最低通信速度[kbps]の設定です。なし（初期値）の場合はすべての速度を許容しますが、384および7232を設定した場合はこれらの値以外での速度の接続は許容しないため、パケット通信がつながらない場合がありますのでご注意ください。

・パラメータを省略した場合の動作

+CGEQMIN= ： すべての<cid>に対し初期値を設定します。
+CGEQMIN=<cid> ： 指定された<cid>を初期値に設定します。

・コマンド実行例

以下の4パターンのみ設定できます。((1)の設定が各cidに初期値として設定されています。)

(1)上り/下りすべての速度を許容する場合のコマンド
（cidが2の場合）
AT+CGEQMIN=2
OK

(2)上り384kbps/下り7232kbpsの速度のみ許容する場合のコマンド
（cidが3の場合）
AT+CGEQMIN=3,,384,7232
OK

(3)上り384kbps/下りはすべての速度を許容する場合のコマンド（cidが4の場合）
AT+CGEQMIN=4,,384
OK

(4)上りすべての速度/下り7232kbpsの速度のみ許容する場合のコマンド（cidが5の場合）
AT+CGEQMIN=5,,,7232
OK

※本コマンドは設定コマンドですが、＆Wにより書き込まれる不揮発メモリには記憶されません。＆F、Zによるリセットも行われません。

●コマンド名： +CGEQREQ=[パラメータ] [M]

・概要

パケット通信の発信時にネットワークへ要求するQoS（サービス品質）を設定します。
設定は以下のコマンド実行例に記載されている1パターンのみで初期値としても設定されています。

・書式

+CGEQREQ=[<cid>]

・パラメータ説明

<cid>※：1～10

※<cid>は、FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。
FOMA端末では1～10が登録できます。お買い上げ時、<cid>=1にはmopera.ne.jpが、<cid>=3にはmopera.netが初期値として登録されていますので、cidは2もしくは4～10に設定します。

・パラメータを省略した場合の動作

+CGEQREQ= ： すべての<cid>に対し初期値を設定します。
+CGEQREQ=<cid> ： 指定された<cid>を初期値に設定します。

・コマンド実行例

以下の1パターンのみ設定できます。
（各cidに初期値として設定されています。）

(1)NWが設定する任意の速度で接続を要求する場合のコマンド（cidが3の場合）
AT+CGEQREQ=3
OK

※本コマンドは設定コマンドですが、＆Wにより書き込まれる不揮発メモリには記憶されません。＆F、Zによるリセットも行われません。

●コマンド名： +CLIP

・概要

"AT+CLIP=1"の場合のリザルトが下記の書式で表示されます。
+CLIP：<number><type>

・コマンド実行例

AT+CLIP=1
OK
RING
+CLIP："09012345678",49

切断理由一覧

■64Kデータ通信

値	理由
1	指定した番号は存在しません。
16	正常に切断されました。
17	相手側が通信中のため、通信ができません。
18	発信しましたが、指定時間内に応答がありませんでした。
19	相手が呼び出し中のため通信ができません。
21	相手側が着信を拒否しました。
63	ネットワークのサービスおよびオプションが有効ではありません。
65	提供されていない伝達能力を指定しました。
88	端末属性の異なる端末に発信したか、もしくは着信を受けました。

■パケット通信

値	理由
27	APNが存在しないか、もしくは正しくありません。
30	ネットワークより切断されました。
33	要求したサービスオプションは申し込まれていません。
36	正常に切断されました。

リザルトコード

■リザルトコード一覧

数字表示	文字表示	意味
0	OK	正常に実行しました
1	CONNECT	相手と接続しました
2	RING	着信が来ています
3	NO CARRIER	回線が切断されました
4	ERROR	コマンドを受け付けることができません
6	NO DIALTONE	ダイヤルトーンの検出ができません
7	BUSY	話中音の検出中です
8	NO ANSWER	接続完了タイムアウト
100	RESTRICTION	ネットワークが規制中です
101	DELAYED	リダイヤル規制時間内

■拡張リザルトコード

&E0のとき
FOMA端末－基地局間の接続速度を表示します。

数字表示	文字表示	接続速度
121	CONNECT 32000	32000bps
122	CONNECT 64000	64000bps
125	CONNECT 384000	384000bps
133	CONNECT 7232000	7232000bps

次ページにつづく

&E1のとき

数字表示	文字表示	接続速度
5	CONNECT 1200	1200bps
10	CONNECT 2400	2400bps
11	CONNECT 4800	4800bps
13	CONNECT 7200	7200bps
12	CONNECT 9600	9600bps
15	CONNECT 14400	14400bps
16	CONNECT 19200	19200bps
17	CONNECT 38400	38400bps
18	CONNECT 57600	57600bps
19	CONNECT 115200	115200bps
20	CONNECT 230400	230400bps
21	CONNECT 460800	460800bps

お知らせ

- ATVnコマンド(P.39参照)がn=1に設定されている場合には文字表示形式(初期値)、n=0に設定されている場合には数字表示形式でリザルトコードが表示されます。
- 従来のRS-232Cで接続するモデムとの互換性を保つため通信速度の表示はしますが、FOMA端末－PC間はFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02(別売)で接続されているため、実際の接続速度と異なります。
- 「RESTRICTION」(数字表示:100)が表示された場合には、通信ネットワークが混雑しています。しばらくしてから接続し直してください。

■通信プロトコルリザルトコード

数字表示	文字表示	意味
1	PPPoverUD	64Kデータ通信で接続
3	AV64K	テレビ電話64Kで接続
5	PACKET	パケット通信で接続

■リザルトコード表示例

- ATX0が設定されている場合
  AT¥Vコマンド（P.40参照）の設定に関わらず、接続完了の際にCONNECTのみの表示となります。
  文字表示例：　ATD*99***3#
  　　　　　　　CONNECT
  数字表示例：　ATD*99***3#
  　　　　　　　1
- ATX1が設定されている場合※
  ・ATX1、AT¥V0が設定されている場合（初期値）
  接続完了のときに、CONNECT<FOMA端末－PC間の速度>の書式で表示します。
  文字表示例：　ATD*99***3#
  　　　　　　　CONNECT 460800
  数字表示例：　ATD*99***3#
  　　　　　　　1 21
  ・ATX1、AT¥V1が設定されている場合※
  接続完了のときに、以下の書式で表示します。
  CONNECT<FOMA端末－PC間の速度>PACKET<接続先APN>/<上り方向（FOMA端末→無線基地局間）の最高速度>/<下り方向（FOMA端末←無線基地局間）の最高速度>
  文字表示例：ATD*99***3#
  　　　　　　CONNECT 460800 PACKET
  　　　　　　mopera.net /384/7232
  　　　　　　(mopera.netに、上り最大384kbps、下り最大7232kbpsで接続したことを表します。)
  数字表示例：ATD*99***3#
  　　　　　　1215
  ※ATX1、AT¥V1を同時に設定した場合、ダイヤルアップ接続が正しく行えない場合があります。
  AT¥V0だけでのご利用をおすすめします。

P-04A/P-05A

区点コード一覧

＜区点コード一覧表の見かた＞

最初に「区点1～3桁目」の数字を入力してから、次に「区点4桁目」の数字を入力します。

●区点コード一覧の表示は、実際の表示と見えかたが異なるものがあります。

区点 1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
010		(スペース)	、	。	，	．	・	：	；	？
011	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ
012	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―
013	‐	／	＼	～	‖	｜	…	‥	‘	’
014	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝
015	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】
016	＋	－	±	×	÷	＝	≠	＜	＞	≦
017	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥
018	＄	¢	£	％	＃	＆	＊	＠	§	☆
019	★	○	●	◎	◇					
020		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒
021	→	←	↑	↓	〓					
022							∈	∋	⊆	⊇
023	⊂	⊃	∪	∩						
024			∧	∨	￢	⇒	⇔	∀	∃	
026	∠	⊥	⌒	∂	∇	≡	≒	≪	≫	√
027	∽	∝	∵	∫	∬					
028			Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶
029					◯					
031							０	１	２	３
032	４	５	６	７	８	９				
033				Ａ	Ｂ	Ｃ	Ｄ	Ｅ	Ｆ	Ｇ
034	Ｈ	Ｉ	Ｊ	Ｋ	Ｌ	Ｍ	Ｎ	Ｏ	Ｐ	Ｑ
035	Ｒ	Ｓ	Ｔ	Ｕ	Ｖ	Ｗ	Ｘ	Ｙ	Ｚ	
036						ａ	ｂ	ｃ	ｄ	ｅ
037	ｆ	ｇ	ｈ	ｉ	ｊ	ｋ	ｌ	ｍ	ｎ	ｏ
038	ｐ	ｑ	ｒ	ｓ	ｔ	ｕ	ｖ	ｗ	ｘ	ｙ
039	ｚ									
040		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ
041	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ
042	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ
043	ぞ	た	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で
044	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ
045	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ
046	ぼ	ぽ	ま	み	む	め	も	ゃ	や	ゅ
047	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ
048	ゐ	ゑ	を	ん						
050		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ
051	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ
052	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ
053	ゾ	タ	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ
054	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ
055	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ
056	ボ	ポ	マ	ミ	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ
057	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ
058	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ			
060		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι
061	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ
062	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω					
063				α	β	γ	δ	ε	ζ	η
064	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ
065	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω			
070		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З
071	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С
072	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы
073	Ь	Э	Ю	Я						
074										а
075	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й
076	к	л	м	н	о	п	р	с	т	у
077	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
078	ю	я								
080		─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤
081	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳
082	┫	┻	╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰
083	┥	┸	╂							

区点 1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
130		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
131	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
132	⑳	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ
133	Ⅹ		㍉	㌔	㌢	㍍	㌘	㌧	㌃	㌶
134	㍑	㍗	㌍	㌦	㌣	㌫	㍊	㌻	㎜	㎝
135	㎞	㎎	㎏	㏄	㎡					
136				㍻	〝	〟	№	㏍	℡	㊤
137	㊥	㊦	㊧	㊨	㈱	㈲	㈹	㍾	㍽	㍼
138	≒	≡	∫	∮	∑	√	⊥	∠	∟	⊿
139	∵	∩	∪							
	【		**あ**		】					
160		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢
161	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵
162	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾
163	鮎	或	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇
164	鞍	杏								
	【		**い**		】					
164			以	伊	位	依	偉	囲	夷	委
165	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異
166	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺	医
167	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸
168	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻
169	引	飲	淫	胤	蔭					
170		院	陰	隠	韻	吋				
	【		**う**		】					
170							右	宇	烏	羽
171	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘
172	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂
173	云	運	雲							
	【		**え**		】					
173				荏	餌	叡	営	嬰	影	映
174	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴	英
175	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越
176	閲	榎	厭	円	園	堰	奄	宴	延	怨
177	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁
178	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩			
	【		**お**		】					
178								於	汚	甥
179	凹	央	奥	往	応					
180		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬
181	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶
182	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音		
	【		**か**		】					
182									下	化
183	仮	何	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁
184	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂
185	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓
186	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊	俄	峨
187	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
188	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔
189	恢	懐	戒	拐	改					
190		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥
191	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖
192	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬
193	馨	蛙	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓
194	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角
195	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額
196	顎	掛	笠	樫	橿	梶	鰍	潟	割	喝
197	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹
198	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌
199	噛	鴨	栢	茅	萱					
200		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊
201	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干
202	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺
203	款	歓	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看
204	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観
205	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館
206	舘	丸	含	岸	巌	玩	癌	眼	岩	翫
207	贋	雁	頑	顔	願					
	【		**き**		】					
207						企	伎	危	喜	器
208	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机

区点 1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
209	旗	既	期	棋	棄					
210		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀
211	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎
212	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺
213	犠	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠
214	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却
215	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸
216	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球
217	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
218	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁
219	禦	魚	亨	享	京					
220		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡
221	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭
222	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興
223	蕎	郷	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁
224	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均
225	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊
226	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀	
	【		**く**		】					
226										九
227	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈
228	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅
229	串	櫛	釧	屑	屈					
230		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂
231	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍
232	郡									
	【		**け**		】					
232		卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭
233	珪	型	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲
234	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経	継
235	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚
236	鶏	芸	迎	鯨	劇	戟	撃	激	隙	桁
237	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
238	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌
239	建	憲	懸	拳	捲					
240		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県
241	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験
242	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現
243	絃	舷	言	諺	限					
	【		**こ**		】					
243						乎	個	古	呼	固
244	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐
245	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇
246	顧	鼓	五	互	伍	午	呉	吾	娯	後
247	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐
248	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功
249	効	勾	厚	口	向					
250		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工
251	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗
252	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構
253	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠
254	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏
255	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱
256	砿	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	剛	劫
257	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻
258	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑
259	忽	惚	骨	狛	込					
260		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇
261	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	
	【		**さ**		】					
261										些
262	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂
263	詐	鎖	裟	坐	座	挫	債	催	再	最
264	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済
265	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁
266	載	際	剤	在	材	罪	財	冴	坂	阪
267	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削
268	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜
269	鮭	笹	匙	冊	刷					
270		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐
271	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山
272	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕

区点	区点4桁目									
1〜3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
273	讃	賛	酸	餐	斬	暫	残			
	【		し		】					
273								仕	仔	伺
274	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿
275	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯
276	施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	私	糸
277	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
278	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児
279	字	寺	慈	持	時					
280		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而
281	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鴫	竺
282	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉
283	湿	漆	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝
284	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮
285	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺
286	尺	杓	灼	爵	酌	釈	錫	若	寂	弱
287	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
288	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹
289	綬	需	囚	収	周					
290		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋
291	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴
292	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十
293	従	戎	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔
294	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出	術
295	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循
296	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵
297	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
298	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐
299	恕	鋤	除	傷	償					
300		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨
301	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠
302	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶
303	松	梢	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦
304	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧
305	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔
306	詳	象	賞	醤	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上
307	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常
308	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲
309	醸	錠	嘱	埴	飾					
310		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食
311	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審
312	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申
313	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診
314	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬
315	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭		
	【		す		】					
315									笥	諏
316	須	酢	図	厨	逗	吹	垂	帥	推	水
317	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随
318	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉
319	椙	菅	頗	雀	裾					
320		澄	摺	寸						
	【		せ		】					
320					世	瀬	畝	是	凄	制
321	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲
322	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製
323	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税
324	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積
325	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙
326	接	摂	折	設	窃	節	説	雪	絶	舌
327	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦
328	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎
329	煽	旋	穿	箭	線					
330		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践
331	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然
332	全	禅	繕	膳	糎					
	【		そ		】					
332						噌	塑	岨	措	曾
333	曽	楚	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素
334	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双	叢
335	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想
336	捜	掃	挿	掻	操	早	曹	巣	槍	槽
337	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡
338	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗
339	霜	騒	像	増	憎					
340		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息
341	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続
342	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜

区点	区点4桁目									
1〜3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	【		た		】					
343	他	多	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打
344	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆	対	耐
345	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎
346	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛	代
347	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
348	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁
349	諾	茸	凧	蛸	只					
350		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿
351	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦
352	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪
353	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断
354	暖	檀	段	男	談					
	【		ち		】					
354						値	知	地	弛	恥
355	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築
356	畜	竹	筑	蓄	逐	秩	窒	茶	嫡	着
357	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
358	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯
359	丁	兆	凋	喋	寵					
360		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑
361	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶
362	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗
363	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳			
	【		つ		】					
363								津	墜	椎
364	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴	槻	佃
365	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷
366	嬬	紬	爪	吊	釣	鶴				
	【		て		】					
366							亭	低	停	偵
367	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
368	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締
369	艇	訂	諦	蹄	逓					
370		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴
371	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭
372	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼
373	転	顛	点	伝	殿	澱	田	電		
	【		と		】					
373									兎	吐
374	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟
375	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴
376	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套
377	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟
378	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等
379	答	筒	糖	統	到					
380		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透
381	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導
382	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠
383	鴇	匿	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒
384	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫
385	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁
386	頓	呑	曇	鈍						
	【		な		】					
386					奈	那	内	乍	凪	薙
387	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠
388	軟	難	汝							
	【		に		】					
388				二	尼	弐	迩	匂	賑	肉
389	虹	廿	日	乳	入					
390		如	尿	韮	任	妊	忍	認		
	【		ぬ		】					
390									濡	
	【		ね		】					
390										禰
391	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃
392	粘									
	【		の		】					
392		乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能
393	脳	膿	農	覗	蚤					
	【		は		】					
393						巴	把	播	覇	杷
394	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廃
395	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配
396	倍	培	媒	梅	楳	煤	狽	買	売	賠
397	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍
398	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠
399	爆	縛	莫	駁	麦					

区点	区点4桁目									
1〜3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
400		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌
401	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰
402	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判
403	半	反	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版
404	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩
405	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	
	【		ひ		】					
405										匪
406	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐
407	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
408	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微
409	枇	毘	琵	眉	美					
410		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱
411	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐
412	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表
413	評	豹	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜
414	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻
415	敏	瓶								
	【		ふ		】					
415			不	付	埠	夫	婦	富	冨	布
416	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐
417	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
418	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗
419	伏	副	復	幅	服					
420		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏
421	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮
422	粉	糞	紛	雰	文	聞				
	【		へ		】					
422							丙	併	兵	塀
423	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁
424	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変
425	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁
426	鞭									
	【		ほ		】					
426		保	舗	鋪	圃	捕	歩	甫	補	輔
427	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
428	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖
429	抱	捧	放	方	朋					
430		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬
431	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏
432	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴
433	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿
434	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲	朴
435	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔
436	本	翻	凡	盆						
	【		ま		】					
436					摩	磨	魔	麻	埋	妹
437	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾
438	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭
439	繭	麿	万	慢	満					
440		漫	蔓							
	【		み		】					
440				味	未	魅	巳	箕	岬	密
441	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	
	【		む		】					
441										務
442	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	
	【		め		】					
442										冥
443	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅
444	免	棉	綿	緬	面	麺				
	【		も		】					
444							摸	模	茂	妄
445	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙
446	目	杢	勿	餅	尤	戻	籾	貰	問	悶
447	紋	門	匁							
	【		や		】					
447				也	冶	夜	爺	耶	野	弥
448	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮
449	鑓									
	【		ゆ		】					
449		愉	愈	油	癒					
450		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽
451	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由
452	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	
	【		よ		】					
452										予
453	余	与	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸

区点	区点4桁目									
1〜3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
454	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔	用
455	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽
456	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀	
	【		ら		】					
456										羅
457	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪
458	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧		
	【		り		】					
458									利	吏
459	履	李	梨	理	璃					
460		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立
461	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒
462	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚
463	両	凌	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜
464	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫
465	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟
	【		る		】					
466	瑠	塁	涙	累	類					
	【		れ		】					
466						令	伶	例	冷	励
467	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗
468	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐
469	漣	煉	簾	練	聯					
470		蓮	連	錬						
	【		ろ		】					
470					呂	魯	櫓	炉	賂	路
471	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏
472	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄
473	肋	録	論							
	【		わ		】					
473				倭	和	話	歪	賄	脇	惑
474	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀	湾
475	碗	腕								
476										
477										
478										
479										
480		弌	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂
481	乖	乘	亂	亅	豫	亊	舒	弍	于	亞
482	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆
483	仂	仗	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛
484	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻	佩	佰
485	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛
486	俑	俚	俐	俤	俥	倚	倨	倔	倪	倥
487	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆
488	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸
489	傀	傚	傅	傴	傲					
490		僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣
491	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖	儕	儔	儚
492	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔
493	兢	竸	兩	兪	兮	冀	冂	囘	册	冉
494	冏	冑	冓	冕	冖	冤	冦	冢	冩	冪
495	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛
496	几	處	凩	凭	凰	凵	凾	刄	刋	刔
497	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌
498	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔
499	劒	剱	劈	劑	辨					
500		辧	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞
501	勣	勦	飭	勠	勳	勵	勸	勹	匆	匈
502	甸	匍	匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳
503	匸	區	卆	卅	丗	卉	卍	凖	卞	卩
504	卮	夘	卻	卷	厂	厖	厠	厦	厥	厮
505	厰	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨
506	叭	叺	吁	吽	呀	听	吭	吼	吮	吶
507	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰
508	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸
509	咥	咬	哄	哈	咨					
510		咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏
511	唔	哽	哮	哭	哺	哢	唹	啀	啣	啌
512	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀
513	咯	喊	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃
514	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜	嗤	嗔
515	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營
516	嘴	嘶	嘲	嘸	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆
517	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂
518	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓	囗	囮
519	囹	圀	囿	圄	圉					
520		圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦

区点	区点4桁目									
1〜3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
521	圷	圸	坎	圻	址	坏	坩	埀	垈	坡
522	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆
523	埔	埒	埓	堊	埖	埣	堋	堙	堝	塲
524	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堽	塹	墅	墹
525	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑
526	壗	壙	壘	壥	壜	壤	壟	壯	壺	壹
527	壻	壼	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬
528	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘
529	奢	奠	奧	奬	奩					
530		奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨
531	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娚
532	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾
533	嫋	嫂	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻
534	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾	孃	孅
535	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵
536	學	斈	孺	宀	它	宦	宸	寃	寇	寉
537	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶
538	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸
539	尹	屁	屆	屎	屓					
540		屐	屏	孱	屬	屮	乢	屶	屹	岌
541	岑	岔	妛	岫	岻	岶	岼	岷	峅	岾
542	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕
543	崗	嵜	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘
544	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶇	嶄	嶂
545	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍
546	巓	巒	巖	巛	巫	已	巵	帋	帚	帙
547	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔
548	幟	幢	幤	幇	幵	并	幺	麼	广	庠
549	廁	廂	廈	廐	廏					
550		廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩
551	廬	廱	廳	廰	廴	廸	廾	弃	弉	彝
552	彜	弋	弑	弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌
553	彎	弯	彑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷
554	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從	徙	徘
555	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝
556	悳	忿	怡	恠	怙	怐	怩	怎	怱	怛
557	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟
558	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙
559	悁	悍	惧	悃	悚					
560		悄	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸
561	惠	惓	悴	忰	悽	惆	悵	惘	慍	愕
562	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱
563	愍	愎	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬
564	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙	慚	慫
565	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖
566	憇	憬	憔	憚	憊	憑	憫	憮	懌	懊
567	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦
568	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈
569	戉	戍	戌	戔	戛					
570		戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎
571	扞	扣	扛	扠	扨	扼	抂	抉	找	抒
572	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿
573	拆	擔	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉
574	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵	捐	挾
575	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏
576	掉	掟	掵	捫	捩	掾	揩	揀	揆	揣
577	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶
578	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕
579	撓	撥	撩	撈	撼					
580		據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧
581	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攬	擶	擴	擲
582	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴
583	攵	攷	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘
584	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	斛	斟	斫
585	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无
586	旡	旱	杲	昊	昃	旻	杳	昵	昶	昴
587	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨
588	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝
589	曁	暹	曉	暾	暼					
590		曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰
591	曵	曷	朏	朖	朞	朦	朧	霸	朮	朿
592	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤
593	枉	杰	枩	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅
594	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤	柞	柝
595	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩
596	桀	桍	栲	桎	梳	栫	桙	档	桷	桿
597	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴
598	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘

区点	区点4桁目									
1〜3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
599	椢	椦	棡	椌	棍					
600		棔	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥
601	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椣	椡	棆	楹
602	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽
603	楙	椰	楡	楞	楝	榁	楪	榲	榮	槐
604	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝	榻	槃
605	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂
606	樛	槿	權	槹	槲	槧	樅	榱	樞	槭
607	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲
608	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐
609	檍	檠	檄	檢	檣					
610		檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞
611	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻	欅	蘖	櫺	欒
612	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃
613	歉	歐	歙	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿
614	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤	殪	殫
615	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟
616	毬	毫	毳	毯	麾	氈	氓	气	氛	氤
617	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛
618	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗
619	泅	泝	沮	沱	沾					
620		沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫
621	洽	洸	洙	洵	洳	洒	洌	浣	涓	浤
622	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊
623	涵	淇	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒
624	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭	湮	渮
625	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟
626	湃	渺	湎	渤	滿	渝	游	溂	溪	溘
627	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏
628	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿
629	滲	漱	滯	漲	滌					
630		漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯
631	潛	濳	潭	澂	潼	潘	澎	澑	濂	潦
632	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬
633	濔	濘	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁
634	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝	瀘	瀟	瀰	瀾
635	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳
636	炮	烟	烋	烝	烙	焉	烽	焜	焙	煥
637	熙	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄
638	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎
639	燠	燬	燧	燵	燼					
640		燹	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰
641	爲	爻	爼	爿	牀	牆	牋	牘	牴	牾
642	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃
643	狆	狄	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏
644	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩	猥	猾
645	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻
646	獺	珈	玳	珎	玻	珀	珥	珮	珞	璢
647	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙
648	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞
649	璧	瓊	瓏	瓔	珱					
650		瓠	瓣	瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸
651	瓷	甄	甃	甅	甌	甎	甍	甕	甓	甞
652	甦	甬	甼	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚
653	畩	畤	畧	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴
654	疊	疉	疂	疔	疚	疝	疥	疣	痂	疳
655	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙
656	痣	痞	痾	痿	痼	瘁	痰	痺	痲	痳
657	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴
658	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨
659	癩	癪	癧	癬	癰					
660		癲	癶	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎
661	皖	皓	皙	皚	皰	皴	皸	皹	皺	盂
662	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盻
663	眈	眇	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷
664	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿	睾	睹
665	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼
666	瞽	瞻	矇	矍	矗	矚	矜	矣	矮	矼
667	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硴	碆	硼
668	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔
669	碾	碼	磅	磊	磬					
670		磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬
671	礫	祀	祠	祗	祟	祚	祕	祓	祺	祿
672	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉
673	秕	秧	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠
674	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗	穉	穡
675	穢	穩	龝	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘
676	窖	窩	竈	窰	窶	竅	竄	窿	邃	竇

区点 1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
677	竊	竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢
678	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙
679	笞	笵	笨	笶	筐					
680		筺	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴
681	筧	筰	筱	筬	筮	箝	箘	箟	箍	箜
682	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏
683	箴	篆	篝	篩	簑	簔	篦	篥	籠	簀
684	簇	簓	篳	篷	簗	簍	篶	簣	簧	簪
685	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐
686	籘	籟	籤	籖	籥	籬	粁	粃	粐	粤
687	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹
688	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯
689	糲	糴	糶	糺	紆					
690		紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿
691	紵	絆	絳	絖	絎	絲	絨	絮	絏	絣
692	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵
693	緇	綽	綫	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰
694	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅	縊	縣
695	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻
696	縵	縹	繃	縷	縲	縺	繧	繝	繖	繞
697	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽
698	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖
699	纎	纛	纜	缸	缺					
700		罅	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘
701	罟	罠	罨	罩	罧	罸	羂	羆	羃	羈
702	羇	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹
703	羮	羶	羸	譱	翅	翆	翊	翕	翔	翡
704	翦	翩	翳	翹	飜	耆	耄	耋	耒	耘
705	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘
706	聚	聟	聢	聨	聳	聲	聰	聶	聹	聽
707	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬
708	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱
709	脛	脩	脣	脯	腋					
710		隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥
711	腦	腴	膃	膈	膊	膀	膂	膠	膕	膤
712	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀
713	臂	膺	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟
714	臠	臧	臺	臻	臾	舁	舂	舅	與	舊
715	舍	舐	舖	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘
716	艝	艚	艟	艤	艢	艨	艪	艫	舮	艱
717	艷	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡
718	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹
719	苞	茆	苜	茉	苙					
720		茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅
721	茯	茫	茗	茘	莅	莚	莪	莟	莢	莖
722	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉
723	莨	菴	萓	菫	菎	菽	萃	菘	萋	菁
724	菷	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽	萸	蔆
725	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮
726	蒂	葩	葆	萬	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹
727	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖
728	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔
729	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈					
730		蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊
731	薨	蕭	薔	薛	藪	薇	薜	蕷	蕾	薐
732	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹
733	蘊	蘓	蘋	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿
734	虍	乕	虔	號	虧	虱	蚓	蚣	蚩	蚪
735	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫
736	蛔	蛞	蛩	蛬	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈
737	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿
738	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎
739	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙					
740		蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋
741	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄	螳	蟇	蟆	螻
742	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒
743	蠑	蠖	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻
744	衄	衂	衒	衙	衞	衢	衫	袁	衾	袞
745	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢
746	袍	袤	袰	袿	袱	裃	裄	裔	裘	裙
747	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊
748	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶
749	褸	襌	褝	襠	襞					
750		襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷	襾	覃
751	覈	覊	覓	覘	覡	覩	覦	覬	覯	覲
752	覺	覽	覿	觀	觚	觜	觝	觧	觴	觸
753	訃	訖	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛
754	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅	誂	誄

区点 1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
755	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂
756	諚	諫	諳	諧	諤	諱	謔	諠	諢	諷
757	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠
758	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎
759	證	譖	譛	譚	譫					
760		譟	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒
761	讓	讖	讙	讚	谺	豁	谿	豈	豌	豎
762	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貊
763	貍	貎	貔	豼	貘	戝	貭	貪	貽	貲
764	貳	貮	貶	賈	賁	賤	賣	賚	賽	賺
765	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓
766	賍	贔	贖	赧	赭	赱	赳	趁	趙	跂
767	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫
768	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟
769	蹂	踵	踰	踴	蹊					
770		蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪
771	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁	躇	躅	躄	躋
772	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡	躬	躰	軆
773	躱	躾	軅	軈	軋	軛	軣	軼	軻	軫
774	軾	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜	輟	輛
775	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉
776	轆	轎	轗	轜	轢	轣	轤	辜	辟	辣
777	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	邇	迴
778	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋
779	逧	逶	逵	逹	迸					
780		遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘
781	遞	遨	遯	遶	隨	遲	邂	遽	邁	邀
782	邊	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈
783	郛	鄂	鄒	鄙	鄲	鄰	酊	酖	酘	酣
784	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢	醫	醯
785	醪	醵	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖
786	釟	釡	釛	釼	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬
787	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿
788	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷
789	鋩	錏	鋺	鍄	錮					
790		錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠
791	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭	鎔	鎹	鏖	鏗
792	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔
793	鐓	鐃	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁
794	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩	鑰	鑵
795	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	閂	閇	閊
796	閔	閖	閘	閙	閠	閨	閧	閭	閼	閻
797	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖
798	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌
799	陏	陋	陷	陜	陞					
800		陝	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗
801	險	隧	隱	隲	隰	隴	隶	隸	隹	雎
802	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆
803	霈	霓	霎	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰
804	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉	靜	靠
805	靤	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁
806	靺	鞆	鞋	鞏	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳
807	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟
808	韶	韵	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆
809	顏	顋	顫	顯	顰					
810		顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃
811	飆	飩	飫	餃	餉	餒	餔	餘	餡	餝
812	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅
813	饐	饋	饑	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭
814	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭	駮	駱
815	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷
816	驅	驂	驀	驃	騾	驕	驍	驛	驗	驟
817	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀
818	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯
819	髫	髮	髴	髱	髷					
820		髻	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧
821	鬨	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲	魄	魃	魏	魍
822	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟
823	鮠	鮨	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒
824	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺	鯲	鯱	鯰	鰕
825	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮
826	鰛	鰥	鰤	鰡	鰰	鱇	鰲	鱆	鰾	鱚
827	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫
828	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒
829	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈					
830		鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇
831	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩	鶲	鷄	鷁	鶻
832	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭

区点 1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
833	鷯	鷽	鸚	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈
834	麋	麌	麒	麕	麑	麝	麥	麩	麸	麪
835	麭	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝
836	黠	黥	黨	黯	黴	黶	黷	黹	黻	黼
837	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒
838	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷
839	齲	齶	龕	龜	龠					
840		堯	槇	遙	瑤	凜	熙			

'09.1（第1版）
F1208F0